付属品についてのご注意

GPS アンテナは、インストルメントパネル内部に設置されています。金属製のスモークフィルムをフロントガラスまたはサイドウインドーに貼っていると、GPS 衛星からの電波受信が妨害されます。

レーダー探知機、車両追跡装置、リモートスターター、アンプなどの機器が発生する信号によるノイズは、ナビゲーションシステムに障害を起こします。これらの機器を使用する場合、ナビゲーションシステムの画面およびアンテナから離して設置してください。

安全にお使いいただくために

⚠警告

走行中にナビゲーションシステムを操作すると、道路から注意が逸れるため、重傷または死亡に至るような事故を起こすおそれがあります。

ナビゲーションシステムの操作は、安全に行うことが可能な状況のもとでのみ行ってください。

安全のために、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」などのメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。

走行中は、画面を注視したり手動で操作しないでください。

ナビゲーションシステムに情報を入力する場合は、運転する前あるいは停止した後に行ってください。走行中は音声案内に従い、可能なところは音声コマンドでの操作を行ってください。画面表示の確認や操作に時間がかかるようなときは、車を安全な場所に停車して操作してください。

道路閉鎖、工事、迂回、また地図データが古い場合、ルート案内がうまくいかないことがあります。

ナビゲーションシステム自体の制限もありますので、道路、標識、信号などに注意して、ルートの情報を確認してください。常にご自分の判断で、交通法規に従って操作してください。

車やナビゲーションシステムの仕様などの変更により、この本の内容と実写が一致しない場合がありますのでご了承ください。

お知らせ

画面の清掃は、柔らかい布を少し水に濡らして拭いてください。カーナビディスプレイ用のクリーナーを使用してもよいでしょう。

目次

設定 P.21
音声で操作する 22　案内音量の調節 29　画面の設定 30　アドレス帳を設定する 31
シークレットモード 36　地図表示の設定 38　ルート案内の設定 43　インターナビ／VICS の設定 51
車両警告の設定 55　音声操作の設定 56　システム設定 58　カスタマイズメニューを使う 61
internavi ダイレクトを使う 63

ナビゲーション P.65
目的地を探す前に 66　目的地を探す 83　目的地を設定する 103　ルートを計算する 104
目的地に向かう 106　ルートを変更する 116　目的地を変更する 127　目的地を消去する 130
共通で使用するタッチキー 131

オーディオ／ビジュアル P.133
オーディオ／ビジュアルシステム 134　ラジオを聴く 136　テレビを観る 138
HDD サウンドコンテナを使う 146　音楽ディスクを聴く 164　DVD ビデオを観る 168
iPod を聴く 177　USB デバイスを聴く 181　音質を調整する 184
オーディオ／ビジュアルについて 185　オーディオリモートコントロールスイッチ 187

ハンズフリーテレホン P.189
携帯電話を使う 190

リアエンターテインメントシステム P.211
リアエンターテインメントシステム 212　DVD ビデオを観る 213　テレビを観る 218
画質を調整する 222　電池を交換する 223

その他の機能 P.225
燃費情報 226　データ管理 228　スケジュール機能 233　音声メモ 240
カーカルテ 242　リアカメラシステム 250

困ったときは P.253
困ったときは 254　エラーメッセージ 267

情報 P.277
ナビについてもっと知る 278　ハードディスクナビに関する注意点 291　地図データを更新する 292
商標、使用許諾について 294

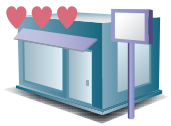
音声コマンド P.301
音声コマンド 302

クイックガイド P.2
設定 P.21
ナビゲーション P.65
オーディオ／ビジュアル P.133
ハンズフリーテレホン P.189
リアエンターテインメントシステム P.211
その他の機能 P.225
困ったときは P.253
情報 P.277
音声コマンド P.301
索引 P.319

これだけできれば快適ドライブ

ここでは、Honda インターナビシステムのよく使う機能を、場面ごとにご紹介します。

出発前によく使う機能



お気に入りの場所を登録する

よく行くお気に入りのお店などを登録しておけば、いつでもすぐに探せます。

P.10 P.86



目的地を探す

さあ出発！これから行きたい場所を、自分のお好きな方法で探せます。

P.9 P.83



自宅を登録する

事前に自宅を登録しておけば、どこからでも帰宅ルートを探せます。

P.8

ルート案内中によく使う機能



設定したルートを変更する

目的地はそのままにルートを変えたり、案内を中止できます。

P.11 P.116



ルート案内中の画面表示

お店や交差点、VICS の交通情報を地図にわかりやすく表示します。

P.12 P.106

音楽・映像を楽しむ機能



オーディオ / ビジュアルの操作

iPod、CD、USB デバイス、DVD ビデオなどのメディアに加え、テレビやラジオも楽しめます。

P.14 P.133

［再生可能メディア］

ラジオ(FM/AM) テレビ HDDサウンドコンテナ CD USB DVD iPod

走行中によく使う機能



音声で操作する

自分の声でナビやオーディオ、エアコンなどを操作することができます。

P.5 P.22 P.302

その他の便利な機能



燃費情報で燃費をチェック

現在の燃費状況の確認や過去の燃費履歴が確認できます。

P.226



リアカメラで運転をバックアップ

駐車時に、後方をモニターで確認できます。

P.250



ハンズフリーテレホン

お手持ちの携帯電話を接続して、ハンズフリーで通話ができます。

P.189

各部のなまえ



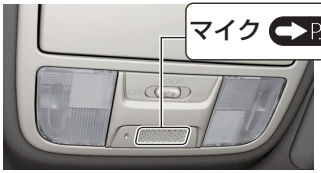
マルチビューカメラシステム搭載車

下記以外のボタンは、左記のイラストと同じです。



▶ マルチビューカメラシステムについては、別冊「マルチビューカメラシステム」をご覧ください。

ーナビゲーション操作で使用
ーオーディオ操作で使用
ーナビゲーション・オーディオの両方の操作で使用





MODE ボタン P. 187
CH（チャンネル）ボタン P. 188
VOL（音量）ボタン P. 187



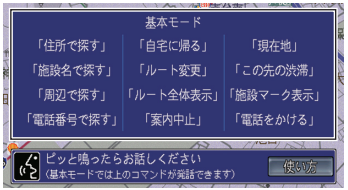
（発話）ボタン P. 22
（オフフック）ボタン P. 207
（オンフック）ボタン P. 207
（取り消し）ボタン P. 22

音声で操作する

音声で操作する

❶ **(発話)ボタン**を押す。
▶「ピッ」と発信音が鳴り、音声コマンドを認識できる状態になります。

❷ 操作のコマンドを発話する。
音声コマンド P. 301



▶ 工場出荷時の設定では、画面に表示されるコマンドの操作のみ行えるようになっています。
もっといろいろな操作を音声で行いたい場合は、音声操作モードを拡張に変更してください。
音声操作の設定 P. 56

音声操作のヒント

音声操作の便利なヒントを、本システムで確認することができます。

❶ **メニューボタン**を押す。

❷ **ツール→音声操作**の順に選択する。



❸ **音声操作ガイド**または**コマンドリスト**を選択する。

▶ **音声操作ガイド**：
操作の目的ごとに、デモンストレーションを確認できます。
音声操作ガイドを使う P. 27

▶ **コマンドリスト**：
操作の目的ごとに、コマンドとその意味を確認できます。
主な音声コマンドを確認する P. 28

地図の見かた

方位マーク P. 70

- 北を上に表示
- 進行方向を上に表示
- 3D 表示

現在のスケール表示

タッチするとスケールバーが表示され、地図のスケールを変更することができます。
操作パネルの**詳細／広域ボタン**を押しても、同じ操作ができます。



- 広域を表示
- VICS 情報表示スケール
- 詳細を表示

VICS 情報アイコン P. 38

- 大型通行止め
- 作業
- チェーン規制
- 進入禁止
- 通行止め・閉鎖
- オフランプ規制
- 工事中
- 片側交互通行
- 車線規制
- 速度規制（数字は制限速度）
- 対面通行
- 駐車場閉鎖
- 駐車場 空き
- 駐車場 混雑
- 駐車場 満車
- 駐車場 不明
- 徐行
- 故障車
- 路上障害（豪雨）
- 凍結
- 入口制限
- 入口閉鎖

気象情報 通信

表示中地点の現在の天気と、3時間後の予報を表示します。

- 快晴
- 晴れ
- 曇り
- 薄曇
- みぞれ
- 弱い雨
- 強い雨
- 湿雪／乾雪



- ETC カード挿入中
- VICS 更新時刻
- 現在時刻（※）
- 走行中エリア
- 自車位置
- GPS 受信中
- 施設マーク P. 76

交通情報表示 P. 38

VICS 情報 一般道
VICS 情報 有料道
インターナビ VICS 情報 一般道
インターナビ VICS 情報 有料道
赤色表示：渋滞、黄色表示：混雑、
青色表示：順調（※）を示します。

地図マーク

交差点
ホンダ店
交通教育センター
オートテラス など
上記以外の地図マークは、マーク一覧をご覧ください。P. 313

道路表示

国道
高速／有料道路
鉄道
主要地方道路／一般都道府県道路
細街路

カスタマイズメニュー P. 61

※工場出荷時は、表示されない設定になっています。

インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う

internavi ルート

internavi ルートとは、インターナビ情報センターが蓄積したノウハウや情報から計算されるルートです。お客様のニーズに応じて、ルート計算の条件の一つとしてご利用いただけます。

新規道取得

新しい道路ができた場合など、通信機能を利用して本システムの道路情報を更新することができます。

パーソナル・ホームページ

インターナビ・リンク プレミアムクラブが提供するパソコン向けのサービスです。
ご自宅のパソコンからルートを計算したり、車のメンテナンス状況を管理したりすることができます。
インターナビ・リンク プレミアムクラブの詳細はホームページの「使い方ブック」をご覧ください。
ホームページ：
http://www.honda.co.jp/internavi/info/guide/book.html

このほかにも、インターナビ・リンク プレミアムクラブはドライブに役立つ便利な情報を提供しております。
情報を見るには、以下の手順で操作します。

1. **メニューボタン**を押し、**internavi 情報**を選択する。
2. 見たい項目を選択する。



インターナビ・リンク プレミアムクラブのサービスについて

2014年12月時点の情報を基に作成しております。サービス内容ならびに仕様について予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

自宅を登録する

ドライブ前に、まずはご自宅の場所を登録しましょう。お出かけ先から戻る際など、すぐにルートを設定できるので便利です。

❶ **目的地ボタン**を押す。



❷ **自宅登録**を選択する。



❸ **現在地を自宅に登録**を選択する。



▶ 現在地が自宅として登録されます。

▶ ほかにも、いろいろな方法で検索できます。P. 83

簡単操作モードでは、地図から自宅を探して登録することができます。



目的地メニューで**自宅登録**を選択し、表示される地図画面をスクロールして自宅を探します。自宅に登録したい地点が表示されたら、**自宅セット**を選択してその地点を自宅として登録します。

自宅に帰る

❶ **目的地ボタン**を押す。

❷ **自宅へ誘導**を選択する。



▶ 現在地から自宅へのルートが計算されます。

❸ **案内開始**を選択する。



▶ ルート案内が開始されます。

目的地を探す

目的地を探す P. 83

ドライブの目的地や、途中で立ち寄る経由地を設定しましょう。本システムでは、いろいろな方法で場所を探すことができます。ここでは、住所から目的地を探してルートを設定します。

❶ **目的地ボタン**を押す。



❷ **検索して探す**タブを選択する。

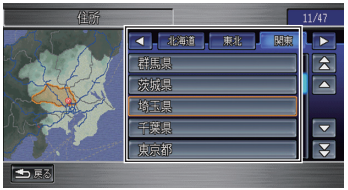


❸ **住所**を選択する。



► 住所のほかに、施設名や電話番号でも探すことができます。
目的地を探す P. 83

❹ **都道府県**、**市区町村**、**地名**を順に選択する。



❺ **丁目**、**番地**、**号**を順に選択する。

❻ **目的地セット**または**経由地セット**を選択する。



► **目的地セット**：表示中の地点を目的地としてルートを設定します。
すでにルートが設定されている場合は、表示中の地点を新しい目的地としてルートを再設定します。

► **経由地セット**：すでにルートが設定されている場合に、表示中の地点を経由するルートを設定します。

❼ **案内開始**を選択する。



► ルート案内が開始されます。

► **ルート情報** P. 104

► **経由地設定** P. 123

► **5ルート** P. 122

► **internaviルート** 通信 P. 119

お気に入りの場所を登録する

よく行く地点を登録する P. 86

お気に入りのお店など、よく行く場所を本システムに登録しておけば、目的地の設定が簡単に行えます。
よく行く地点は、5 件まで登録できます。

❶ 目的地ボタンを押す。



❷ よく行く地点を選択する。



❸ 未登録を選択する。



❹ 登録したい場所を検索する。



いろいろな方法で検索できます。
P. 83

❺ 地点○セットを選択する。



▶ 場所の検索方法によって、いずれかの画面が表示されます。

登録した場所に行く

❶ 目的地ボタンを押す。

❷ よく行く地点を選択する。

❸ 行きたい地点をリストから選択する。

❹ 目的地セットを選択する。



▶ ルートが計算されます。

❺ 案内開始を選択する。



▶ ルート案内が開始されます。

設定したルートを変更する

ルートを変更する P.116

ルートの計算条件を変更したり、ルート案内を中断できます。
また、繁華街をドライブする場合は、目的地の近くにある駐車場を自動的に探すこともできます。

計算条件を変更する

❶ **目的地ボタン**を押す。



❷ **ルート**タブを選択する。



❸ **5 ルート表示**を選択する。



❹ 設定したい計算条件を選び、**決定**を選択する。



❺ **案内開始**を選択する。



▶ ルート案内が開始されます。

▶ 新しくルートを設定するときも、目的地選択後のこの画面で**5 ルート**を選択して、計算条件を選択できます。

▶ **ルート情報** P.104
▶ **経由地設定** P.123
▶ **internavi ルート** 通信 P.119

ルート案内を一時中断する

目的地ボタンを押し、**誘導一時中断**を選択する。



▶ 再開するには、**目的地ボタン**を押して**誘導再開**を選択します。

目的地周辺の駐車場を探す

以下の画面が表示されたら、**表示する**を選択する。



▶ 目的地近くの駐車場を表示します。

最寄りの駐車場に行く P.128

ルート案内中の画面表示

目的地に向かう P. 106

ドライブ中は、ルート案内に合わせて音声ガイダンスやさまざまな画面表示が出ます。
一部の表示内容および音声ガイダンスの内容は、設定によって変更できます。P. 43

ルート案内中の地図画面



警告アイコン P. 43

踏み切りや事故多発地点をアイコンでお知らせします。

直線誘導線 P. 40

走行ルート

よく行く地点アイコン P. 85

次の案内地点

次の案内地点までの距離と進行方向を表示します。

レーン案内

進行方向は緑色で表示します。

方面看板案内

進行方向は緑色で表示します。

直近の経由地または目的地への到着予想時刻と残距離を表示します。
表示内容は、変更できます。P. 40

経由地アイコン P. 123

走行軌跡 P. 38

目的地アイコン P. 104

案内地点で出る表示



案内地点までの距離

交差点名称とレーン表示

高速道路で出る表示



通過する施設のリスト

SA/PA 情報

操作モードを切り換える

本システムには、簡単操作モードと標準操作モードがあります。

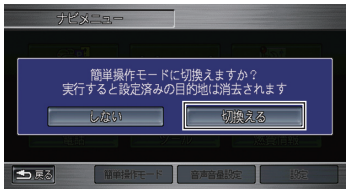
❶ **メニューボタン**を押す。



❷ 切り換えたいモードを選択する。



❸ **切換える**を選択する。



► 操作モードを切り換えると、設定済みの目的地、経由地は解除されます。

簡単操作モードでは …

ナビゲーションの基本的な機能のみを操作できます。
本システムをシンプルにお使いになりたい方におすすめのモードです。

簡単操作モードの目的地メニュー



標準操作モードでは …

ナビゲーションのすべての機能を操作できます。
本システムを便利にお使いになりたい方におすすめのモードです。

標準操作モードの目的地メニュー



オーディオ／ビジュアルの操作

オーディオ／ビジュアル P. 133

本システムでは、いろいろなメディアの音楽・映像を楽しむことができます。

ラジオ P. 136



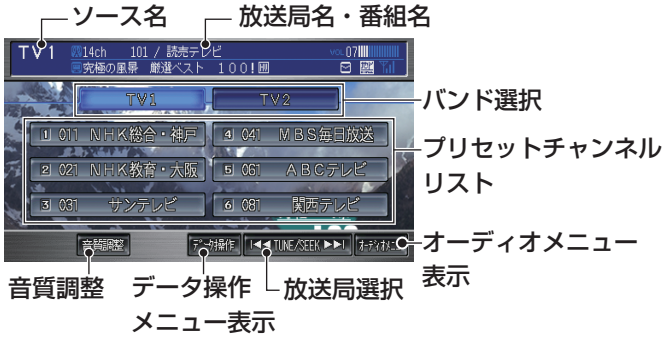
CD P. 164 / HDD サウンドコンテナ P. 146 / iPod P. 177 / USB デバイス P. 181



DVD ビデオ P. 168



テレビ P. 138



基本操作

❶ ⏻AUDIO **ボタン**を押し、オーディオの電源をオンにする。



▶ マルチビューカメラシステム搭載車の場合は、**ボリュームノブ**を押します。

❷ **SOURCEボタン**を押し、お好みのソースを選択する。



❸ **VOL(音量)ボタン**を押し、オーディオの音量を調節する。



▶ マルチビューカメラシステム搭載車の場合は、**ボリュームノブ**を回します。

▶ **AUDIO ボタン**を押すごとに、ナビゲーション画面とオーディオ画面が切り換わります。

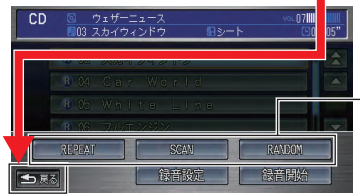
オーディオメニュー

オーディオメニューでは、再生方法を変更したり、さまざまな設定をすることができます。



▶ 画面はCDのオーディオメニューです。

▶ オーディオメニューの内容は、ソースによって異なります。詳しくは、各ソースの説明をご覧ください。



再生方法の変更キー

ディスクの入れかた

❶ ⏏**(イジェクト)ボタン**を押す。



▶ パネルが開きます。

❷ ディスク挿入口にディスクを入れる。



ディスク挿入口

▶ ディスクを入れてしばらくすると、自動的にパネルが閉まります。

▶ ⏏**（イジェクト）ボタン**を押しても、パネルを閉じることができます。

後席で映像を楽しむ

リアエンターテインメントシステム P.211

リアエンターテインメントシステム装備車は、後席モニターで、テレビ、DVD ビデオ、ビデオの映像を視聴することができます。

❶ 後席モニターを開く。
▶ 開くと電源がオンになり、閉じるとオフになります。



❷ ナビゲーションの操作パネルにある **SOURCE ボタン**を押し、後席で視聴したいソースを選択する。
▶ 後席モニターで視聴できるのは、ナビゲーションで選択しているソースです。

❸ リモコンの DVD、TV、ビデオ ボタンのいずれかを押す。
▶ 後席モニターに映像が表示されます。

⏻（電源）ボタン
後席モニターの電源をオン／オフします。

＋－（VOLUME）ボタン
音量を調節します。

表示 ボタン
ソース名や放送局名などを表示します。

実行 ボタン
▲▼◀▶ で選択した項目を実行します。

戻る ボタン
ひとつ前の画面に戻ります。

⏮ ボタン
前のチャプターやチャンネルに切り換えます。

⏯ ボタン
DVD ビデオを一時停止します。



DVD TV ビデオ ボタン
映像をそれぞれのソースに切り換えます。

＋－（CH）ボタン
テレビ視聴時に、前後のプリセットチャンネルを受信します。

メニュー ボタン
設定画面を表示します。

画面 ボタン
画質調整メニューを表示します。

⏭ ボタン
次のチャプターやチャンネルに切り換えます。

■ ボタン
DVD ビデオを停止します。

よくある質問

困ったときは P. 253

Q 現在地がよくずれるのですが･･･

A GPS アンテナ周辺に金属製の物を置いていませんか？
GPS アンテナはインストルメントパネルの内部(中央)にあります。GPS アンテナ周辺に金属製のトレーや小銭、携帯電話などが置かれていないか確認してください。

Q 地図のスケールが勝手に変わってしまいます。

A 安全のため、時速に合わせて地図のスケールを変更する仕様になっています。

Q バッテリーを交換したら、現在地と時刻が変わってしまいました。

A GPSが測位するまでしばらくお待ちください。バッテリーからの電源が供給されない状態がしばらく続くと、現在地や日時が工場出荷時の状態に戻ります。しかし GPS の測位が完了すれば、正しい現在地と日時を示します。しばらく待っても直らない場合は、お近くの Honda 販売店にご相談ください。

Q 地図に表示されるコンビニなどのマークが多すぎる！もっと減らせないの？

A 不要な施設マークは、非表示にできます。
施設マークの表示／非表示 P. 76

Q 音楽 CD を再生しても、タイトルが表示されない！

A すべての音楽CDのタイトル情報をサポートしているわけではありません。
ただし、工場出荷時期以降に発売されたCDは、新しいタイトル情報を取得すれば表示される場合があります。(タイトル情報の取得には、通信機能が必要です。)
タイトル情報を取得する P. 157

Q ワンセグ放送は視聴できますか？

A はい、視聴できます。本システムは地上デジタル放送の「12 セグ放送」および「ワンセグ放送」に対応しています。

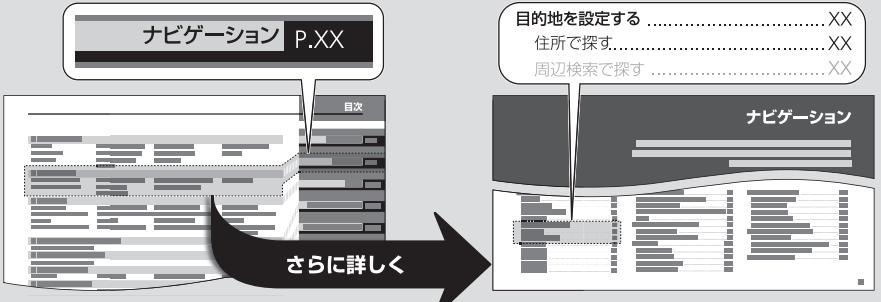
本書の使いかた

知りたい情報がどこに書かれているのかを簡単に見つける手順をご説明します。



目次から探してみましょう P.1

本書には、2 種類の目次があります。



目次

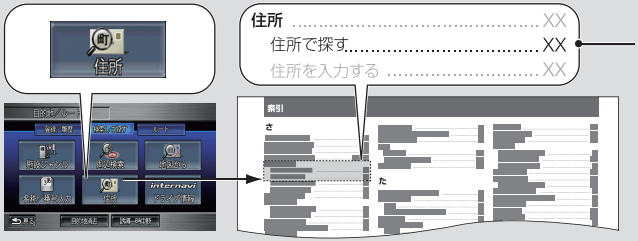
まず、探している内容に関連する章を見つけましょう。
(例:住所から目的地を探す)
章が見つかったら、より詳しい目次を見るため、その章のページを開きます。

章目次

さらに詳しい目次です。
タイトルから、この章に含まれる説明の内容がわかります。

索引から探してみましょう P.319

ナビゲーション画面(例:住所)にあるメニュー項目は、それぞれ索引から引くことができます。

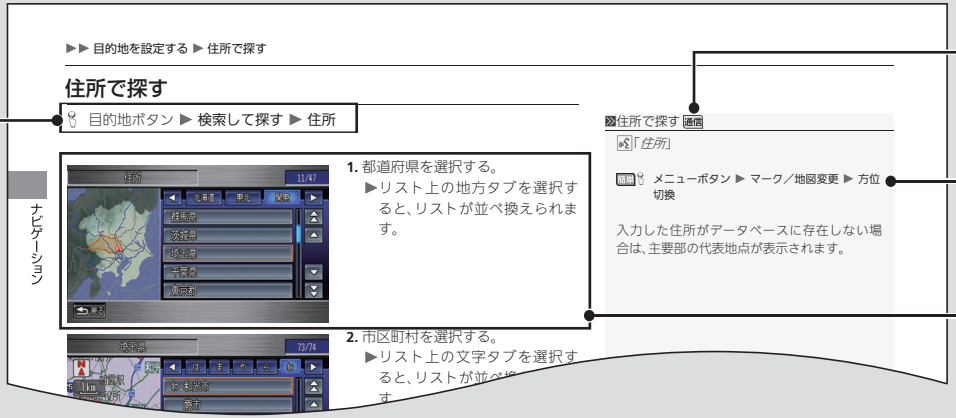


ナビゲーション画面

索引

索引は、メイン項目とサブ項目でできています。
お探しの情報によっては、サブ項目があることで目的のページをすぐに見つけることができます。

次ページへ続く



通信機能が必要な操作を示します。

簡単、標準は、各モードでの操作を示します。
➡ **操作モードを切り換える** P.13

メニューツリーに従って操作した後は、動作ごとの手順説明を読みながら、目的の操作を行いましょう。

メニューツリー

メニューツリーとは、本システムを操作するためのガイドです。
メニューツリーの操作を表示順に行うことで、目的の機能に行き着くことができます。

お知らせ
全てのメニュー項目は、音声コマンドでも選択することができます。

目的地ボタン ▶ 住所



操作パネル上のボタンを押します。

目的地ボタンを押します。



画面上の項目を、タッチして選択します。

住所 *を選択します。*

※ この項に掲載されているサンプルページおよび画面は、実際のものとは異なる場合があります。

Honda インターナビシステムを安全にお使いいただくために、お守りいただきたい事項を説明します。

■ 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を、回避方法と共に下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠**危険**:指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠**警告**:指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠**注意**:指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

■安全に関する記号

⃠:禁止(してはいけないこと)を示します。

⚠警告

テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠注意

- **パネルの収納時に手や指が挟まれないようにご注意ください。**
- **安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

設定

この章では、本システムのさまざまな機能に関する設定について記載しています。



音声で操作する 22
音声コマンドを発話する 22
正しく認識させるには 23
声を本システムに登録する 25
音声操作ガイドを使う 27
主な音声コマンドを確認する 28
案内音量の調節 29
音声案内の音量を調整する 29
画面の設定 30
画面表示を消す 30
明るさやコントラストを設定する 30
アドレス帳を設定する 31
アドレスを登録する 31
アドレス帳を編集する 32
機能メニューを使う 33
アドレスを検索する 35
シークレットモード 36
シークレットモードを設定する 36
地図表示の設定 38
詳細設定 40
ルート案内の設定 43
詳細設定 44
インターナビ／ VICS の設定 51
詳細設定 54
車両警告の設定 55
音声操作の設定 56
詳細設定 57
システム設定 58
カスタマイズメニューを使う 61
カスタマイズメニューを編集する 62
internavi ダイレクトを使う 63

音声コマンドで、本システムのほとんどのナビゲーション操作をハンズフリーで行うことができます。また、オーディオ／ビジュアル機能や本システムに接続した携帯電話の操作もできます。
音声コマンドは、マップランプ付近にあるマイクで認識します。ハンドルの(発話)ボタンと(取り消し)ボタンで操作します。

音声コマンドを発話する

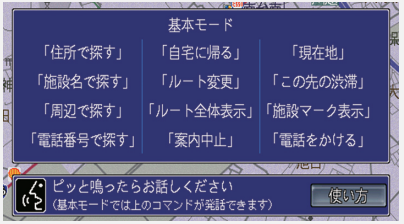
音声コマンドが認識されなかったり、コマンドを発話するまでに時間がかかり過ぎると、再度発話するよう促されます。
音声コマンドが正しく認識された場合は、その内容を画面表示と音声で案内します。音声コマンドの種類によっては、本システムからさらに情報を尋ねることがあります。
主な音声コマンドは、コマンドリストから確認できます。

主な音声コマンドを確認する P.28

音声で操作する

ハンズフリーテレホンでの通話時は、音声操作はできません。

音声操作モードを**基本**に設定している場合、(発話)ボタンを押すと使用できる音声コマンドが画面に一覧表示されます。



拡張に設定している場合は、(発話)ボタンを押し、**発話例表示**を選択すると発話例を表示できます。

音声コマンドを発話する

音声操作中は、オーディオ／ビジュアルの音声は消音されます。

繰り返し正しく認識されない場合は、現在地ボタンを押して、始めから操作をやり直してください。

正しく認識させるには

音声コマンドを正しく認識させるには、いくつかのポイントがあります。

- (発話)ボタンを押して、「ピッ」という音の後、約 5 秒以内に発話する。(画面の が に変わった状態のときに発話する。)
- 音声コマンドを発話している画面が正しいか確認する。
- 車外の音などを遮断するため、窓やサンルーフを閉める。
- エアコンの風量を下げる。
- 言葉と言葉の間に空白をはさまず、音声コマンドのみを自然ではっきりした声で発話する。
- 同時に複数が話さないようにする。
- 音声操作ガイドを確認する。

音声操作ガイドを使う P.27

正しく認識させるには

音声は、通常の運転姿勢で正しく認識します。顔をマイクに向けたり、無理に大きな声で発話する必要はありません。

初めて操作するときや操作する人が変わったときは、操作する人の声を本システムに登録すると、認識されやすくなります。

声を本システムに登録する P.25

「ピッ」という音の後に、一息おいて発話すると認識されやすくなることがあります。

音声操作を始める前に、「*現在地*」と発話して認識させる操作を約 3 回繰り返して行うと、音声が認識されやすくなることがあります。

本システムからの応答メッセージの途中でも、(発話)ボタンを押して音声コマンドを発話することができます。

探している地点の地図画面で**操作メニュー**を選択すると、目的地セットなどの操作を行うためのメニューが表示されます。

■ 住所、郵便番号、電話番号を発話するとき

住所、郵便番号、電話番号は、以下の例のように発話します。

■住所

東京都港区南青山 1 丁目 1 番地 1111-1 号

- 「*トウキョウトミナトクミナミアオヤマ イチのイチのセンヒャクジュウイチのイチ*」
- 「*トウキョウトミナトクミナミアオヤマ イチのイチのイチ イチ イチ イチのイチ*」

以下の点に気をつけてください。

- 「番地（バンチ）」や「号（ゴウ）」は発話しない
- 郡名は省略する

■郵便番号、電話番号

123-4567

「*イチ ニー サン ヨン ゴー ロク ナナ*」

03-0123-1000

「*ゼロ サン ゼロ イチ ニー サン イチ ゼロ ゼロ ゼロ*」

以下の点に気をつけてください。

- 十、百、千などの桁情報は発話しない

»住所、郵便番号、電話番号を発話するとき

数字は決まった読み方で発話してください。
➡ 数字コマンド P.312

町は「マチ」・「チョウ」、村は「ムラ」・「ソン」のどちらでも認識できます。

都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

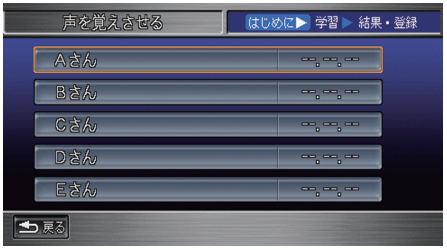
郵便番号は「はじめの 3 桁」「続きの 4 桁」の 2 回に分けての発話もできます。

電話番号は「市外局番」「市内局番」「残りの 4 桁の番号」の 3 回に分けての発話、「市外局番 + 市内局番」「残りの 4 桁の番号」の 2 回に分けての発話もできます。

声を本システムに登録する

メニューボタン ▶ ツール ▶ 音声操作 ▶ 声を覚えさせる

本システムに声を覚えさせることで、音声コマンドの認識率を上げることができます。また、音声操作するときに気をつけていただきたいアドバイスを表示します。



1. ユーザーを選択する。



2. 画面と音声ガイダンスに従って操作する。

▶学習は5回(5つの単語)繰り返します。最後の学習を終了すると、学習結果として認知レベルとアドバイスを表示します。

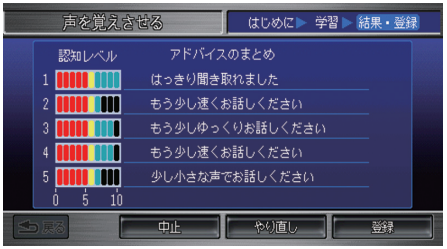
声を本システムに登録する

登録したユーザーは切り換えることができます。また、ユーザー名の編集もできます。

音声操作の設定 P.56
名称を編集する P.26

うまく認識できなかった場合は、↩(取り消し)ボタンを押して再度操作してください。

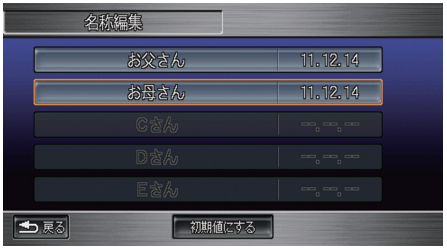
次ページに続く



3. **登録**を選択する。
4. **登録する**を選択する。

■名称を編集する

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 音声操作設定 ▶ 音声操作ユーザー選択 ▶ 名称編集



1. 変更したいユーザーを選択する。
2. **名称**または**読み**を選択し、入力する。
3. **設定完了**を選択する。

声を本システムに登録する

やり直し
手順 1 からやり直します。

中止
声の登録を中止します。

名称を編集する

名称は全角 5 文字(半角 10 文字)、読みは 14 文字まで入力できます。

初期値にする
ユーザーリスト表示画面で選択するとすべてのユーザー、ユーザー選択後の画面で選択するとそのユーザーのユーザー名、声データを初期化します。

音声操作ガイドを使う

メニューボタン ▶ ツール ▶ 音声操作 ▶ 音声操作ガイド



1. 目的の項目を選択する。
2. **デモ再生**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **基本操作**:音声操作に必要な基本的な操作の説明を表示します。
- **住所検索**:住所による検索で、目的地を設定する例を表示します。
- **施設検索**:施設を検索して、そこに目的地を設定する例を表示します。
- **周辺検索**:ルート周辺の施設を検索して、そこに経由地を設定する例を表示します。
- **電話番号検索**:電話番号による検索で、目的地を設定する例を表示します。
- **郵便番号検索**:郵便番号による検索で、目的地を設定する例を表示します。

音声操作ガイドを使う

「*音声操作ガイド*」

音声操作モードが**基本**の場合は、**使い方**を選択しても音声操作ガイドを表示することができます。

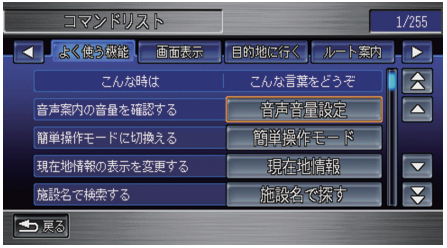
デモ中止
デモを途中で止めます。

郵便番号検索
音声操作モードが**拡張**の場合のみ表示されます。

➡ **音声操作の設定** P.56

主な音声コマンドを確認する

メニューボタン ▶ ツール ▶ 音声操作 ▶ コマンドリスト



1. いずれかのジャンルを選択する。
2. 確認したい発話例を選択する。
▶音声コマンドの詳細な説明が確認できます。

以下の項目を選択できます。

- **よく使う機能**:ユーザー自身がよく使う手動操作に相当する音声コマンドが自動的に格納されます。
- **画面表示**:画面表示に関する発話例です。
- **目的地に行く**:目的地設定に関する操作の発話例です。
- **ルート案内**:ルート案内に関する操作の発話例です。
- **エアコン**:エアコン操作に関する発話例です。
- **オーディオ**:オーディオ操作に関する発話例です。
- **インターナビ／電話**:インターナビ、電話の操作に関する発話例です。
- **天気／交通情報**:internavi ウェザーや VICS に関する操作の発話例です。
- **その他**:環境の設定や各種情報の確認に関する発話例です。

主な音声コマンドを確認する

「*コマンドリスト*」

音声操作モードが**基本**の場合は、この機能は操作できません。

音声操作の設定 P.56

音声案内の音量を調整する

メニューボタン ▶ 音声音量設定



1. − または ＋ を選択する。
   ▶選択するごとに案内音が流れ、音量を確認できます。
2. **決定**を選択する。

音声案内の音量を調整する

− を選択し続けて音量バーが消灯すると、案内音声は消音になります。

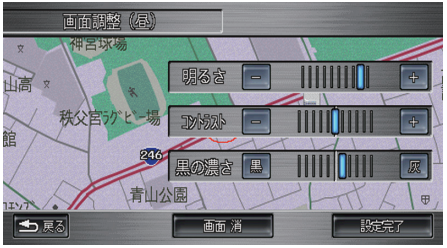
画面表示を消す

画面ボタンを約 2 秒間押し続ける。

▶画面を再度表示するには、現在地ボタン、メニューボタン、目的地ボタン、画面ボタンのいずれかを押してください。

明るさやコントラストを設定する

昼画面、夜画面ごとに明るさや黒の濃さを調節します。



1. 画面ボタンを押す。
   ▶画面ボタンを押すごとに、昼画面、夜画面、画面オフが切り換わります。
2. 各項目の −、＋ または**黒**、**灰**を選択して調節する。
3. **設定完了**を選択する。

画面表示を消す

以下の方法でも消すことができます。

- 画面ボタンを 3 回押す（車幅灯点灯時は 2 回）
- 画面ボタンを押して**画面消**を選択する

明るさやコントラストを設定する

昼画面、夜画面の他、ナビゲーション画面、オーディオ画面ごとでも設定内容を保持できます。

夜画面でも、イルミネーションコントロールで「車幅灯点灯時の減光」を解除すると昼画面の明るさになります。イルミネーションコントロールの設定については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

アドレスを登録する

メニューボタン ▶ ツール ▶ アドレス帳

電話番号、メールアドレスなどを 1000 件まで登録することができます。



1. **新規登録**を選択する。



2. 項目を選択し、入力する。
▶ここで入力した読みは「メニュー音声読み上げ」で使用されます。
➡ **システム設定** P.58

3. **入力完了**または**完了**を選択する。
▶**手順 2** から **3** を繰り返し、必要な項目を入力します。

4. **設定完了**を選択する。

アドレスを登録する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

アドレス 1 件につき、名前、読み、電話番号 3 つ、メールアドレス 2 つ、グループ番号を登録できます。

アドレス帳にシークレットモードを設定すると、メニュー画面から選択できなくなります。
➡ **シークレットモード** P.36

グループ番号を設定すると、グループでの管理ができます。グループは 00 ～ 19 の計 20 個まで作成できます。グループの名称は編集ができます。
➡ **グループ名を編集する** P.34

電話番号○種別、メール○種別
自宅、**携帯**、**職場**、**その他**から種別を選択できます。

本システムから登録する以外に、以下のデータをアドレス帳に読み込むことができます。
- 携帯電話の電話帳データ
  ➡ **アドレス帳に読み込む** P.197
  ➡ **アドレス帳に追加する** P.198
- USBメモリーに保存したvCard形式のデータ
  ➡ **機能メニューを使う** P.33

アドレス帳を編集する

メニューボタン ▶ ツール ▶ アドレス帳



1. アドレスを選択する。



2. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **詳細情報**:登録済みの内容を編集します。
- **消去**:選択中のアドレスを消去します。

アドレス帳を編集する

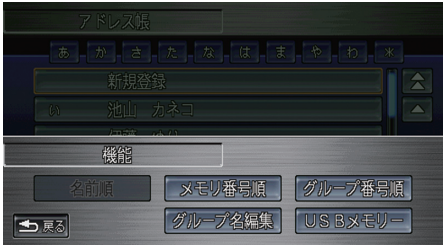
全消去
すべてのアドレスを消去します。

機能
アドレスを並び換えたり、グループ名を編集できます。
機能メニューを使う P.33
グループ名を編集する P.34

検索
名前や電話番号などでアドレスを検索できます。
アドレスを検索する P.35

機能メニューを使う

メニューボタン ▶ ツール ▶ アドレス帳 ▶ 機能



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **名前順**:アドレスを名前順に並べ換えます。
- **メモリ番号順**:アドレスをメモリ番号順に並べ換えます。
- **グループ番号順**:アドレスをグループ番号順に並べ換えます。
- **グループ名編集**:アドレス帳のグループ名を編集します。
- **USB メモリー**:インターナビUSBコードにUSBメモリーを接続している場合に、アドレスの読み込み、消去ができます。

USB メモリーを接続する P.228

機能メニューを使う

読みが設定されていないアドレスは、名前順で表示すると＊で示されます。
グループ番号が設定されていないアドレスは、グループ番号順で表示すると＊で示されます。

USB メモリー

vCard 形式のデータのみ対応しており、アドレス 1 件あたり電話番号は 3 件、メールアドレスは 2 件まで読み込めます。
以下の項目が選択できます。

- **データ読み込み**:アドレスを本システムに読み込みます。**全コピー**を選択すると、すべてのアドレスを読み込みます。
- **データ消去**:アドレスをUSB メモリーから消去します。**全消去**を選択すると、すべてのアドレスを消去します。

■ グループ名を編集する

メニューボタン ▶ ツール ▶ アドレス帳 ▶ 機能 ▶ グループ名編集



1. グループ番号を選択する。

2. 項目を選択し、入力する。

▶ここで入力した読みは「メニュー音声読み上げ」で使用されます。

システム設定 P.58

3. **入力完了**を選択する。

4. **設定完了**を選択する。

アドレスを検索する

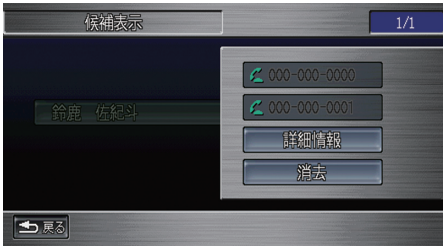
メニューボタン ▶ ツール ▶ アドレス帳 ▶ 検索

名前や電話番号など、一部の情報で検索することができます。



1. いずれかの項目を選択する。

2. 選択した項目の内容を入力し、**入力完了**または**完了**を選択する。
▶検索が開始され、入力した項目に該当するアドレスのリストを表示します。



3. アドレスを選択する。

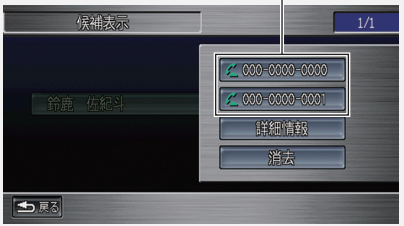
アドレスを検索する

詳細情報
選択中のアドレスの詳細情報を表示します。

消去
選択中のアドレスを消去します。

携帯電話が本システムに接続されていると、電話番号を選択して電話をかけることができます。

登録されている電話番号



➔ **Bluetooth で接続する** P.191
➔ **ケーブルで接続する** P.196

シークレットモードを設定する

メニューボタン ▶ ツール ▶ シークレットモード

マーク情報やアドレス帳などの表示をパスワードで規制できます。



1. 4 桁の数字を入力し**完了**を選択する。
2. もう一度同じ 4 桁の数字を入力して**完了**を選択する。
   ▶すでにパスワードが設定済みの場合、この操作は不要です。
3. **ON** を選択する。

■ シークレットモードを解除する

メニューボタン ▶ ツール ▶ シークレットモード



1. パスワードを入力して**完了**を選択する。
2. **OFF** を選択する。

»シークレットモードを設定する

パスワードを忘れたときは、下記の方法でパスワードをクリアし、パスワードを再設定してください。

1. パスワード入力画面を表示する。
2. 何も入力されていない状態で、**修正**を 5 回連続で選択する。

パスワードをクリアすると、設定したマーク地点リスト、アドレス帳などのシークレットモードは解除されます。

シークレットモードが設定されているときに、マーク情報やアドレス帳などの表示操作を行うと、シークレットモードが ON であることを伝えるメッセージが表示されます。

■ パスワードを変更する

メニューボタン ▶ ツール ▶ シークレットモード ▶ パスワード変更



1. 現在のパスワードを入力して**完了**を選択する。
2. 新しいパスワードを入力して**完了**を選択する。
3. もう一度新しいパスワードを入力して**完了**を選択する。

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 地図表示設定

地図上に表示される情報についての設定です。



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
   ▶**詳細設定**:さらに詳細な設定をします。
   ➡ **詳細設定** P.40
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **都市高速マップ表示**:都市高速道路の走行時に、「都市高速マップ」を表示します。(初期値:**する**)
- **一般道情報表示**:VICS 情報を一般道路に表示します。(初期値:**する**)
  ➡ **地図の見かた** P.6
- **高速道情報表示**:VICS 情報を高速道路に表示します。(初期値:**する**)
  ➡ **地図の見かた** P.6
- **VICS 駐車場マーク表示**:VICS 駐車場マークを表示します。(初期値:**する**)
  ➡ **地図の見かた** P.6
- **渋滞表示**:渋滞を示す矢印を表示します。(初期値:**点滅表示**)
  ➡ **地図の見かた** P.6
- **混雑表示**:混雑を示す矢印を表示します。(初期値:**する**)
  ➡ **地図の見かた** P.6
- **順調表示**:順調を示す矢印を表示します。(初期値:**しない**)
  ➡ **地図の見かた** P.6

地図表示の設定

簡単操作モード時は、以下の項目のみ変更できます。

- **気象警戒エリア表示**
- **時計表示**
  ➡ **詳細設定** P.40
- **サマータイム表示**
  ➡ **詳細設定** P.40

初期値にする

地図表示設定を初期値に戻します。

都市高速マップ表示

都市高速マップとは、高速道路、有料道路、主要幹線道路のみを表示するマップです。

➡ **ガイダンス画面** P.108

- **走行軌跡表示**:走行軌跡を表示します。(初期値:**しない**)
  ➡ **ルート案内中の画面表示** P.12
- **走行軌跡消去**:走行軌跡のデータを消去します。
- **地図色　昼**:昼画面の地図色を、**ホワイト**、**ブルー**、**ベージュ**、**グリーン**、**モノトーンライト**、**モノトーンダーク**から選択します。(初期値:**ホワイト**)
- **地図色　夜**:夜画面の地図色を、**ホワイト**、**ブルー**、**ベージュ**、**グリーン**、**モノトーンライト**、**モノトーンダーク**から選択します。(初期値:**ブルー**)
- **気象警戒エリア表示**:通信気象予報アイコン、降雨・降雪・津波マークを表示します。また、ルート上に気象警戒エリアがある場合は、その案内をします。(初期値:**する**)
- **internavi 地点マーク表示**:通信インターナビ情報センターからの地点情報を基に、アイコンを表示します。(初期値:**する**)
- **3D 角度調整**:3D マップ表示時の視野角度を **1** ～ **10** の 10 段階で調節します。(初期値:**5**)

地図表示の設定

走行軌跡表示
約 100km までの走行軌跡が表示できます。走行軌跡は 50km スケール以下で表示されます。

地図色　昼
車幅灯を消しているときの画面です。

地図色　夜
車幅灯をつけているときの画面です。

気象警戒エリア表示、internavi 地点マーク表示
ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。
➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7

詳細設定

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 地図表示設定 ▶ 詳細設定 ▶ 地図表示



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **現在地情報の表示**:現在地の地名または路線名を表示します。(初期値:**地名**)
- **路線番号表示**:走行中の道路の路線番号を表示します。(初期値:**する**)
- **方面看板表示**:ルート上にあるすべての交差点について、方面看板を表示します。(初期値:**する**)

  ガイダンス画面 P.108
- **レーン情報表示**:レーン情報を表示します。(初期値:**する**)

  地図画面 P.107
- **到着予想時刻表示**:到着予想時刻と残距離の対象地点を選択します。
  - **目的地**:目的地を対象地点にする。
  - **経由地**(初期値):経由地を対象地点にする。
  - **しない**:到着予想時刻を表示しない。
- **リアル拡大図表示**:主要交差点で3Dのリアル拡大図を表示します。(初期値:**する**)

  ガイダンス画面 P.108

詳細設定

初期値にする

地図表示設定の詳細設定を初期値に戻します。

現在地情報の表示

- **地名**を選択した場合、地図スケールによって表示内容が異なります。

スケール	市区町村名	都道府県名
10m ～ 500m	表示	非表示
1km ～ 5km	表示	表示
10km ～	非表示	表示

- 地名や路線名が表示されない場合もあります。

路線番号表示

現在地情報の表示が**路線名**の場合のみ、表示されます。

方面看板表示

東京、名古屋、大阪の主要交差点のみ、方面看板が表示されます。

- **規制表示**:交通規制に関する VICS 情報マークと規制区間を表示します。(初期値:**する**)
  ➡ **地図の見かた** P.6
- **ビル立体表示**:市街地図表示(10、25、50m スケール)でかつ 3D マップ表示のとき、付近のビルを立体表示します。(初期値:**する**)
- **24 時間表示**:時計を 12 時間表示から 24 時間表示に切り換えます。(初期値:**しない**)
- **直線誘導線表示:**ルート案内中に直線誘導線を表示します。(初期値:**しない**)
  ➡ **ルート案内中の地図画面** P.12
- **高速ガイド自動表示**:高速道路に入ったときに、自動的に高速ガイドを表示します。(初期値:**する**)
  ➡ **高速ガイド** P.69
- **時計表示**:画面上に時計を表示します。(初期値:**しない**)
- **施設文字**:地図に表示する施設名称の文字サイズを選択します。
  - **標準**(初期値):標準サイズで表示する。
  - **小文字**:小さいサイズで表示する。
- **有名施設リアル表示**:スケール200m以下で3Dマップを表示している場合に、目印になる施設を立体(3D ポリゴン)表示します。(初期値:**する**)
- **行程ガイド IC 省略**:行程ガイド中で表示されるインターチェンジを入口/出口 IC のみにします。(初期値:**しない**)
  ➡ **行程ガイド** P.69
- **走行軌跡自動消去**:自宅を目的地に設定した場合、自宅到着時に走行軌跡を自動的に消去します。
  - **自宅到着時**:軌跡を自動的に消去する。
  - **しない**(初期値):軌跡を自動的に消去しない。
- **サマータイム表示**:時計をサマータイム表示します。(初期値:**しない**)

次ページに続く

詳細設定

ビル立体表示

都市部で、地図スケールが 10m ～ 50m のときに代表的なビルなどの建物を立体表示した市街地図を表示します。



直線誘導線表示

直線誘導線とは、目的地または経由地までの直線方向を示す線のことです。

走行軌跡自動消去

以下の場合、走行軌跡は自動消去されません。

- スクロール操作で自宅を目的地に設定した場合
- 自宅から100m以上離れた場所でエンジンを止めた場合

- **地図色時刻連動**:日の出／日の入り時刻に連動して、画面の地図色を切り換えます。(初期値:**しない**)
- **3D アイコン表示**:スケール200m以下で地図を表示している場合に、目印になる施設を立体で表示します。(初期値:**する**)
- **道路ふち取り表示**:道路にふち取りを表示します。(初期値:**しない**)

詳細設定

地図色時刻連動
しないに設定した場合は、車幅灯のオンオフで画面の配色が切り換わります。

ルート案内の設定

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 案内設定



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
   ▶**詳細設定**:さらに詳細な設定をします。
   ➡ **詳細設定** P.44
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **合流案内**:ルート走行中に合流地点に近づくと、マーク表示と音声で案内します。(初期値:**する**)
- **事故多発地点案内**:事故多発地点に近づくと、マーク表示と音声で案内します。(初期値:**する**)
- **踏み切り案内**:ルート走行中に踏み切りに近づくと、マーク表示と音声で案内します。(初期値:**する**)
- **県境案内**:県境に近づいたとき、音声とテロップ表示で案内します。(初期値:**する**)
- **ルート計算条件**:ルート計算時に、最初に計算させる基準を設定します。設定内容は、設定後のルート計算から反映されます。
  - **標準**(初期値):標準条件で計算します。
  - **一般道優先**:一般道優先で計算します。
  - **距離優先**:距離優先で計算します。
  - **道幅優先**:道幅優先で計算します。
  - **internavi ルート**:通信 internavi ルートを使用して計算します。

次ページに続く

ルート案内の設定

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
ルート案内設定を初期値に戻します。

合流案内
以下の場合に◀、▶のマーク表示と音声で案内します。

- 高速道路、都市高速で 700m 前方に合流地点がある場合
- JCT渡り路で300m前方に合流地点がある場合

事故多発地点案内
600m 前方に事故多発地点があったときに◀▶のマーク表示と音声で案内します。(ルート走行中に 200m 以下のスケールで地図表示時のみ)

踏み切り案内
300m 前方に踏み切りがあったときに◀▶のマーク表示と音声で案内します。

internavi ルート
ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。
➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7

- **右左折専用レーン案内**:直進レーンが右折または左折専用レーンに変わる場合、その地点を案内します。(初期値:**する**)
- **交通状況変化時案内**:受信した交通情報にルート上の重要な規制や渋滞発生を示す音声情報が含まれる場合、音声で案内します。(初期値:**する**)
- **スマート IC 案内**:ルート計算時にスマート IC を通るルートを探します。(初期値:**しない**)

➡ **インターチェンジを指定する** P.121

詳細設定

メニューボタン ▶ **設定** ▶ **案内設定** ▶ **詳細設定** ▶ **案内**



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **時間曜日規制考慮**:曜日や時間帯によって規制の入る道路を避けてルート計算します。規制については、現在地周辺の情報を考慮します。(初期値:**する**)
- **天気音声案内**:通信「インターナビ/VICSの設定」の**ルート案内時連動取得**が**すべての情報**のとき、ルート計算後に取得した到着予想時刻の天気予報および警報・注意報の内容を読み上げます。(初期値:**する**)

➡ **インターナビ/ VICS の設定** P.51

ルート案内の設定

スマート IC 案内
入口/出口のインターチェンジ指定時に、スマート IC も指定できるようになります。

詳細設定

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
ルート案内設定の詳細設定を初期値に戻します。

天気音声案内
ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。

➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7

- **ETC 案内**：ETC が使用可能な場合に、料金所イラスト中に ETC レーンの方向を示す矢印を表示します。（初期値：**する**）
- **フェリー使用**：フェリー利用ルートを使って計算します。（初期値：**しない**）
- **回避エリア考慮**：ルート計算時、回避エリア設定を有効にします。（初期値：**する**）

  回避エリアを登録する P.48
- **ルート学習**：ルート計算時、学習したルートを考慮します。（初期値：**する**）
- **一般道路の車速**：到着予想時刻の計算基準となる一般道路の走行速度を選択します。**5** ～ **80km/h** の間で、5km/h 単位で選択します。（初期値：**25**）
- **高速道路の車速**：到着予想時刻の計算基準となる高速道路の走行速度を選択します。**5** ～ **120km/h** の間で、5km/h 単位で選択します。（初期値：**70**）
- **有料道路の車速**：到着予想時刻の計算基準となる有料道路の走行速度を選択します。**5** ～ **100km/h** の間で、5km/h 単位で選択します。（初期値：**50**）
- **渋滞考慮オートリルート**：ルート走行中に渋滞・規制情報を考慮したルートが見つかった場合、自動的にそちらのルートを利用して再計算します。（初期値：**する**）
- **カーカルテ起動時通知**：通信 パーツの交換時期、車検や免許の更新時期が近づくと、本システム起動時にメッセージで通知します。（初期値：**する**）

  カーカルテ P.242
- **センシングリルート**：ルート走行中にわざとルートから外れた場合、ドライバーの意図を考慮してルートを再計算します。（初期値：**する**）
- **冬期閉鎖考慮**：冬期（11 ～ 3 月）は、冬期通行止めの道路を避けるルートで計算します。（初期値：**しない**）
- **繁華街駐車場通知**：繁華街に目的地を設定した場合に、最寄りの駐車場までのルート案内を通知します。（初期値：**する**）

  最寄りの駐車場に行く P.128

次ページに続く

詳細設定

フェリー使用

- 一般道優先条件では、なるべくフェリーを利用しないようにルートが計算されます。
- フェリーを利用しないと目的地に行くことができない場合、**しない**を選択してもフェリー利用ルートが計算されます。

ルート学習

元のルートを外れて同じルートを数回走行すると、そのルートは学習されます。ルートが学習されると、次回の走行時からそのルートを計算しやすくなります。

冬期閉鎖考慮

4 ～ 10 月は通常ルートで計算します。

- **横付けルート計算**:目的地が現在の反対車線側に位置する場合、目的地が進行方向となるように考慮してルートを計算します。(初期値:**する**)
- **VICS ルート計算**:ルート計算時にVICS情報やインターナビ交通情報を考慮します。(初期値:**する**)
- **音声案内設定**:案内音声に関する設定を行います。
  ➡ **音声案内の設定** P.47
- **回避エリア**:通りたくない場所を 5 箇所まで登録します。
  ➡ **回避エリアを登録する** P.48

■ 音声案内の設定

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 案内設定 ▶ 詳細設定 ▶ 案内 ▶ 音声案内設定



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **VICS 案内**:VICS 情報を音声で案内します。(初期値:**する**)
  VICS 情報を確認する P.111
- **到着予想時刻案内**:到着予想時刻を音声で案内します。(初期値:**する**)
- **交差点目印案内**:交差点に近づいたとき、交差点の目印を音声で案内します。(初期値:**しない**)
- **料金案内**:料金所に近づいたとき、料金を音声で案内します。(初期値:**する**)
- **交差点名称案内**:交差点に近づいたとき、交差点名称を音声で案内します。(初期値:**しない**)
- **JCT 名称案内**:高速道路のジャンクションに近づいたとき、ジャンクション名称を音声で案内します。(初期値:**する**)
- **一般道方面名称案内**:一般道路走行中に、方面名称を音声で案内します。(初期値:**しない**)
- **高速道方面名称案内**:高速道路走行中に、方面名称を音声で案内します。(初期値:**しない**)

音声案内の設定

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
音声案内設定を初期値に戻します。

詳しい設定
すべての項目を**する**に設定します。

シンプル設定
VICS 案内のみを**する**に設定します。

■ 回避エリアを登録する

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 案内設定 ▶ 詳細設定 ▶ 案内 ▶ 回避エリア

回避エリアを登録しておくと、その場所を通らないようにルートを計算できます。



1. **新規登録**を選択する。
2. 場所を探す。
   目的地を探す P.83



3. **位置セット**を選択する。
4. **拡大**または**縮小**を選択して範囲を指定する。
5. **範囲セット**を選択する。
6. **登録する**を選択する。
   ▶エリア中央付近の地名などが、回避エリアの名称として登録されます。
   ▶回避エリアは桃色で表示されます。

回避エリアを登録する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

「案内設定」の**回避エリア考慮**を**する**に設定しないと、エリアの設定はできません。
詳細設定 P.44

回避エリアは、100～800m四方で指定できます。

他に適切な道路の候補がない場合、回避エリアを通るルートが計算されることがあります。

■ 回避エリアを編集する

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 案内設定 ▶ 詳細設定 ▶ 案内 ▶ 回避エリア



1. 回避エリアを選択する。



2. 回避エリア情報を選択する。

3. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **名称**:回避エリアの名称を登録します。(全角 24 文字(半角 48 文字)まで)
- **読み**:名称の読みを登録します。(全角かな 15 文字まで)
- **範囲**:回避エリアの範囲(100m ～ 800m)を設定します。**拡大**、**縮小**で範囲を選択し、**範囲セット**を選択します。
- **曜日指定**:回避エリアを適用する曜日を設定します。(**毎日**もしくは**曜日指定**(日～土))

次ページに続く

回避エリアを編集する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

全消去などのタッチキーの機能は、以下のページで説明しています。

➡ **共通で使用するタッチキー** P.131

曜日指定

- 曜日は複数選択できます。
- 選択中の曜日は色付きで表示されます。

- **時間指定**:回避エリアを適用する時間を設定します。(**終日**もしくは**時間指定**(0時 0 分〜 23 時 59 分))
- **位置修正**:回避エリア周辺の地図を表示します。スクロールして回避エリアの位置を修正します。

メニューボタン ▶ 設定 ▶ インターナビ／ VICS 設定



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
   ▶**詳細設定**：さらに詳細な設定をします。
   ➡ **詳細設定** P.54
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **図形情報割込み**：地図上に VICS 図形情報を割り込み表示します。（初期値：**する**）
  ➡ **VICS 情報を確認する** P.111
- **文字情報割込み**：地図上に VICS 文字情報（ことわり情報のみ）を割り込み表示します。（初期値：**しない**）
  ➡ **VICS 情報を確認する** P.111
- **天気情報割込み**：通信 天気情報を表示します。（初期値：**する**）
- **ルート案内時連動取得**：通信 ルート計算時に同時に取得するインターナビ情報を設定します。
  - **すべての情報**（初期値）：交通情報と同時に天気情報も取得します。
  - **交通情報**：交通情報のみを取得します。
  - **取得しない**：情報を取得しません。

インターナビ／ VICS の設定

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
インターナビ／VICS設定を初期値に戻します。

天気情報割込み、ルート案内連動取得、情報取得周期、駐車場セレクト設定
ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。
➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7

次ページに続く

- **情報取得周期**: 通信 設定した周期で、インターナビ情報センターに自動接続します。
  - **状況変化時**（初期値）：ルート案内中 10 分ごとに自動接続し、ルート上に重要な規制、渋滞発生、渋滞解消などがあるときのみ、交通情報を取得します。
  - **5 分**、**15 分**、**30 分**、**60 分**：各時間ごとに自動接続します。
  - **しない**：自動接続しません。
- **駐車場セレクト設定**: 通信 インターナビ交通情報から取得する駐車場情報の表示順や表示件数の絞り込み条件を設定します。

➔ **駐車場セレクトの設定** P.53

■ 駐車場セレクトの設定

メニューボタン ▶ 設定 ▶ インターナビ／ VICS 設定 ▶ 駐車場セレクト設定



1. **並び替え条件 1 ～ 3** のいずれかを選択する。



2. 優先条件を選択する。
   ▶さらに条件を設定したいときは、**手順 1** から **2** を繰り返します。
3. **設定終了**を選択する。

駐車場セレクトの設定

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
駐車場セレクト設定を初期値に戻します。

詳細条件設定
駐車場を検索する際の条件を、より詳細に設定できます。

詳細設定

メニューボタン ▶ 設定 ▶ インターナビ／VICS設定 ▶ 詳細設定 ▶ インターナビ／ VICS



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **フローティングカー情報**：通信 インターナビ・フローティングカー情報の送信・取得を行います。(初期値：**する**)
- **マーク地点リスト画像同期**：通信 パーソナル・ホームページとマーク地点リストを同期するときに、画像も同期します。(初期値：**しない**)

マーク地点を活用する P.75

詳細設定

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
インターナビ／ VICS 設定の詳細設定を初期値に戻します。

インターナビ・フローティングカー情報、マーク地点リスト画像同期
ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。

インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う P.7

車両警告の設定

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 車両警告設定



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **ふらつき検知警報**:車両のふらつきを感知したとき、音声とテロップ表示で警告します。(初期値:**する**)
- **カーブ警告**:スピードを落とさずにカーブを走行したとき、状況に応じて音声とテロップ表示で警告します。
  - **舗装路**(初期値):舗装路を走行中に警告する。
  - **圧雪路**:圧雪路を走行中に警告する。
  - **しない**:警告しません。
- **シートベルト警告**:運転席のシートベルトを着用せずに走行したとき、音声で警告します。(初期値:**する**)
- **パーキングブレーキ警告**:パーキングブレーキをかけたままで走行したとき、音声で警告します。(初期値:**する**)

車両警告の設定

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
車両警告設定を初期値に戻します。

音声操作の設定

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 音声操作設定



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
   ▶**詳細設定**:さらに詳細な設定をします。
   詳細設定 P.57
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **音声操作モード**:音声操作のモードを切り換えます。
  - **基本**（初期値）:画面に表示されるコマンド例から選択して発話します。使用できる音声コマンドを限定した、初心者向けのモードです。
  - **拡張**:すべての音声コマンドが使用できます。音声操作に慣れた方向けのモードです。

  音声コマンド P.302
- **音声操作ユーザー選択**:本システムに登録したユーザーの声を、ユーザーに合わせて選択します。
  - **標準**（初期値）:特にユーザーを指定しません。
  - **（登録ユーザー）**:選択したユーザーに切り換えます。
  - **名称編集**:登録ユーザーの名称を編集します。

  名称を編集する P.26

音声操作の設定

簡単操作モード時は、以下の項目のみ変更できます。

- **音声操作ユーザー選択**
- **音声操作**
  詳細設定 P.57
- **音声操作テロップ表示**
  詳細設定 P.57
- **音声操作補助案内**
  詳細設定 P.57
- **ワンプッシュ音声操作**
  詳細設定 P.57

初期値にする

音声操作設定を初期値に戻します。

音声操作ユーザー選択

あらかじめユーザーの声を本システムに登録する必要があります。

声を本システムに登録する P.25

詳細設定

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 音声操作設定 ▶ 詳細設定 ▶ 音声操作



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **音声操作**:音声操作を利用します。(初期値:**する**)
- **ワンプッシュ音声操作**:住所や電話番号検索時など、毎回 (発話)ボタンを押さなくてもコマンドを認識できるようにします。(初期値:**する**)

詳細設定

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
音声操作設定の詳細設定を初期値に戻します。

音声操作モードが**拡張**のときは、以下の項目も変更できます。ただし、両方で**しない**を選択することはできません。

- **音声操作テロップ表示**:音声操作テロップを表示します。(初期値:**する**)
- **音声操作補助案内**:音声操作についてのアドバイスをします。(初期値:**する**)



メニューボタン ▶ **設定** ▶ **システム設定**



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **メニュー音声読み上げ**:メニュー表示内容を読み上げるタイミングを設定します。(初期値:**走行中のみ**)
- **操作パネル色**:**ブルー**、**グリーン**、**アンバー**、**レッド**から選択します。(初期値:**ブルー**)
- **操作音量**:**OFF**、**1**、**2**、**3** から選択します。(初期値:**2**)
- **現在地修正**:GPS 測位状態の影響で位置が自動的に修正されない場合など、手動で現在の位置を修正します。
  ➡ **現在地を修正する** P.59
- **画面調整／消**:画面の明るさ、コントラスト、黒の濃さを調節します。
  ➡ **明るさやコントラストを設定する** P.30
- **画像表示**:USB メモリーや本システムに保存されている画像を表示します。
  ➡ **画像を表示する** P.60

システム設定

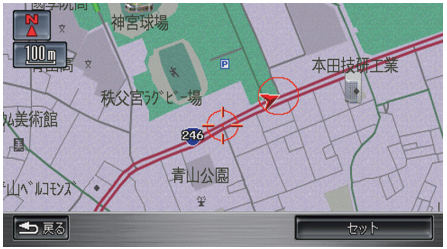
簡単操作モード時は、以下の項目のみ変更できます。

- **自宅登録**または**自宅変更**:自宅の登録、変更、消去をします。
  ➡ **自宅を登録する** P.8
- **画面調整／消**

初期値にする
システム設定を初期値に戻します。

■ 現在地を修正する

メニューボタン ▶ 設定 ▶ システム設定 ▶ 現在地修正



1. 地図をスクロールし、自車がある地点にカーソルを合わせる。
2. **セット**を選選択する。

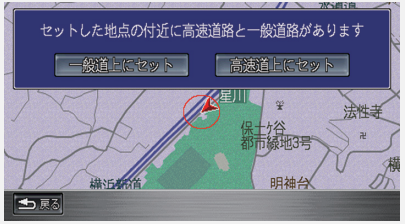


3. ◀ または ▶ を選択して、自車マークの向きを実際の向きと合わせる。
4. **セット**を選択する。

現在地を修正する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

一般道・高速道が併設する道路にカーソルを合わせた場合、自車位置をどちらの道路に設定するか選択する以下の画面が表示されます。**一般道上にセット**または**高速道上にセット**を選択してください。



■ 画像を表示する

メニューボタン ▶ 設定 ▶ システム設定 ▶ 画像表示



1. 画像を選択する。
▶リストにはハードディスク内の画像、USB メモリー内の画像の順に表示されます。



2. **画像確認**を選択する。

画像を表示する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

画像表示中に走行すると画面は暗くなり、停車すると元の明るさに戻ります。

全消去
すべての画像を消去します。

消去
選択中の画像を消去します。

「Honda ナビゲーション」と「星空」は消去できません。

画像が表示されるまで、時間がかかることがあります。

画像の設定や変更をした直後は、エンジンスイッチを「0」にしたり、USB メモリーを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、USB メモリーのデータが壊れることがあります。

（カスタマイズメニュー）

よく使う機能を 1ヶ所に集めて、すばやく呼び出すことができます。また、機能の追加・変更ができます。

カスタマイズメニューを編集する P.62



使用したい機能を選択する。

カスタマイズメニューを使う

簡単操作モード時は、ワンプッシュメニューとなります。機能の追加、変更はできません。
以下の機能が登録されています。

- 地図の向きを変える
  地図の向きを変える P.70
- 前回の検索地点
  前回探した場所の地図を表示します。
- internavi ダイレクト 通信
  よく使う internavi の機能を呼び出します。
  internavi ダイレクトを使う P.63

カスタマイズメニューは、工場出荷時に以下の機能が登録されています。

- マークセット
  マーク地点を登録する P.72
- 周辺検索
  周辺検索から探す P.93
- 地図方位
- 前回の検索地点
- internavi ダイレクト 通信
  internavi ダイレクトを使う P.63

カスタマイズメニューを編集する

メニューボタン ▶ ツール ▶ カスタマイズ



1. カスタマイズメニューを選択する。

▶**internavi ダイレクト**:
internavi ダイレクトを編集します。以下の手順は同じです。



2. 変更したい項目を選択する。



3. 新たにメニューに入れたい項目を選択する。

カスタマイズメニューを編集する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

カスタマイズメニュー内の「internaviダイレクト」を他の項目と置き換えることはできません。

初期値にする
カスタマイズメニューの設定を初期値に戻します。

[目] ▶ internavi ダイレクト

よく使う internavi の機能を 1ヶ所に集めて、すばやく呼び出すことができます。



使用したい機能を選択する。

internavi ダイレクトを使う 通信

簡単操作モード時は、以下の機能のみ使用できます。

- **internavi 交通情報**
- **internavi ウェザー**
- **駐車場セレクト**
- **シーニックルート**

標準操作モード時は、機能の追加、変更ができます。追加、変更の方法は、カスタマイズメニューと同じです。

カスタマイズメニューを編集する P.62

ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。

インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う P.7



ナビゲーション

この章では、目的地を設定する方法、ルートを選ぶ方法、
そして目的地へ向かう方法などを記載しています。

目的地を探す前に 66
地図モードを切り換える 66
マークや地図モードを変更する 71
施設マークの表示／非表示 76
目的地を探す 83
よく行く地点リストから探す 85
マーク地点リストから探す 89
目的地履歴から探す 90
施設ジャンルから探す 91
周辺検索から探す 93
施設名から探す 94
電話番号から探す 95
地名から探す 96
郵便番号から探す 97
住所から探す 97
internavi ドライブ情報から探す 99
その他の方法で探す 100
目的地を設定する 103
ルートを計算する 104
新規道路データを取得する 105
目的地に向かう 106
ルート案内画面の見かた 107
音声案内を聞く 110
VICS 情報を確認する 111
交通情報を聞く 115
ルートを変更する 116
ルートの全体を表示する 117
ルート条件を変更する 118
インターチェンジを指定する 121
5 つのルートを表示する 122
経由地を追加する 123
目的地を変更する 127
新しい目的地を設定する 127
最寄りの駐車場に行く 128
目的地を消去する 130
共通で使用するタッチキー 131

地図モードを切り換える

メニューボタン ▶ マーク／地図変更 ▶ 方位／地図モード切換



1. モードを選択する。
2. **設定終了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **1(1 画面地図)**:地図を全画面で表示します。
- **2(2 画面地図)**:地図を 2 画面で表示します。
- **3(ドライビングマップ)**:ドライバーからの視点を表す地図表示です。
- **4(行程ガイド)**:案内地点をリスト表示します。ルート案内中のみ選択できます。
- **5(高速ガイド)**:高速道路の施設をリスト表示します。高速道路走行中のみ選択できます。

地図モードを切り換える

「*地図モード切り換え*」

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

地図画面の地図の向きアイコンを選択しても操作できます。

地図の向きアイコン



■ 1 画面／ 2 画面地図

■1 画面地図表示



通常の平面地図表示です。

■2 画面地図表示



- 各画面のスケールを調節することができます。
  ➡ 地図の見かた P.6
  ➡ マークや地図モードを変更する P.71
- 左画面のみスクロールできます。右画面は地図表示のみです。

» 1 画面／ 2 画面地図

「*1 画面地図*」、「*2 画面地図*」

地図のスケールが 10m ～ 50m のときは、都市部において各施設の名称や細街路、一方通行などが分かる詳細な市街地図を表示します。
細街路（道幅 5m 未満の道路）以外の道路を走行中は、細街路は表示されません。



3D マップでは、代表的なビルなどの建物を立体表示した市街地図を表示します。
➡ 地図の向きを変える P.70

■ ドライビングマップ



信号やお店など、目印となる施設を立体的に表示します。一部の地域では表示されないことがあります。

ドライビングマップ

「*ドライビングマップ*」

ドライビングマップ表示中に画面をスクロールすると、1 画面地図表示に戻ります。

走行速度が時速 85km を超えると、1 画面地図表示に切り換わります。(時速75km以下になると、再度表示されます。)

インターナビ気象情報を取得している場合は、その情報に応じて空の色が変わります。

■ 行程ガイド

VICS 情報表示
（赤：渋滞、橙：混雑、青：順調）



- ルート案内中のみ表示できます。
- 現在地より先の案内地点と、現在地からの距離を表示します。
- 各案内地点を選択すると、その地点周辺の地図を表示します。
- 一般道では、次の交差点のレーン情報やその先の交差点の誘導方向を表示します。
- 高速道路では、料金所に近づくと料金を表示します。

■ 高速ガイド

出口施設（ルート案内中のみ）



VICS 情報表示
（赤：渋滞、橙：混雑、青：順調）

- 高速道路走行中に、自動的に表示されます。
- 現在地より先の高速道路施設を表示します。
- 高速道路によっては、表示されないことがあります。
- 施設を選択して、**情報→詳細情報**の順に選択すると、その施設の詳細情報を確認できます。

➡ **マーク一覧** P.313

行程ガイド

「*行程ガイド*」

「地図表示設定」の**行程ガイド IC 省略**を**する**にして、表示するインターチェンジを入口と出口のみにすることができます。

➡ **詳細設定** P.40

高速ガイドと同様の操作で、高速道路のサービスエリア／パーキングエリアの情報を見ることもできます。

➡ **高速ガイド** P.69

高速ガイド

「*高速ガイド*」

標準操作モード時は、手動で表示させたり、他の地図モードに切り換えたりすることができます。

一般道に入ると、通常の地図表示に切り換わります。

標準操作モードでは、「地図表示設定」の**高速ガイド自動表示**を**しない**にして、手動でのみ表示されるように設定できます。

➡ **詳細設定** P.40

■ 地図の向きを変える



1. 地図の向きアイコンを選択する。



2. 変更したい地図の向きを選択する。

3. **設定終了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- :北を上に表示します。
- :進行方向を上に表示します。
- :3D マップで表示します。スクロールをすると 2D 表示になります。標準操作モードのみで選択できます。

地図の向きを変える

「*地図方位切り換え*」(地図画面で)、「*北を上に表示*」(地図画面で)、「*進行方向を上に表示*」(地図画面で)

スケールが 300km のときは、常に平面表示で北を上に表示します。

マーク／地図変更メニューからも操作できます。

標準 メニューボタン ▶ マーク／地図変更 ▶ 方位／地図モード切換

簡単 メニューボタン ▶ マーク／地図変更 ▶ 方位切換

3D マップ

インターナビ気象情報を取得している場合は、その情報に応じて空の色が変わります。

マークや地図モードを変更する

メニューボタン ▶ マーク／地図変更

お気に入りの場所やよく行く場所に、目印となるマークをつけて管理することができます。



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **マーク地点登録**:表示中の地点にマークをつけます。
  ➔ **マーク地点を登録する** P.72
- **マーク地点リスト**:マーク地点のリストを表示します。地点の編集や、パーソナル・ホームページとのデータの同期、USB メモリーを使用したデータの読み込み、保存、消去などができます。
  ➔ **マーク地点を編集する** P.72
  ➔ **マーク地点を活用する** P.75
- **施設マーク表示**:表示させたい施設マークを設定します。
  ➔ **施設マークを選んで表示する** P.76
- **方位／地図モード切換**:地図の向きや表示モードを変更します。
  ➔ **地図モードを切り換える** P.66
- **右画面縮尺**:2 画面表示時に、右画面の地図スケールを変更します。
  ➔ **1 画面／ 2 画面地図** P.67

マークや地図モードを変更する

簡単操作モード時は、以下の項目を選択できます。

- **施設マーク表示**
- **方位切換**
  ➔ **地図の向きを変える** P.70

■ マーク地点を登録する

メニューボタン ▶ マーク／地図変更 ▶ マーク地点登録



登録したい場所を探し、**マークセット**を選択する。

目的地を探す P.83

■ マーク地点を編集する

メニューボタン ▶ マーク／地図変更 ▶ マーク地点リスト



1. マーク地点を選択する。

マーク地点を登録する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

マーク地点は、400 件まで登録できます。

シークレットモードを **ON** にしていると、マーク情報は表示されません。

シークレットモード P.36

マーク地点を編集する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

全消去などのタッチキーの機能は、以下のページで説明しています。

共通で使用するタッチキー P.131

設定

パーソナル・ホームページとのデータの同期、USB メモリーを使用したデータの読み込み、保存、消去などができます。

マーク地点を活用する P.75



2. **マーク情報**を選択する。



3. いずれかの項目を選択し、入力する。

以下の項目を選択できます。

- **名称**:地点の名称を登録します。(全角 24 文字(半角 48 文字)まで)
- **読み**:名称の読みを登録します。(全角かな 30 文字まで)
- **マーク**:地図上に表示されるマークを選択します。
- **接近音声**:地点接近時の音声を変更します。項目を選択して音声を確認し、**セット**を選択します。**接近音声 OFF** を選択した場合、音声は鳴りません。
- **方向**／**距離**:接近音声を鳴らす方向と距離を設定します。
  よく行く地点の音声案内 P.89
- **地図上に表示**:地図上のマークの表示／非表示を設定します。
- **位置修正**:地点周辺の地図を表示します。スクロールして地点の位置を修正します。

次ページに続く

マーク地点を編集する

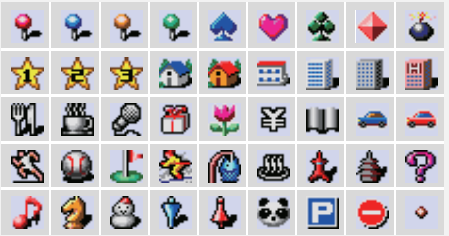
読み

メニュー音声読み上げ時や**接近音声**(マーク名称読み上げセット時)に使用されます。

システム設定 P.58

マーク

以下のマークを設定できます。



アドレス帳登録

地点の名称、読み、電話番号、メールアドレスをアドレス帳に登録します。

アドレス帳を設定する P.31

発信

携帯電話が本システムに接続されていると、地点の電話番号に電話をかけることができます。

Bluetooth で接続する P.191
ケーブルで接続する P.196

- **電話番号**:地点の電話番号を登録します。
- **メモ**／**メモ編集**:地点に関するメモを登録します。(全角 256 文字(半角 512 文字)まで)
- **画像**:リストから画像を選択して登録します。**消去**を選択すると、登録した画像を解除します。
- **E-mail**:地点のメールアドレスを登録します。(半角 64 文字まで)
- **詳細情報**:パーソナル・ホームページで登録した「My スポット」と同期して、詳細な情報を確認できます。

➡ **マーク地点を活用する** P.75

■ マーク地点を活用する

メニューボタン ▶ マーク／地図変更 ▶ マーク地点リスト ▶ 設定



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **パーソナル HP と同期**: 通信 本システムのマーク地点リストとパーソナル・ホームページの情報を同期させます。
- **USB メモリー**: マーク地点の読み込み、保存、消去、パーソナル・ホームページからダウンロードした位置情報の追加ができます。
  - **データ読み込み**：地点を本システムに読み込みます。**すべて読み込み**を選択すると、すべての地点を読み込みます。
  - **データ保存**：地点を USB メモリーに保存します。**すべて保存**を選択すると、すべての地点を保存します。
  - **位置情報追加**：あらかじめパーソナル・ホームページから USB メモリーにダウンロードした位置情報を、本システムに追加します。
  - **データ消去**：地点を USB メモリーから消去します。**全消去**を選択すると、すべての地点を消去します。

マーク地点を活用する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

パーソナル HP と同期

- ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。
  インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う P.7
- 本システムで登録情報を編集したときは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。
- 「インターナビ／ VICS 設定」の**マーク地点リスト画像同期**が**する**の場合は、画像も同期されます。
  詳細設定 P.54

USB メモリー

あらかじめインターナビ USB コードに USB メモリーを接続しておく必要があります。

USB メモリーを接続する P.228

施設マークの表示／非表示

■ 施設マークを選んで表示する

メニューボタン ▶ マーク／地図変更 ▶ 施設マーク表示

必要なマークを表示させるように設定できます。

標準操作モードでは、表示する施設マークのジャンル、およびジャンルの中で表示するブランドマークを設定できます。



1. 設定したい施設マークの分類を選択する。



2. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **全表示する**:選択した分類にある全マークを表示します。
- **表示しない**:選択した分類にある全マークを表示しません。
- **（マーク表示）**:**マーク選択**で選択した施設マークのみを表示します。

施設マークを選んで表示する

簡単操作モード時は、表示する施設マークのジャンルのみを設定できます。設定を変更したいジャンルを選択します。

すべて表示しない
すべての施設マークを表示しません。

すべて表示する
すべての施設マークを表示します。

選択マークのみ表示
各ジャンルの**マーク選択**で選択した施設マークのみを表示します。

お店の施設マークなどを、個別に非表示にすることができます。
非表示設定データに登録する P.77

施設マークの追加もできます。
施設マークを登録する P.79

- **マーク選択**：選択中の分類で表示したい施設マークを3つまで選択します。選択後、**設定終了**を選択します。

■ 非表示設定データに登録する

地図から不要になった施設マークを個別に非表示にできます。
ジャンルごとの表示設定は変わりません。



1. 地図をスクロールして、消したいマークにカーソルを合わせる。
▶選択中のマークに名称などの情報がある場合、画面上にその情報が表示されます。

2. **情報**を選択する。



3. **非表示**を選択する。
▶選択中のマークが非表示設定データとして登録され、地図から表示が消えます。

施設マークを選んで表示する

マーク選択
選択中のマークはハイライトされ、右上に同じマークが表示されます。再度選択するとハイライトが消え、選択が解除されます。

非表示設定データに登録する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

非表示設定データとは、お客様自身が個別に表示させないようにした施設マークのことです。実際にはなくなった施設が地図に残っているときなどに非表示設定データとして登録しておくと便利です。

ユーザー施設マークと合わせて 100 件まで登録できます。

ユーザー施設マークは、非表示設定データに登録できません。

地図更新後は、施設マークの更新を行わないとこの操作はできません。
➡ **地図データを更新したら** P.293

非表示にした施設マークは、再び表示させることができます。
➡ **非表示設定を解除する** P.82

■ 施設マークを編集する

メニューボタン ▶ ツール ▶ 施設マーク編集



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **ユーザー施設マーク**:ユーザー施設マークのリストを表示します。ユーザー施設マークの編集や、USB メモリーを使用したデータの読み込み、保存、消去などができます。
  ➡ **ユーザー施設マークの編集** P.80
- **非表示設定データ**:非表示に設定した施設マークを再度表示させます。
  ➡ **非表示設定を解除する** P.82

施設マークを編集する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

ユーザー施設マークとは、お客様自身で登録した施設マークです。地図データにはない施設マークを追加するときに便利です。

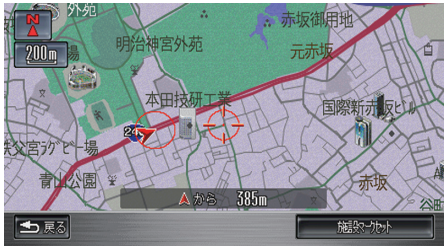
■ 施設マークを登録する

メニューボタン ▶ ツール ▶ 施設マーク編集 ▶ ユーザー施設マーク

地図にはないコンビニやガソリンスタンドがあったとき、追加することができます。



1. **新規登録**を選択する。
2. 場所を探す。
   目的地を探す P.83



3. **施設マークセット**を選択する。

次ページに続く



4. 分類を選択する。
▶分類によっては、さらにブランドを選択できます。

■ ユーザー施設マークの編集

メニューボタン ▶ **ツール** ▶ **施設マーク編集** ▶ **ユーザー施設マーク**

登録したユーザー施設マークの情報（名称、読み、マーク、電話番号、位置修正）を確認したり、編集することができます。



1. ユーザー施設マークを選択する。

ユーザー施設マークの編集

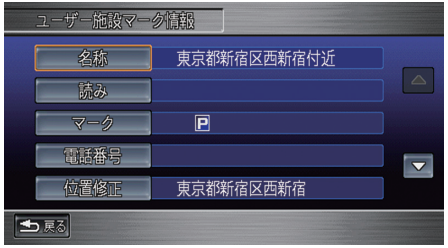
非表示設定データと合わせて 100 件まで登録できます。

地図データを更新したあとに、この操作を行うと、施設マークの更新画面を表示します。
地図データを更新したら P.293

全消去などのタッチキーの機能は、以下のページで説明しています。
共通で使用するタッチキー P.131



2. マーク情報を選択する。



3. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **名称**:ユーザー施設マークの名称を登録します。(全角 24 文字(半角 48 文字)まで)
- **読み**:名称の読みを登録します。(全角かな 24 文字まで)
- **マーク**:地図上に表示されるマークを変更します。
- **電話番号**:ユーザー施設マークの電話番号を登録します。
- **位置修正**:地点周辺の地図を表示します。スクロールして地点の位置を修正します。

■ 非表示設定を解除する

メニューボタン ▶ ツール ▶ 施設マーク編集 ▶ 非表示設定データ

非表示にした施設マークを、再度表示させます。



1. 表示させたいマークを選択する。



2. **非表示設定解除**を選択する。

3. **解除する**を選択する。

▶選択したマークの非表示設定が解除され、再び地図上の元の位置に表示されます。

非表示設定を解除する

全解除

すべての施設マークを再表示します。

登録順などのタッチキーの機能は、以下のページで説明しています。

共通で使用するタッチキー P.131

USB メモリーから非表示設定データの読み込みを行った際に、USB メモリー内のデータと本システム内の地図のバージョンが異なると、USB メモリーの情報を保持するかの確認画面が表示されます。保持して読み込むか読み込まないかを選択します。



■登録／履歴タブ

目的地ボタン



以下の項目を選択できます。

- **自宅登録／自宅へ誘導**：自宅を登録または登録した自宅を目的地に設定します。
  ➡ **自宅を登録する** P.8
- **よく行く地点**：よく利用する場所を登録した地点のリストを表示します。リストから目的地として設定できます。
  ➡ **よく行く地点リストから探す** P.85
- **マーク地点リスト**：お気に入りの場所など、目印になるマークを登録した地点のリストを表示します。リストから目的地として設定できます。
  ➡ **マーク地点リストから探す** P.89
- **目的地履歴**：履歴から、目的地を設定します。
  ➡ **目的地履歴から探す** P.90
- **目的地消去**：設定した目的地を消去します。
  ➡ **目的地を消去する** P.130
- **誘導一時中断**：目的地や経由地はそのままで、ルート案内を一時中断します。あとで案内を再開することができます。
  ➡ **ルート案内を一時中断する** P.11

次ページに続く

目的地を探す

簡単操作モード時は、以下の項目を選択できます。

- **自宅登録**
- **施設ジャンル**
- **名称／番号入力**
- **住所**

地図画面からは、簡単操作モードでも周辺検索を行うことができます。

➡ **目的地を設定する** P.103

出発前に、通りたくないエリアを設定することができます。

➡ **回避エリアを登録する** P.48

ルートタブは、ルート設定時のみ選択できます。ルートの再計算、全体表示、案内中断などができます。

➡ **ルートを変更する** P.116

■検索して探すタブ

目的地ボタン ▶ **検索して探す**



以下の項目を選択できます。

- **施設ジャンル**:コンビニやガソリンスタンドなどの分類で施設を探します。また、おすすめドライブナビゲーターで観光コースを探すこともできます。
  ➔ **施設ジャンルから探す** P.91
  ➔ **おすすめドライブナビゲーターから探す** P.100
- **周辺検索**:現在地や目的地などの周辺にある施設を探します。
  ➔ **周辺検索から探す** P.93
- **地図から**:地図をスクロールして探します。
  ➔ **地図から探す** P.102
- **名称／番号入力**:施設名や地名、電話番号、郵便番号、マップコードを入力して探します。
  ➔ **施設名から探す** P.94
  ➔ **電話番号から探す** P.95
  ➔ **地名から探す** P.96
  ➔ **郵便番号から探す** P.97
  ➔ **マップコードから探す** P.102

- **住所**:住所を入力して探します。
  ➔ **住所から探す** P.97
- **internavi ドライブ情報**:通信インターナビ・リンク プレミアムクラブのドライブ情報から目的地を選択できます。
  ➔ **internavi ドライブ情報から探す** P.99

よく行く地点リストから探す

目的地ボタン ▶ **登録／履歴** ▶ **よく行く地点**

登録したよく行く地点を目的地に設定できます。

➔ **よく行く地点を登録する** P.86



1. 目的の地点を選択する。
2. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。
   ➔ **ルートを計算する** P.104

よく行く地点リストから探す

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

地点の編集や消去もできます。

➔ **よく行く地点を編集する** P.87

■ よく行く地点を登録する

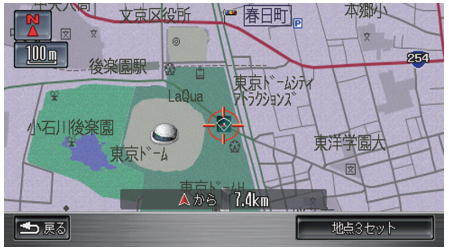
目的地ボタン ▶ **登録／履歴** ▶ よく行く地点



1. 未登録を選択する。

2. 登録する地点を探す。

目的地を探す P.83



3. 地点○セットを選択する。

▶登録番号のマークが地図上に表示されます。

よく行く地点を登録する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

よく行く地点は、5 件まで登録できます。

■ よく行く地点を編集する

目的地ボタン ▶ 登録／履歴 ▶ よく行く地点



1. 地点を選択する。



2. **編集**を選択する。

よく行く地点を編集する

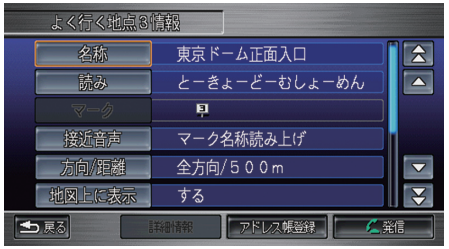
この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

自宅を選択すると、自宅の情報を編集できます。

全画面地図などのタッチキーの機能は、以下のページで説明しています。

➡ **共通で使用するタッチキー** P.131

次ページに続く



3. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **名称**:地点の名称を登録します。(全角 24 文字(半角 48 文字)まで)
- **読み**:名称の読みを登録します。(全角かな 30 文字まで)
- **接近音声**:地点接近時の音声を変更します。項目を選択して音声を確認し、**セット**を選択します。**接近音声 OFF** を選択した場合、音声は鳴りません。
- **方向**/**距離**:**接近音声**を鳴らす方向と距離を設定します。
  ➡ **よく行く地点の音声案内** P.89
- **地図上に表示**:地図上のマークの表示/非表示を設定します。
- **位置修正**:地点周辺の地図を表示します。スクロールして地点の位置を修正します。
- **電話番号**:地点の電話番号を登録します。
- **メモ**/**メモ編集**:地点に関するメモを登録します。(全角 256 文字(半角 512 文字)まで)
- **画像**:リストから画像を選択して登録します。**消去**を選択すると、登録した画像を解除します。
- **E-mail**:地点のメールアドレスを登録します。(半角 64 文字まで)

よく行く地点を編集する

名称、読み
自宅を選択している場合は、変更できません。

読み
メニュー音声読み上げ時や**接近音声**(マーク名称読み上げセット時)に使用されます。
➡ **システム設定** P.58

マーク
変更できません。

アドレス帳登録
地点の名称、読み、電話番号、メールアドレスをアドレス帳に登録します。
➡ **アドレス帳を設定する** P.31

発信
携帯電話が本システムに接続されていると、地点の電話番号に電話をかけることができます。
➡ **Bluetooth で接続する** P.191
➡ **ケーブルで接続する** P.196

■よく行く地点の音声案内



1. **方向指定**を選択する。
   ▶**全方向**を選択したときは、**手順3**に進んでください。
2. ◀ または ▶ を選択して方向を指定する。
3. 変更したい距離（100m、300m、500m）を選択する。
4. **設定終了**を選択する。

マーク地点リストから探す

目的地ボタン ▶ **登録／履歴** ▶ マーク地点リスト

登録したマーク地点を目的地に設定できます。

➡ **マーク地点を登録する** P.72



1. 目的の地点を選択する。
2. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

➡ **ルートを計算する** P.104

よく行く地点の音声案内

接近音声で**接近音声 OFF** を選択していると設定できません。

方向は、60° の幅を 6° 刻みで回転できます。

マーク地点リストから探す

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

全消去などのタッチキーの機能は、以下のページで説明しています。

➡ **共通で使用するタッチキー** P.131

地点の編集や消去もできます。

➡ **マーク地点を編集する** P.72

目的地履歴から探す

目的地ボタン ▶ **登録／履歴** ▶ **目的地履歴**



1. 履歴を選択する。
2. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

ルートを計算する P.104

目的地履歴から探す

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

全消去の機能は、以下のページで説明しています。

共通で使用するタッチキー P.131

目的地履歴は、新しい順にリストで表示されます。100 件を超すと古いものから消去されます。

施設ジャンルから探す

目的地ボタン ▶ **検索して探す** ▶ **施設ジャンル**



1. いずれかの項目を選択する。
▶項目によっては、さらに細かい条件設定が必要です。



2. 都道府県を選択する。

次ページに続く

施設ジャンルから探す

「*施設ジャンル*」

簡単 目的地ボタン ▶ **施設ジャンル** ▶ **一覧から探す**

施設ジャンル画面の項目には、よく使用する施設ジャンルと前回使用した施設ジャンルが表示されます。

一覧から探すを選択して、施設ジャンルの一覧から選択することもできます。



- ◀ または ▶ を選択すると、選択したカテゴリの項目がリストの先頭になります。
- **名前順に表示**を選択すると、リストが並べ換えられます。

ジャンルで**駐車場**を選択すると、小分類で**駐車場データ**と **VICS 駐車場**が表示されます。どちらでも周辺の駐車場を目的地に設定できますが、**VICS 駐車場**では、利用状況や詳細情報の確認もできます。(VICS 情報があるときのみ)



3. 目的の施設を選択する。

4. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

目的地を設定する P.103

施設ジャンルから探す

駐車場を探している場合、**車体制限で絞る**を選択すると、車体(キャリア、ルーフボックスは除く)の大きさを考慮してリストを絞り込めます。

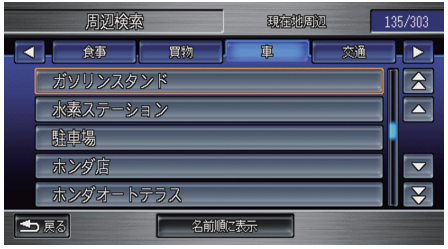
周辺検索から探す

目的地ボタン ▶ 検索して探す ▶ 周辺検索

現在地やルート、目的地、経由地周辺の施設をジャンルから探すことができます。



1. いずれかの項目を選択する。



2. 目的の施設のジャンルを選択する。



3. 目的の施設を選択する。

4. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

目的地を設定する P.103

周辺検索から探す

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

目的地、**ルート周辺**はルートが、**経由地周辺**は経由地が設定されている場合のみ選択できます。

地図画面で**周辺検索**を選択することでも周辺検索ができます。この操作は、簡単操作モード時も行うことができます。



ジャンルで**駐車場**を選択すると、小分類で**駐車場データ**と **VICS 駐車場**が表示されます。どちらでも周辺の駐車場を目的地に設定できますが、**VICS 駐車場**では、利用状況や詳細情報の確認もできます。(VICS 情報があるときのみ)

ジャンルで**ビル**を選択すると、そのビル内の施設を階数ごとに検索できます。また、施設情報の確認もできます。

駐車場を探している場合、**車体制限で絞る**を選択すると、車体(キャリア、ルーフボックスは除く)の大きさを考慮してリストを絞り込めます。

施設名から探す

目的地ボタン ▶ 検索して探す ▶ 名称／番号入力 ▶ 施設名



1. 名称を入力し、**検索開始**を選択する。



2. 目的の施設を選択する。
3. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

➡ **目的地を設定する** P.103

施設名から探す

簡単 目的地ボタン ▶ 名称／番号入力 ▶ 施設名

通常は、部分一致で検索されますが、検索結果が多い場合は、先頭一致や完全一致で検索されます。

地域で絞る、**ジャンルで絞る**を選択すると、検索結果の地域やジャンルでの絞り込みができます。

電話番号から探す

目的地ボタン ▶ 検索して探す ▶ 名称／番号入力 ▶ 電話番号



1. 電話番号を入力し、**検索開始**を選択する。
   ▶入力した電話番号に該当する地点の地図が表示されます。
2. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。
   目的地を設定する P.103

電話番号から探す

「*電話番号*」

簡単 目的地ボタン ▶ 名称／番号入力 ▶ 電話番号

市外局番、市内局番は必ず入力してください。以降の番号は入力しなくても**検索開始**を選択すれば、入力した番号で検索できます。

入力した電話番号に該当する施設がない場合は、市外局番、市内局番に該当する市区町村の公共施設などが表示されます。

個人宅の電話番号は検索できません。ただし、マーク地点やよく行く地点に電話番号を登録していると、個人宅などの場合でも検索に利用できます。

地名から探す

目的地ボタン ▶ **検索して探す** ▶ **名称／番号入力** ▶ **地名**



1. 地名を入力し、**検索開始**を選択する。



2. 目的の場所を選択する。

3. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

目的地を設定する P.103

地名から探す

簡単 目的地ボタン ▶ **名称／番号入力** ▶ **地名**

通常は、部分一致で検索されますが、検索結果が多い場合は、先頭一致や完全一致で検索されます。

郵便番号から探す

目的地ボタン ▶ 検索して探す ▶ 名称／番号入力 ▶ 郵便番号



1. 郵便番号を入力し、**検索開始**を選択する。
2. 目的の場所を選択する。
   ▶大きな会社などの場合は、地図を表示することがあります。**手順 4** に進んでください。
3. 丁目や番号、号を選択する。
4. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

目的地を設定する P.103

郵便番号から探す

「*郵便番号*」

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

郵便番号は 7 桁すべて入力してください。

住所から探す

目的地ボタン ▶ 検索して探す ▶ 住所



1. 都道府県を選択する。

住所から探す

「*住所*」

簡単 目的地ボタン ▶ 住所

次ページに続く



2. 市区町村を選択する。



3. 地名（丁目）を選択する。



4. 番地、号を選択する。

5. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

目的地を設定する P.103

▶住所から探す

全画面地図
入力した住所までに該当する公共施設などが表示されます。

数字入力
番地などを数字で入力できます。

internavi ドライブ情報から探す

目的地ボタン ▶ 検索して探す ▶ internavi ドライブ情報



利用したいサービスを選択する。

internavi ドライブ情報から探す 通信

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。

インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う P.7

回線切断
インターナビ接続を終了します。

インターナビ・リンク プレミアムクラブのサービスについては 2014 年 12 月時点の情報を基に作成しております。サービス内容ならびに仕様について予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

その他の方法で探す

■ おすすめドライブナビゲーターから探す

目的地ボタン ▶ **検索して探す** ▶ **施設ジャンル** ▶ **おすすめドライブナビゲーター**

日本の観光コースを都道府県ごとに探し、ルートに設定します。



1. 地方を選択する。
2. 都道府県を選択する。
3. 目的のコースを選択する。



4. **コース設定**を選択する。
   ▶コースに含まれる地点がリスト表示されます。

»おすすめドライブナビゲーターから探す

簡単 目的地ボタン ▶ **施設ジャンル** ▶ **おすすめドライブナビゲーター**

コース確認画面では、以下の項目を選択できます。

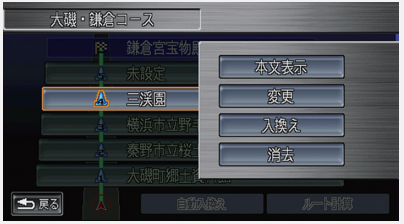
- **コース情報**：コースについてのコメントや走行距離を確認できます。さらに**スポット情報**を選択すると、コース内のスポットに関する情報を確認できます。
- **周辺スポット**：コース周辺の観光スポットを確認できます。
- **食事スポット**：コース周辺の食事スポットを確認できます。



5. ルート計算を選択する。
6. 案内開始を選択する。

おすすめドライブナビゲーターから探す

コース内の地点リストで**自動入換え**を選択すると、各地点を現在地から近い順に並べ換えができます。また、地点リストで地点を選択すると、個別に情報を確認したり、変更したりできます。



- **本文表示**:地点の情報を確認します。
- **変更**:地点を別の場所に変更します。
- **入換え**:コースの順序を変更します。
- **消去**:コースから地点を消去します。

未設定を選択すると、お好みの場所をコースに追加できます。

目的地を探す P.83

■ 地図から探す

目的地ボタン ▶ **検索して探す** ▶ 地図から



1. 目的の地点にカーソルを合わせる。
2. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

➡ **目的地を設定する** P.103

■ マップコードから探す

目的地ボタン ▶ **検索して探す** ▶ 名称／番号入力 ▶ マップコード



1. マップコードを入力し、**検索開始**を選択する。
   ▶入力したマップコードに該当する地点の地図が表示されます。
2. **目的地セット**を選択して、目的地までのルートを設定する。

➡ **目的地を設定する** P.103

地図から探す

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

マップコードから探す

簡単 目的地ボタン ▶ 名称／番号入力 ▶ マップコード



目的地セットを選択する。

▶表示中の地点を目的地としたルート計算条件の選択画面が表示されます。

▶探した地点が高速道路付近の場合、目的地を高速道路上に設定するかの確認画面が表示されます。

以下の項目を選択できます。

- **情報**:施設や施設マーク、VICS マークの情報を表示します。
- **internavi ダイレクト**:通信よく使うinternavi情報を登録しておくことができます。
  internavi ダイレクトを使う P.63
- **周辺検索**:表示中の地点の周辺にある施設を、ジャンルごとに検索できます。
  周辺検索から探す P.93
- **マークセット**:表示中の地点をマーク地点リストに登録します。
  マーク地点を登録する P.72
- **経由地セット**:表示中の地点を経由地に設定できます。
  経由地を追加する P.123

目的地を設定する

情報

- 表示内容は施設によって異なります。
- カーソル位置に複数の施設がある場合は、施設のリストが表示されます。
- 施設マークの情報画面で**非表示**を選択すると、そのマークが地図に表示されなくなります。
  非表示設定データに登録する P.77
- 自宅、よく行く地点、マーク地点、ユーザー施設マークの情報は編集できます。
  よく行く地点を編集する P.87
  マーク地点を編集する P.72
  ユーザー施設マークの編集 P.80

提携駐車場、出入口

選択した施設に提携駐車場や出入口がある場合は、リストと地図を表示します。
一部の新幹線の駅では、詳細な画像が表示できます。



案内開始を選択する。

▶「案内設定」の**スマート IC 案内**が**する**の場合、スマート IC 通過ルートで案内を開始します。

➡ **ルート案内の設定** P.43

以下の項目を選択できます。

- **冬期閉鎖情報**：冬期閉鎖道路を使用するルートが計算された場合、道路情報を確認できます。（「案内設定」の**冬期閉鎖考慮**が**しない**の場合のみ）

  ➡ **詳細設定** P.44
- **IC 指定**：入口と出口のインターチェンジを指定できます。

  ➡ **インターチェンジを指定する** P.121
- **ルート情報**：ルート内の道路名や各区間の距離、有料道路の料金などの情報をリスト形式で確認できます。
- **経由地設定**：経由地を追加します。

  ➡ **経由地を追加する** P.123
- **5 ルート**：計算条件の異なる5つのルートから、お好みのルートを選択できます。

  ➡ **5 つのルートを表示する** P.122
- **internavi ルート**：通信 インターナビ情報センター提供のルートを取得します。

  ➡ **internavi ルートに変更する** P.119

»ルートを計算する

簡単操作モード時は、以下の項目を選択できます。

- **冬季閉鎖道路**
- **5 ルート**
- **internavi ルート**

現在地、目的地、経由地付近では道幅 5m 未満の細街路を含めてルート計算します。

利用するインターチェンジ

利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

- **新規道取得**：通信ルート周辺に新しい道路がある場合、その道路のデータを本システムに取り込むことができます。
  ➡ **新規道路データを取得する** P.105

新規道路データを取得する



1. **確認**を選択する。
   ▶データ更新のための認証が行われ、新しい道路データが本システムに読み込まれます。
2. **再起動する**を選択する。

新規道路データを取得する 通信

ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。
➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7

ルート周辺の新規道路は強調表示されます。ただし、縮尺によっては強調表示にならない場合があります。

「再起動しますか？」と表示されるまで、エンジンスイッチを「0」にしないでください。

目的地に向かう

ドライブ中には、目的地への誘導、合流地点への接近、シートベルトの未装着などいろいろな案内や警告を表示や音声で行います。

目的地に向かう

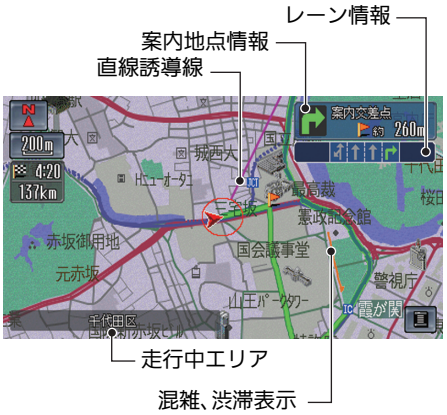
以下の地点に近づくと、マークやテロップで案内が出ます。
合流地点／事故多発地点／踏み切り／県境

以下の状況では、音声やテロップなどで警告が出ます。

- 車のふらつきを検知した
- 速い速度でカーブに進入しようとした
- 運転席のシートベルトが未装着
- パーキングブレーキがかかった状態で走行した

ルート案内画面の見かた

■ 地図画面



ルート計算後は、黄緑色のルートが表示されます。
走行を始めると、案内地点への距離に応じてガイダンス画面が表示されます。

地図画面

地図スケールは、音声コマンドまたは詳細／広域ボタンで変更できます。(例:「*25 メートル*」)
➡ **地図表示コマンド** P.302

音声コマンドで、ルートについての情報を確認することができます。(例:「*到着予想時刻*」、「*ルート全体表示*」)

「地図表示設定」の**渋滞表示**、**混雑表示**が**する**または**点滅表示**のときに交通情報を受信すると、ルート沿いに混雑や渋滞を表す赤、橙などの線が表示されます。
➡ **地図表示の設定** P.38

直線誘導線は、「地図表示設定」の**直線誘導線表示**が**する**の場合に表示されます。
➡ **詳細設定** P.40

レーン情報
複数のレーンが存在する場合に表示されます。(「地図表示設定」の**レーン情報表示**が**する**の場合のみ)
➡ **詳細設定** P.40

■ ガイダンス画面

ガイダンス画面では、走行中のルートをいろいろな方法で確認できます。



拡大図画面

案内地点まで、一般道は 300m、高速道路は 1km の地点で表示されます。進行方向、目印となる施設、交差点までの距離をお知らせします。
現在地ボタンを押して、表示、非表示を切り換えられます。



一般道方面看板

東京・名古屋・大阪の主要交差点で、案内地点まで500mの地点で表示されます。(「地図表示設定」の**方面看板表示**が**する**の場合のみ)

➡ **詳細設定** P.40

ガイダンス画面

ガイダンス画面については、クイックガイドにも説明があります。

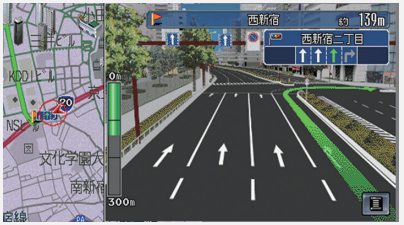
➡ **ルート案内中の画面表示** P.12

一般道方面看板

方面看板で、案内方面は違う色で示されます。

一部の交差点では、300m 手前でリアルな拡大図が表示されます。曲がる方向、目印となる施設、交差点までの距離を表示します。(「地図表示設定」の**リアル拡大図表示**が**する**の場合のみ)

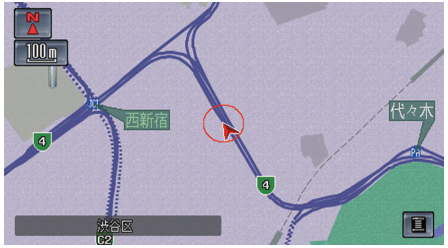
➡ **詳細設定** P.40





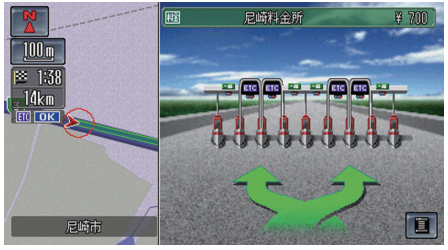
ジャンクション

ジャンクションまで1kmの地点で表示され、進行方向の方面名称をお知らせします。一部のジャンクションでは、イラストも表示されます。



都市高速マップ

都市高速道路を走行中は、有料道路、主要幹線道路、インターチェンジのみ表示されます。



料金所案内

料金所まで1kmの地点で表示されます。ETC が使用できる場合は、ETCレーンの方向を矢印でお知らせします。(「案内設定」の**ETC案内**が**する**の場合のみ)

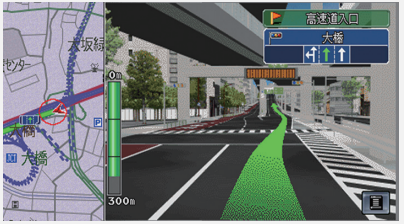
詳細設定 P.44

ガイダンス画面

都市高速道路マップ

- 簡単操作モードでは、表示されません。
- 「地図表示設定」の**都市高速マップ表示**が**する**の場合に表示されます。
  地図表示の設定 P.38
- 市街地図を除く、50m～5kmスケールで表示します。
- 2　画面地図のときは、左画面のみに表示します。

一部の都市高速道路入口では、手前 300m で拡大図が表示されます。



料金所案内

ETC カードが正常に読み込めない(カード未挿入)ときは ETC、有効期限が切れているときは NG が表示されます。詳細は別冊の「ETC車載器取扱説明書」をご確認ください。

■ ルートから外れたら

ルートを一時的に外れた場合、新しいルートが自動的に再計算されます。



音声案内を聞く

案内地点に近づくと、ガイダンス画面の拡大図表示と共に、音声での道案内も行われます。
通常、音声案内は 1 つの案内地点について 2 回行われます。

- 案内地点の 500m 手前
- 案内地点の直前

目的地（経由地）の約 100m 手前で「まもなく目的地（経由地）周辺です。」と案内します。
音声案内をもう一度聞きたいときは、現在地ボタンを押します。
拡大図表示中は、現在地ボタンを 2 回押します。

ルートから外れたら

手動でも再計算できます。
ルートを変更する P.116

音声案内を聞く

「*音声案内*」

音声案内はオフにできます。
案内音量の調節 P.29

音声案内が行われるタイミングは、走行中の道路の種類や次の案内地点への距離によって異なります。
音声案内の設定 P.47

音声案内中にオーディオへ切り換えると、音声が途切れることがあります。

VICS 情報を確認する

メニューボタン ▶VICS

VICS を利用して、さまざまな方法で交通情報を確認することができます。



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **VICS 図形情報**:簡易図形情報を表示します。
- **VICS 文字情報**:文字情報を表示します。
- **割込情報**:直近の受信済み情報を再表示します。緊急情報と注意警戒情報が同時に受信された場合は、▶で情報を切り換えます。
- **FM 文字多重**:FM 文字多重放送を受信する放送局を選択します。
  FM 文字多重放送を選択する P.112
- **internavi 交通情報**:通信インターナビ情報センターから取得した交通情報を表示します。
  インターナビ交通情報を確認する P.113
- **この先の交通情報**:ルート上の渋滞や規制を表示します。
  ルート上の交通情報を確認する P.114
- **駐車場情報**:駐車場情報を表示します。目的の駐車場を選択し、**情報**を選択します。
- **VICS 地域選択**:VICS 情報を受信する放送局を選択します。
  地域を選択する P.114

VICS 情報を確認する

受信後60分経ったVICS情報は、消去されます。

VICS 文字情報

- FM 文字多重放送からは緊急情報とことわり情報を、ビーコンからは緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報を自動的に受信して表示します。
  ことわり情報は、「インターナビ／VICS設定」の**文字情報割込み**が**する**の場合に割込み表示されます。緊急情報、注意警戒情報については、常に割り込み表示を行います。
  インターナビ／ VICS の設定 P.51
- 走行中は1件分、停車中は3件分の文字情報を1画面に表示します。
- VICS またはビーコンの文字情報を表示中にビーコンからの図形情報が受信された場合は、「ビーコンを受信しました」とメッセージのみを表示します。

インターナビ／ VICS 設定

インターナビや VICS が設定できます。
インターナビ／ VICS の設定 P.51

■ FM 文字多重放送を選択する

メニューボタン ▶VICS▶FM 文字多重



1. 見たい放送局を選択する。
2. 見たい番組の番号を選択する。

FM 文字多重放送を選択する

停車中は最大3件分の文字情報を1画面に表示します。

走行中は安全のため、緊急情報、交通情報、気象情報など一部の情報しか表示できません。

マニュアル選局
周波数を指定して受信ができます。

1. [−] または [+] を選択して周波数を設定します。
2. **受信開始**を選択する。
3. 見たい番組の番号を選択します。

表示中に新着情報があった場合は、**図形**または**メッセージ**が表示されます。選択すると目次が表示されます。

■ インターナビ交通情報を確認する

メニューボタン ▶VICS▶internavi 交通情報



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **現在地周辺、目的地周辺、経由地○周辺**：各地点周辺の VICS 情報を取得します。地図画面でカーソルの位置を調整し、**取得開始**を選択します。
- **検索して選択**：探した地点周辺の VICS 情報を取得します。地図画面でカーソルの位置を調整し、**取得開始**を選択します。
- **交通情報読み上げ**：受信済みの情報を、音声で読み上げます。

インターナビ交通情報を確認する 通信

簡単操作モード時は、以下の項目のみ選択できます。

- **現在地周辺**
- **目的地周辺**
- **検索して選択**
- **交通情報読み上げ**

ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。

インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う P.7

地図をスクロールして **internavi ダイレクト→ internavi 交通情報**を選択すると、カーソル周辺の VICS 情報を取得します。

■ ルート上の交通情報を確認する

メニューボタン ▶VICS▶ この先の交通情報



情報を確認する。

■ 地域を選択する

メニューボタン ▶VICS▶VICS 地域選択



都道府県を選択する。

▶選択した都道府県に色が付き「固定」と表示されます。

ルート上の交通情報を確認する

情報が複数ある場合は、◀ **前**または**次** ▶ を選択して表示を切り換えます。

音声案内

表示されている情報を読み上げます。−または＋を選択すると、読み上げの音量を調節できます。

地域を選択する

マニュアル選局

周波数を指定して受信ができます。

1. −または＋を選択して周波数を設定します。
2. **受信開始**を選択する。

自動選局

放送局のある都道府県を自動で選択します。自動選局されている都道府県には、色が付きます。



交通情報を聞く

SOURCE ボタン ▶ **交通情報**

受信中の周波数



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **1620**、**1629**:受信する周波数を選択します。
- **音質調整**:音質を調整します。また車速に応じて音量を自動的に調節する設定を行います。

音質を調整する P.184

交通情報を聞く

「*交通情報ラジオ*」

ルートを変更する

目的地ボタン ▶ ルート



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **ルート再計算**:設定済みのルートを、同じ条件で再計算します。
- **ルート全体表示**:設定したルートを画面上で確認します。
  ➡ **ルートの全体を表示する** P.117
- **ルート条件変更**:ルート計算の条件を変更します。
  ➡ **ルート条件を変更する** P.118
- **IC 指定**:入口・出口で使用するインターチェンジを指定します。
  ➡ **インターチェンジを指定する** P.121
- **5 ルート表示**:計算条件の異なる 5 つのルートを表示します。
  ➡ **5 つのルートを表示する** P.122
- **経由地リスト**:経由地を追加、変更、消去します。
  ➡ **経由地を追加する** P.123
- **目的地消去**:設定されている目的地や経由地を消去し、ルート案内を中止します。
  ➡ **目的地を消去する** P.130

ルートを変更する

「*ルート再計算*」、「*誘導一時中断*」

簡単操作モード時は、以下の項目を選択できます。

- **ルート再計算**
- **ルート全体表示**
- **誘導一時中断**
- **internavi ルート取得**
  ➡ **internavi ルートに変更する** P.119
- **目的地消去**

経由地リスト

ルート走行中は、**経由地○スキップ**と表示されます。選択すると、最寄りの経由地を通らないルートを再計算し、案内を再開します。

誘導一時中断

目的地や経由地はそのままで、ルート案内を一時停止します。あとで案内を再開することができます。

➡ **ルート案内を一時中断する** P.11

ルートの全体を表示する

目的地ボタン ▶ ルート ▶ ルート全体表示



ルートを確認する。

以下の項目を選択できます。

- **ルートスクロール**:ルートを自動スクロールさせて確認します。
- **ルート情報**:ルート上の道路名や区間距離などを確認します。
- **区間表示**:現在地～経由地、経由地～目的地など区間ごとの地図を表示します。

ルートの全体を表示する

「*ルート全体表示*」

簡単操作モード時は、以下の項目を選択できます。

- **5ルート**
  計算条件の異なるルートを表示します。
  5つのルートを表示する P.122

ルートスクロール



- ▲、▼を選択すると、スクロールの方向が切り換わります。
- ⏫、⏬を選択すると、「現在地～経由地」、「経由地～経由地」、「経由地～目的地」と区間のスキップができます。
- ■ を選択すると、スクロールが停止します。

ルート条件を変更する

目的地ボタン ▶ ルート ▶ ルート条件変更



いずれかの項目を選択する。
▶選択した条件でルートを再計算します。
▶走行中も操作できます。

以下の項目を選択できます。

- **標準**:高速道路や幹線道路を優先して使うルートです。
- **距離優先**:距離が最短のルートです。
- **internavi ルート**:通信インターナビ情報センターから、条件を指定してルートを取得します。
  internavi ルートに変更する P.119
- **一般道優先**:一般道を優先して使うルートです。状況によっては、高速道路を利用することもあります。
- **道幅優先**:道幅の広い道路を優先したルートです。
- **迂回距離指定**:指定した距離や方法で迂回するルートを再計算します。一般道走行時は迂回したい距離、高速道路走行時は迂回の方法を選択します。
  迂回する P.120

ルート条件を変更する

「*ルート条件変更*」、「*標準*」、「*一般道優先*」、「*距離優先*」、「*道幅優先*」、「*迂回距離指定*」

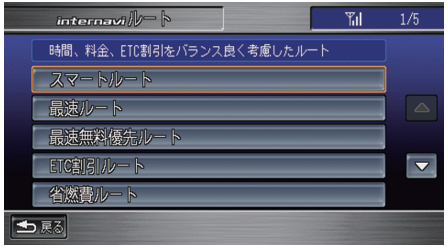
この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

選択する条件によって考慮する VICS 情報が異なります。
VICS を使ったルート計算 P.281

通過した経由地はルート計算されません。

■ internavi ルートに変更する

目的地ボタン ▶ ルート ▶ ルート条件変更 ▶ internavi ルート



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **スマートルート**:時間、料金、ETC 割引をバランス良く考慮したルートです。
- **最速ルート**:最短時間で到着できるルートです。
- **最速無料優先ルート**:一般道、無料の道路を使って最短時間で到着できるルートです。
- **ETC 割引ルート**:ETC 割引を利用する割安ルートです。
- **省燃費ルート**:燃料消費量が最小で CO_2 排出量を削減できるルートです。

internavi ルートに変更する 通信

「*インターナビルート*」

簡単 目的地ボタン ▶ ルート ▶ internavi ルート取得

ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。

インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う P.7

■ 迂回する

目的地ボタン ▶ ルート ▶ ルート条件変更 ▶ 迂回距離指定



迂回したい距離を選択する。
▶ルートが再計算され、迂回したルートを表示します。

迂回する

高速道路走行時は、迂回の方法を選択します。



- **高速を一時回避**を選択すると、約 10km を迂回距離として再計算します。
- **高速を利用しない**を選択すると、一般道優先で再計算します。

インターチェンジを指定する

目的地ボタン ▶ ルート ▶IC 指定



1. 入口または出口インターチェンジを選択する。



2. 利用したいインターチェンジを選択する。
▶ジャンクションを選択すると、分岐先の高速道路の路線リストを表示します。
3. **ルート再計算**を選択する。
4. **案内開始**を選択する。

インターチェンジを指定する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

ルート全体の最初と最後にある入口または出口のインターチェンジのみ指定できます。

インターチェンジは、現在指定のものを除く前後2つ(ジャンクションが含まれない場合)の中から指定できます。

「案内設定」で**スマート IC 案内**を**する**に設定している場合は、スマート IC を指定できます。
➡ **ルート案内の設定** P.43

以下の場合はインターチェンジの指定が解除されます。
- internavi ルートを利用するとき
- 経由地を追加したとき

指定済みのインターチェンジを選択して **IC 指定解除**→**案内開始**の順に選択すると、インターチェンジの指定を外したルートを再計算します。

5 つのルートを表示する

目的地ボタン ▶ ルート ▶ 5 ルート表示



ルートを確認する。

▶別のルートに変更したい場合は、いずれかの項目を選択して、**決定**を選択します。

以下の項目を選択できます。

- **標準**:高速道路や幹線道路を優先して使うルートです。
- **一般道優先**:一般道を優先して使うルートです。状況によっては、高速道路を利用することがあります。
- **距離優先**:距離が最短のルートです。
- **道幅優先**:道幅の広い道路を優先したルートです。
- **別ルート**:標準ルートとは別のルートです。

5 つのルートを表示する

簡単 目的地ボタン ▶ ルート ▶ ルート全体表示 ▶ 5 ルート

以下の場合、この操作はできません。

- 経由地が設定されている場合
- 入口、出口のインターチェンジを指定した場合
- おすすめドライブナビゲーターでルートを設定した場合

選択する条件によって考慮する VICS 情報が異なります。

VICS を使ったルート計算 P.281

経由地を追加する

目的地に着くまでに経由したい場所を、ルート上に 5 つまで追加できます。



経由地は、数字付きの赤いアイコンで示されます。リストでの並び順に経由するようにルート計算されます。

■ ルートメニューから経由地を追加する

目的地ボタン ▶ ルート ▶ 経由地リスト



1. **未設定**を選択する。
2. 場所を探す。
   目的地を探す P.83

経由地を追加する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

目的地メニューから経由地を追加することもできます。
目的地を探す P.9

経由地リストで、経由地の追加、消去、位置や順序の変更ができます。
経由地を編集する P.125

次ページに続く

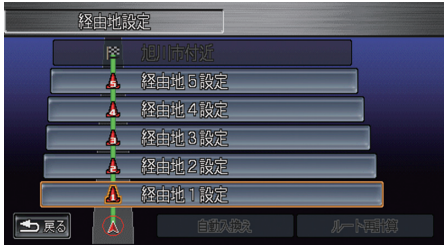


3. **経由地セット**を選選択する。
   ▶さらに経由地を追加したい場合は、**手順 1** から **3** を繰り返します。
4. **ルート再計算**を選択する。
5. **案内開始**を選択する。

■ 地図画面から経由地を追加する



1. **経由地セット**を選択する。



2. 経由地○設定を選択する。
3. ルート再計算を選択する。
4. 案内開始を選択する。

■ 経由地を編集する

目的地ボタン ▶ ルート ▶ 経由地リスト



1. 変更したい経由地を選択する。

経由地を編集する

自動入換え
複数の経由地がある場合に、現在地から近い順に経由地を並び換えます。

次ページに続く



2. いずれかの項目を選択する。
3. リストの変更が終わったら、**ルート再計算**を選択する。
4. **案内開始**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **変更**:経由地の場所を変更します。
- **順序変更**:経由地の順番を変更できます。▲、▼で変更後の順番を指定し、**設定終了**を選択します。
- **地図表示**:経由地周辺の地図を表示します。
- **通らない**:経由地を通過しないルートを計算します。元のルートに戻すときは**再誘導**を選択します。
- **消去**:経由地を消去します。

新しい目的地を設定する

目的地ボタン ▶ 登録／履歴または検索して探す

ルート走行中でも、目的地メニュー画面から新しい目的地を設定することができます。



1. 新しい目的地を探す。

目的地を探す P.83

▶ルートが再計算され、地図上に表示されます。

2. 目的地までのルートを設定する。

目的地を設定する P.103

最寄りの駐車場に行く

繁華街に目的地を設定している場合は、目的地の手前 2km で、最寄りの駐車場に目的地を変更するかの確認画面が表示されます。



1. 表示するを選択する。



2. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- ◀ **前、次** ▶:前後の駐車場を表示します。
- **音量** −/+:情報読み上げの音量を調節します。
- **リスト表示**:駐車場をリストから選択します。
  リストから指定する P.129
- **オートガイド**:最寄りの駐車場候補までのルート案内を自動で開始します。
- ▶ **再生**:表示中の駐車場の情報を音声で読み上げます。
- **目的地セット**:表示中の駐車場を目的地に設定します。

最寄りの駐車場に行く

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

この機能を操作するには、**繁華街駐車場通知**で**する**を選択している必要があります。
詳細設定 P.44

オートガイドを選択すると、最寄りの駐車場候補に到着したときに確認画面が表示されます。

- **しない**:案内を終了します。
- **誘導する**:別の駐車場への案内を開始します。



■ リストから指定する



1. お好みの駐車場を選択する。
2. **目的地セット**を選択する。
3. **案内開始**を選択する。

リストから指定する

車体制限で絞る

車体(キャリア、ルーフボックスは除く)の大きさを考慮してリストを絞り込みます。

目的地を消去する

目的地ボタン

目的地と経由地を消去して、ルート案内を中止します。



目的地消去を選択する。

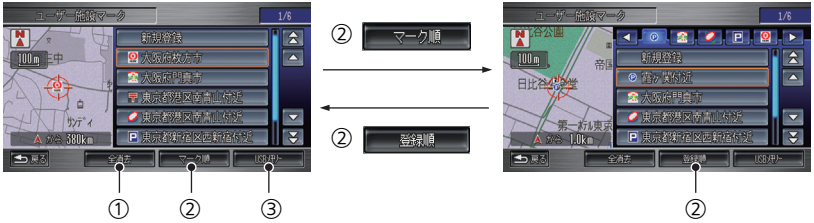
目的地を消去する

「*目的地消去*」

共通で使用するタッチキー

リスト画面やリストから項目を選択した後の画面で共通して使用するタッチキーについて説明します。

■リスト画面



①**全消去**:すべてのマークや地点を消去します。
②**マーク順**／**登録順**:リストが並べ換えられます。(選択するごとに切り換わります)
③ **USB メモリー**:インターナビ USB コードに USB メモリーを接続している場合に、データの読み込み、保存、消去ができます。

USB メモリーを接続する P.228

■項目選択後の画面



④**全画面地図**:選択した項目周辺の地図を表示します。
⑤**消去**:選択した項目を消去します。

共通で使用するタッチキー

例として、ユーザー施設マークの画面を使用しています。画面によっては、表示されないタッチキーもあります。

マーク順のリストでは ◀ または ▶ を選択すると、選択したマークの項目がリストの先頭になります。

USB メモリー
以下の項目を選択できます。

- **データ読み込み**:データを本システムに読み込みます。データによっては、**すべて読み込み**を選択して、すべてのデータを読み込めます。
- **データ保存**:データを USB メモリーに保存します。データによっては、**すべて保存**を選択して、すべてのデータを保存できます。
- **データ消去**:データを USB メモリーから消去します。データによっては、**全消去**を選択して、すべてのデータを消去できます。

オーディオ／ビジュアル

この章では、音楽や映像に関する操作を記載しています。
いろいろなメディアを、本システムのボタンやタッチスクリーン、
音声コマンドで操作することができます。

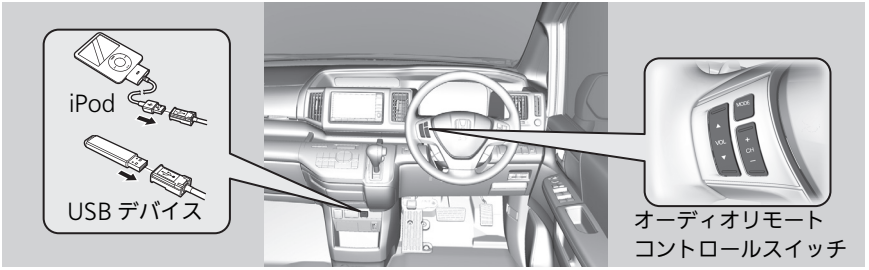
オーディオ／ビジュアルシステム 134
お使いのオーディオ／ビジュアルシステムについて 134
AV 入力端子 135
ラジオを聴く 136
操作画面 136
オーディオメニュー画面 137
テレビを観る 138
操作画面 141
オーディオメニュー画面 142
機能メニュー画面 144
テレビの設定 145
HDD サウンドコンテナを使う 146
操作画面 147
オーディオメニュー画面 149
音楽 CD を HDD に録音する 151
HDD サウンドコンテナの設定をする 154
音楽ディスクを聴く 164
操作画面 165
オーディオメニュー画面 166
DVD ビデオを観る 168
操作画面 169
オーディオメニュー画面 174
DVD ビデオの設定 175
iPod を聴く 177
操作画面 178
曲を探す 179
オーディオメニュー画面 180
USB デバイスを聴く 181
操作画面 182
オーディオメニュー画面 183
音質を調整する 184
オーディオ／ビジュアルについて 185
使用できるディスク 185
オーディオリモートコントロールスイッチ 187

お使いのオーディオ／ビジュアルシステムについて

本システムでは、ラジオやテレビの視聴、CD・DVD・iPod・USB デバイスの再生、また HDD サウンドコンテナへお好みの曲を録音するなどして音楽と映像を楽しむことができます。

操作には、ボタンやタッチパネル、またはオーディオリモートコントロールスイッチを使います。

➔ **オーディオ／ビジュアルの操作** P.14
➔ **オーディオリモートコントロールスイッチ** P.187



お使いのオーディオ／ビジュアルシステムについて

CDシングル（8cmCD）、DTS CD（5.1ch Music Disc）は再生できません。

音声コマンドでオーディオ／ビジュアルを操作することもできます。

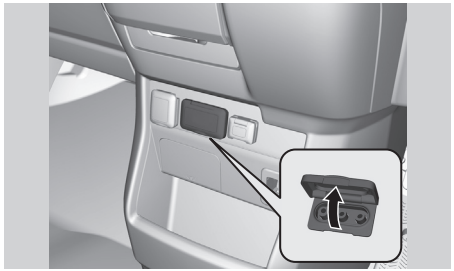
➔ **音声コマンド** P.302

アーティスト名、アルバム名、曲名は、正しく表示されないことがあります。

安全上の配慮から、テレビ、DVD ビデオ、ビデオは停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。

AV 入力端子

AV 入力端子にお手持ちのビデオ機器を接続することができます。



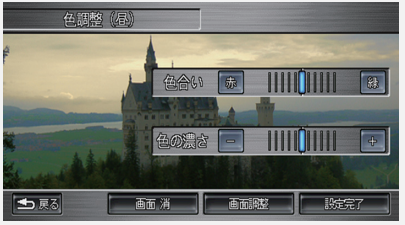
1. AV 入力端子のカバーを開ける。
2. AV 入力端子とビデオ機器の出力端子に、VTR コードを差し込む。
▶SOURCE ボタンを押して**ビデオ**を選択すると、接続した機器の映像画面に切り換わります。

AV 入力端子

「*ビデオ*」

画面の表示比率
ビデオの表示比率を設定できます。
➡ **オーディオメニュー画面** P.174

視聴中に画面ボタンを押し、**色調整**を選択すると、画面の色合いや色の濃さの調節ができます。各項目の**赤**、**緑**または [−]、[+] を選択して調整し、**設定完了**を選択します。色の調整は、テレビ、DVD ビデオ、ビデオごとに設定できます。



1. SOURCE ボタンを押す。
2. **FM** または **AM** を選択する。
   ▶**FM** を選択した場合は、さらに **FM1** または **FM2** を選択します。
3. プリセットスイッチまたは ⏮**TUNE/SEEK**⏭ で選局する。
   ▶選択中のバンド、周波数、放送局名が表示されます。

操作画面

AUDIO ボタン（ラジオ受信中に）



1. **FM** または **AM** を選択する。
2. プリセットされている放送局を選択する。
   ▶プリセットスイッチを「ピッ」と鳴るまで選択し続けると、受信中の放送局をそのスイッチに登録することができます。

以下の項目を選択できます。

- **音質調整**：音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調節する設定を行います。
  音質を調整する P.184
- ⏮**TUNE/SEEK**⏭：周波数を切り換えます。「ピッ」と鳴るまで選択し続けると、自動選局を開始します。

▶ラジオを聴く

「ラジオ」、「エーエム」、「エフエム」

音声で操作することもできます。
音声コマンド P.302

オーディオ／ビジュアルの操作については、クイックガイドもご覧ください。
各部のなまえ P.4
オーディオ／ビジュアルの操作 P.14

本システムでは、下記の範囲内の周波数を受信できます。
AM：522 ～ 1629kHz
FM：76.0 ～ 90.0MHz

プリセットスイッチには、AM 局を 6、FM 局を 12（FM1 と FM2 にそれぞれ 6 ずつ）まで登録できます。

- **オーディオメニュー**:オーディオメニューを表示します。
  オーディオメニュー画面 P.137

オーディオメニュー画面

AUDIO ボタン（ラジオ受信中に）▶ **オーディオメニュー**



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **エリア選局**:移動にともない地域が変わったときに、自動でその地域で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示します。もう一度**エリア選局**を選択すると表示が解除されます。
- **SCAN**:受信可能な放送局の音声を順に 10 秒間ずつ流します。聴きたい放送局のところで実行ボタンを押して、選局します。もう一度 **SCAN** を選択するとスキャンを停止します。
- **AUTO SELECT**:現在地周辺で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示します。もう一度 **AUTO SELECT** を選択すると表示が解除されます。

オーディオメニュー画面

エリア選局

- エリア選局中は、画面右上に「エリア」と表示されます。
- エリア選局中は、表示されているプリセットスイッチへの他の放送局の上書き登録はできません。
- 受信できる放送局が 6 に満たなかった場合、受信できなかったスイッチには「0」と表示されます。

SCAN

スキャン中は、画面右上に「SCAN」と表示されます。

AUTO SELECT

- オートセレクト中は、画面右上に「A. SEL」と表示されます。
- オートセレクト中でも、表示されているプリセットスイッチへの他の放送局の上書き登録ができます。
- 受信できる放送局が 6 に満たなかった場合、受信できなかったスイッチには「0」と表示されます。

テレビを観る

1. SOURCE ボタンを押す。
2. **TV** を選択する。
▶初回は、「初期設定」画面が表示されます。
➡ **はじめて観る場合** P.139
3. 画面に触れる。
▶テレビの操作画面が表示されます。
➡ **操作画面** P.141
4. **TV1** または **TV2** を選択する。
5. プリセットスイッチまたは ⏮**TUNE/SEEK**⏭ で放送局を選択する。
▶選択中のチャンネル、プリセット番号、放送局名、番組名が表示されます。

テレビを観る

「*フルセグ*」「*ワンセグ*」

音声で操作することもできます。
➡ **音声コマンド** P.302

オーディオ／ビジュアルの操作については、クイックガイドもご覧ください。
➡ **各部のなまえ** P.4
➡ **オーディオ／ビジュアルの操作** P.14

安全上の配慮から、テレビは停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、パーキングブレーキをかけずに停車しているときなどは、映像は映らずに音声だけがきこえます。

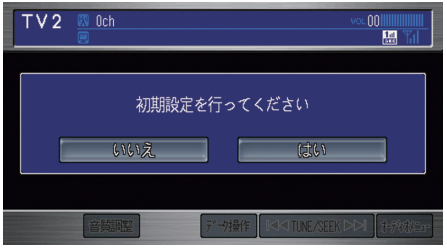
地上デジタルテレビ放送は放送方式の特性上、アナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

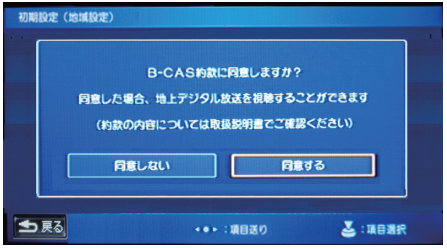
何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。
➡ **テレビ** P.269

■ はじめて観る場合

SOURCE ボタン ▶TV

はじめてテレビを見るときは、最初に「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意する必要があります。その後、「初期設定」と「初期スキャン」を行います。





1. **はい**を選択する。
   ▶以下の手順からはジョイスティックで操作してください。
2. **同意画面に進む**を選択し、実行ボタンを押す。
   ▶すでに「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意している場合は、**手順 4** へ進んでください。
3. 「B-CASカード使用許諾契約約款」を確認し、**同意する**を選択し、実行ボタンを押す。

   B-CAS カード使用許諾契約約款 P.299

   ▶**同意しない**を選択した場合は、テレビをご覧になることができません。

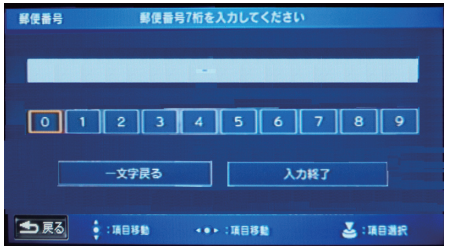
はじめて観る場合

郵便番号は、天気予報などのデータ放送の内容に利用されます。

複数の地域の放送局が受信できた場合は、選択した都道府県の放送局が優先されます。

次ページに続く





4. **郵便番号**を選択し、実行ボタンを押す。

5. 郵便番号（7桁）を入力して、**入力終了**を選択し、実行ボタンを押す。
   ▶都道府県名が自動で入力されます。
6. **入力完了**を選択し、実行ボタンを押す。
7. **実行する**を選択し、実行ボタンを押す。
   ▶初期スキャンが開始され、受信可能な放送局がプリセットスイッチに登録されます。

はじめて観る場合

都道府県名が自動で入力されなかった場合や郵便番号が分からなかった場合は、**都道府県名**を選択し、都道府県を手動で選択してください。

操作画面

AUDIO ボタン（テレビ受信中に）

テレビモード



プリセットスイッチ

以下の項目を選択できます。

- **音質調整**：音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調節する設定を行います。
  音質を調整する P.184
- **データ操作**：データ操作メニューを表示します。（12 セグのみ）
- ⏮**TUNE/SEEK**⏭：チャンネルを切り換えます。「ピッ」と鳴るまで選択し続けると、自動選局を開始します。
- **オーディオメニュー**：オーディオメニューを表示します。
  オーディオメニュー画面 P.142

1. 画面に触れる。
▶テレビの操作画面が表示されます。

2. プリセットされている放送局を選択する。
▶プリセットスイッチを「ピッ」と鳴るまで選択し続けると、受信中の放送局をそのスイッチに登録することができます。

操作画面

データ操作

データ操作メニュー画面はジョイスティックで操作します。



- **d**　を選択すると、データ放送に切り換わります。
- **ボタン消し**を選択すると、データ操作メニューが消えます。
- **d 操作ボタン移動**を選択すると、データ操作メニューの位置が左右の逆側に移動します。

プリセットスイッチには、TV1 と TV2 にそれぞれ 6 局ずつまで登録できます。

オーディオメニュー画面

AUDIO ボタン（テレビ受信中に）▶ **オーディオメニュー**



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **SCAN**:受信可能な放送局の映像を順に 10 秒間ずつ流します。観たい放送局のところで実行ボタンを押して、選局します。もう一度 **SCAN** を選択するとスキャンを停止します。
- **AUTO SELECT**:現在地周辺で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示します。もう一度 **AUTO SELECT** を選択すると表示が解除されます。
- **番組表**:電子番組表(EPG)を表示します。ジョイスティックの左右で放送局を、上下で番組を選択してから実行ボタンを押すと、その番組の詳細情報を表示します。
- **12 セグ／ワンセグ切換**:受信モードを**自動**、**ワンセグ固定**、**12セグ固定**の順に切り換えます。(初期値:**自動**)

オーディオメニュー画面

SCAN

スキャン中は、画面右上に「SCAN」と表示されます。

AUTO SELECT

- オートセレクト中は、画面右上に「A. SEL」と表示されます。
- オートセレクト中でも、表示されているプリセットスイッチへの他の放送局の上書き登録ができます。
- 受信できる放送局が 6 に満たなかった場合、受信できなかったスイッチには「0」と表示されます。

番組表

- 番組表で放送局を変更するのと連動してテレビの受信する放送局も切り換わります。
- 放送局の表示順は、プリセットスイッチの番号順です。

受信モードの種類

- **自動**:12 セグ放送で受信状態が悪い場合に、ワンセグ放送へ自動で切り換わります。受信状態が良くなると、12 セグ放送に戻ります。
- **ワンセグ固定**:受信状態に関係なく常にワンセグ放送を受信します。
- **12 セグ固定**:受信状態に関係なく常に 12 セグ放送を受信します。

- **サービス切換**:メインチャンネルとサブチャンネルを切り換えます。
- **d(データ放送)**:データ放送に切り換えます。(12 セグのみ)
- **機能メニュー**:機能メニューを表示します。
  ➡ **機能メニュー画面** P.144

オーディオメニュー画面

サービス切換

- マルチ編成の番組でのみ選択できます。
- ワンセグ放送を受信している場合、マルチ編成の番組には、  が表示されます。

機能メニュー画面

AUDIO ボタン（テレビ受信中に）▶ **オーディオメニュー** ▶ **機能メニュー**



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **音声切換**:音声を切り換えます。
- **字幕**:字幕を切り換えます。(12 セグのみ)
- **設定**:テレビの設定メニューを表示します。
  ➡ **テレビの設定** P.145
- **マルチビュー／映像切換**:映像を切り換えます。(12 セグのみ)
- **放送局メール**:放送局から受信したメールのリストを表示します。リストからジョイスティックでメールを選択して、実行ボタンを押します。
- **表示サイズ切換**:映像の表示サイズを「中」「拡大」の 2 段階で切り換えます。(ワンセグのみ)

機能メニュー画面

音声切換
複数の音声がある番組(表示中)のみ選択できます。

字幕
字幕のある番組(表示中)のみ選択できます。

マルチビュー／映像切換
複数の映像のある番組(表示中)のみ選択できます。

放送局メール
未読メールがある場合は、が表示されます。

テレビの設定

AUDIO ボタン（テレビ受信中に）▶ **オーディオメニュー**▶ **機能メニュー**▶ **設定**



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **緊急警報放送自動切換**：緊急警報放送を受信した際の動作を設定します。
  - **する**：受信すると自動で表示を切り換えます。
  - **しない**：受信すると緊急を表示します。表示は切り換えません。
- **再スキャン**：初期スキャンをやり直します。新たな放送局や中継局が追加されていたときに、現在のプリセットスイッチに追加できます。
- **地域設定**：データ放送の対象地域およびプリセットチャンネルに優先的に表示する地域を設定します。

はじめて観る場合 P.139

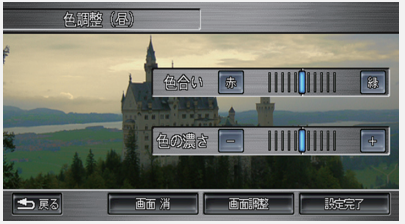
- **B-CAS カード情報**：B-CAS カードの情報を確認できます。

テレビの設定

初期値にする

プリセットスイッチや地域設定などを初期化します。

受信中に画面ボタンを押し、**色調整**を選択すると、画面の色合いや色の濃さの調節ができます。各項目の**赤**、**緑**または [−]、[+] を選択して調整し、**設定完了**を選択します。色の調整は、テレビ、DVD ビデオ、ビデオごとに設定できます。



HDD サウンドコンテナを使う

HDDサウンドコンテナとは、CDの曲を内蔵ハードディスクに録音し、再生する機能です。プレイリストを利用して曲を整理したり、いろいろな方法で再生したりすることができます。

1. SOURCE ボタンを押す。

2. HDD を選択する。

3. HDD サウンドコンテナの階層およびリストスイッチで選曲する。

▶画面に、プレイリスト名、アーティスト名、曲名、再生時間が表示されます。曲名は、内蔵データベース内の Gracenote® アルバム情報に該当するタイトルがある場合のみ、表示されます。

»HDD サウンドコンテナを使う

「*サウンドコンテナ*」

音声で操作することもできます。
音声コマンド P.302

オーディオ／ビジュアルの操作については、クイックガイドもご覧ください。
各部のなまえ P.4
オーディオ／ビジュアルの操作 P.14

HDD サウンドコンテナに録音された曲を、CDなど他のメディアに録音することはできません。

CD から HDD サウンドコンテナへの録音は、圧縮しながら4倍速で行われます。そのため、元の音源に比べて音質がわずかに変わることがあります。

ハードディスクを交換すると、全データが消去されます。

何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。
HDD サウンドコンテナ P.274

操作画面

AUDIO ボタン（HDD サウンドコンテナ再生中に）

HDD モード



リストスイッチ

聴きたい曲を選択する。

▶**GROUP**、**PLAYLIST**、**TRACK** タブを選択すると、リストの表示内容が切り換わります。

以下の項目を選択できます。

- **HOME**：再生中の曲のトラックリスト表示に戻ります。
- **音質調整**：音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調節する設定を行います。

  音質を調整する P.184
- **◀PLAYLIST▶**：前後のプレイリストの最初の曲を再生します。
- **⏮TRACK⏭**：曲を選択します。選択し続けると、再生中の曲を早送り／早戻しします。
- **オーディオメニュー**：オーディオメニューを表示します。

  オーディオメニュー画面 P.149

操作画面

GROUP タブを選択すると、「お気に入り／よく聴いた曲ベスト」グループが選択できます。「お気に入り／よく聴いた曲ベスト」グループには、「お気に入り」プレイリストと「よく聴いた曲ベスト」プレイリストが入っています。



インターナビUSB コードにUSB メモリーを接続している場合は、「USB メモリー」グループが使用可能になり、USB メモリー内の MP3/WMA ファイルが再生できます。
「USB メモリー」グループ内は「音楽データ」プレイリストが入っており、USB メモリー内の全曲が 1 つのリストで表示されます。再生される順番は、お使いのパソコンに依存します。

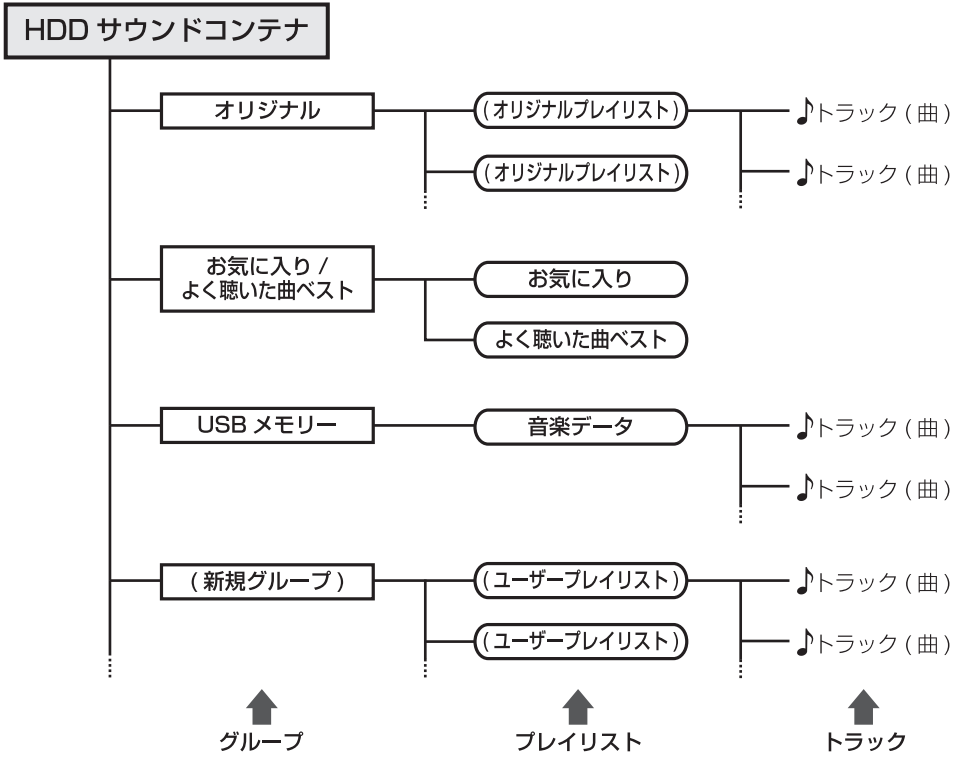
USB メモリーを接続する P.228

走行中はリストスイッチの内容は表示されません。

次ページに続く

■グループとプレイリストについて

HDD サウンドコンテナは、3 階層でできています。各グループの中にプレイリストが存在し、さらに各プレイリストの中にトラックが存在しています。



オーディオメニュー画面

AUDIO ボタン（HDD サウンドコンテナ再生中に）▶ **オーディオメニュー**

プレイモード



以下の項目を選択できます。

- **REPEAT**:曲を繰り返して再生します。
  1:再生中の曲を繰り返して再生します。
  :再生中のプレイリストを繰り返して再生します。
- **SCAN**:曲を 10 秒間ずつ再生します。聴きたい曲の再生中に実行ボタンを押すと、その曲が通常再生されます。スキャンは、スキャン開始時の曲まで戻ると自動的に解除されます。
  SCAN:再生中のプレイリストにあるすべての曲を、約 10 秒間ずつ再生します。
  SCAN:再生中グループにある全プレイリストの最初の曲を、約10秒間ずつ再生します。
- **RANDOM**:曲を順不同に再生します。
  :再生中のプレイリストにあるすべての曲を、順不同に再生します。
  :すべての曲を順不同に再生します。
- **お気に入りに追加**:再生中の曲を「お気に入り」プレイリストに登録します。
- **新規グループ作成**:新しいグループを作成します。グループ名称を入力後、**入力完了**を選択します。

次ページに続く

オーディオメニュー画面

新規グループ作成
グループ名には、あらかじめ日付が入力されています。

リピート、スキャン中に ◀PLAYLIST▶ または ⏮TRACK⏭ を選択すると、リピート、スキャンは解除されます。

ランダム中に ◀PLAYLIST▶ を選択すると、ランダムは解除されます。

- **よく聴いた曲設定**:「よく聴いた曲ベスト」プレイリストを作成するための検索期間を設定することができます。
  - **過去 1ヶ月によく聴いた曲**：当日を含む過去 1ヶ月間によく聴いた曲を登録します。
  - **過去 3ヶ月によく聴いた曲**：当日を含む過去 3ヶ月間によく聴いた曲を登録します。
  - **過去 6ヶ月によく聴いた曲**：当日を含む過去 6ヶ月間によく聴いた曲を登録します。
  - **再生履歴消去**：すべての再生履歴を消去します。
- **機能設定**:HDD サウンドコンテナの設定メニューを表示します。

➡ **HDD サウンドコンテナの設定をする** P.154

音楽 CD を HDD に録音する

工場出荷時の設定では、初めて再生した CD の曲は、すべて自動的に HDD サウンドコンテナに録音されます。録音中でも、録音済みの曲は再生できます。

録音インジケーター



地図画面での録音インジケーター



CD を挿入する。

▶すべての録音が終了すると録音インジケーターの表示が消えます。

音楽 CD を HDD に録音する

音飛びしてエラーが検出された場合は、次の曲から録音を再開します。

トラック間(曲間)にブランクがない CD を録音すると、曲間に無音を録音します。

録音中はリピート、ランダム、スキャン再生や早送り／早戻しはできません。

録音中でも、CD 以外のメディアは再生することができます。

自動録音中にその CD の他の曲を選択すると、録音中の曲は消去され、次の未録音の曲から録音を開始します。

ハードディスクに録音された音楽データは、消去することができます。

➡ **HDD サウンドコンテナの設定をする** P.154

録音中にエンジンスイッチを「0」にすると、録音中の曲は消去されます。次回エンジンスイッチを「I」または「II」にすると、エンジンスイッチを「0」にしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。また、「録音が完了しました」のメッセージが表示されたあと、または録音のマークが消えたあと、約 10 秒間はエンジンスイッチを「0」にしないでください。最後の曲が録音されないことがあります。

■ 録音を停止する

1. オーディオメニューを選択する。
2. 録音停止を選択する。

■ 手動で録音する

CD の**録音設定**で**手動録音**を選択していれば、お好みの曲だけを録音することができます。

➡ **オーディオメニュー画面** P.166



1. 録音したい曲の再生中に、**オーディオメニュー**を選択する。
2. 録音開始を選択する。
▶再生中の曲が先頭に戻って再生され、録音が開始されます。

■ 最初の曲だけ録音する



CD の**録音設定**で**シングル録音**を選択していれば、CD の最初の曲だけを録音することができます。

➔ **オーディオメニュー画面** P.166

≫最初の曲だけ録音する

録音設定で**シングル録音**を選択している場合は、オーディオメニューで**録音開始**を選択しても録音はできません。

HDD サウンドコンテナの設定をする

AUDIO ボタン(HDD サウンドコンテナ再生中に)▶ **オーディオメニュー**▶ **機能設定**



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **検索**:さまざまな条件を指定して曲を検索することができます。
  曲を探す P.155
- **No Title リスト**:タイトル情報がない曲を登録するリストです。見つからなかったタイトル情報は、通信を利用して取得することができます。
  タイトル情報を取得する P.157
- **消去**:録音データを消去します。**GROUP**、**PLAYLIST**、**TRACK** タブのいずれかを選択し、消去したい項目を選択して、**消去する**を選択します。
- **HDD SoundContainer の全消去**:すべての音楽データを消去します。一度消去すると、元に戻せません。
- **タイトル編集**:プレイリスト、トラック、グループの名称を編集できます。また、プレイリストの所属グループの変更もできます。
  タイトルを編集する P.160
- **新規プレイリスト作成**:ユーザープレイリストを作成します。
  プレイリストを作成する P.162

HDD サウンドコンテナの設定をする

消去

- 「オリジナル」、「お気に入り／よく聴いた曲ベスト」、「USB メモリー」のグループは消去できません。
- 「USB メモリー」内のプレイリストおよびトラックは消去できません。
- プレイリストの種類によって消去される内容が異なります。
  – オリジナルプレイリスト
  ハードディスクから、曲そのものを消去します。
  – ユーザープレイリスト
  曲のデータは消去されず、プレイリストへの登録を解除します。

HDD SoundContainer の全消去

データ管理メニューの**HDD SoundContainer の全消去**を選択しても、同じ操作ができます。

本システム・USBメモリーのデータを管理する P.229

- **プレイリスト編集**:プレイリストへ曲を追加したり、プレイリストやプレイリスト内のトラックの再生順を編集したりします。
  ➡ **プレイリストを編集する** P.163
- **HDD SoundContainer 容量**:ハードディスクのうち、HDDサウンドコンテナで使用する部分の使用容量と空き容量をグラフ表示で見ることができます。

■ 曲を探す

AUDIO ボタン(HDD サウンドコンテナ再生中に)▶ **オーディオメニュー**▶ **機能設定** ▶ **検索**

HDD サウンドコンテナには、大量の曲が保存されているため、さまざまな条件での検索ができます。録音した時期、ジャンル、プレイリスト名、トラック名、アーティスト名などの条件を組み合わせて検索できます。



1. いずれかの項目を選択する。
2. 各検索条件を指定する。
▶さらに条件を追加したいときは、**手順 1** から **2** を繰り返します。
▶検索条件から外す項目は、「制限なし」のままにします。
3. **検索開始**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **録音した時期**:指定した期間内に録音された曲
- **ジャンル**:指定したジャンルの曲
- **プレイリスト名**:指定したプレイリスト名に該当するプレイリストの曲
- **トラック名**:指定した曲名に該当する曲

次ページに続く

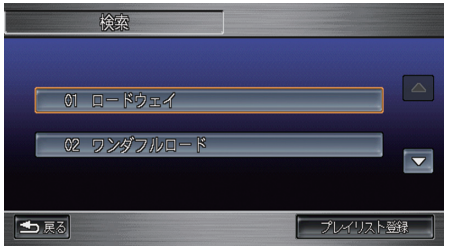
»HDD サウンドコンテナの設定をする

HDD SoundContainer 容量
グラフでは10%程度の空きがあっても、システム上保存できないことがあります。

»曲を探す

プレイリスト名、トラック名、アーティスト名
該当する項目が登録されていない曲はリストに表示されません。

- **アーティスト名**:指定したアーティスト名に該当するアーティストの曲
- **再生回数**:指定した回数だけ再生された曲
- **再生した時期**:指定した期間内に再生された曲



4. 聴きたい曲を選択する。

曲を探す

プレイリスト登録

検索された曲のリストを新しいユーザープレイリストとして登録できます。

1. 収録したいグループを選択する。

▶「オリジナル」、「お気に入り／よく聴いた曲ベスト」以外のグループがない場合は、自動的に日付名のグループが作成されます。

2. プレイリストのタイトルを入力する。

3. **入力完了**を選択する。

■ タイトル情報を取得する

音楽 CD 挿入時にタイトルが取得できなかった場合は、Gracenote データベースを利用してタイトル情報を取得することができます。
内蔵データベースからタイトル情報を取得します。取得できなかった場合は、通信で取得することができます。

■内蔵データベースから取得する

AUDIO ボタン(HDD サウンドコンテナ再生中に)▶ **オーディオメニュー**▶ **機能設定** ▶ **タイトル編集**



1. 「オリジナル」グループ内のプレイリストまたは曲を選択する。
2. **情報取得**を選択する。
   ▶内蔵データベースから取得したタイトル候補のリストが表示されます。

内蔵データベースから取得できたアルバム名



3. いずれかの項目を選択する。

次ページに続く

»タイトル情報を取得する

音楽 CD 挿入時にタイトル情報が取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」、アーティストは「No Name」と表示されます。

Gracenote から取得できる情報

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルの読み
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティストの読み
- トラックタイトル
- トラックタイトルの読み
- トラックのアーティスト
- ジャンル

タイトル情報を取得できるのは、オリジナルプレイリストのみです。ユーザープレイリストおよびユーザープレイリスト内のトラック編集画面からは、タイトル情報を取得できません。

以下の項目を選択できます。

- **（アルバム名）**:内蔵データベースから取得した情報を、タイトルとして登録します。
- **該当タイトルなし**:タイトルを登録しません。好みのタイトルを入力してください。

  タイトルを編集する P.160
- **通信で取得**:通信インターネットのGracenoteデータベースから情報を取得します。
- **No Title リストに登録する**:No Title リストに登録し、後でまとめてタイトル情報を取得します。

■通信機能で取得する

AUDIO ボタン(HDD サウンドコンテナ再生中に)▶ **オーディオメニュー**▶ **機能設定** ▶No Title リスト

「No Title リスト」に登録したプレイリストのタイトル情報を取得します。



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **(プレイリスト名)**:選択したプレイリストのタイトル情報を取得します。
- **通信で一括取得**:No Title リスト内のすべてのプレイリストのタイトル情報を取得します。

■USB メモリーから取得する

AUDIO ボタン(HDD サウンドコンテナ再生中に)▶ **オーディオメニュー**▶ **機能設定** ▶No Title リスト

1. **USB メモリーへ保存**を選択する。
   ▶No Title リストの情報が保存されます。
2. No Title リストの情報を保存した USB メモリーで、パーソナル・ホームページからタイトル情報を取得する。
3. **USB メモリーから取得**を選択する。
   ▶タイトル情報が本システムに読み込まれます。

通信機能で取得する 通信

ご利用には、通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。

➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7

タイトル情報が取得できたプレイリストは、「No Title リスト」から自動的に登録解除されます。

No Title リストからプレイリストを外すには、そのプレイリストを選択して**リストから消去**→**消去する**の順に選択します。

- No Title リストから登録解除されるだけで、曲のデータは消去されません。
- No Titleリストは一括解除できません。1件ずつ解除してください。

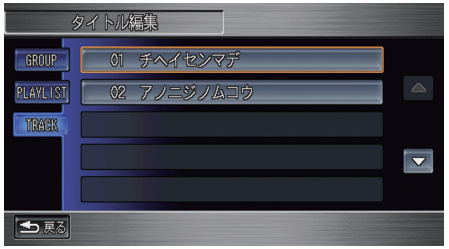
USB メモリーから取得する

あらかじめインターナビUSB コードに USB メモリーを接続しておく必要があります。

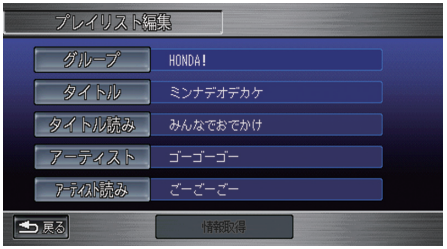
➡ **USB メモリーを接続する** P.228

■ タイトルを編集する

AUDIO ボタン(HDD サウンドコンテナ再生中に)▶ **オーディオメニュー**▶ **機能設定** ▶ **タイトル編集**



1. **PLAYLIST** タブを選択する。
   ▶他のグループ内のプレイリストを編集する場合は、**GROUP** タブを選択します。
2. 編集したいプレイリストを選択する。



3. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **グループ**:プレイリストを収録するグループを選択したグループに変更します。(ユーザープレイリストのみ)
- **タイトル**:プレイリストのタイトルを変更します。タイトルを入力後、**入力完了**を選択します。
- **タイトル読み**:プレイリストのタイトルの読みを変更します。読みを入力後、**入力完了**を選択します。

タイトルを編集する

TRACK タブを選択すると、トラックに関する以下の情報を編集できます。

- タイトル
- タイトル読み
- トラックアーティスト

グループ

収録しているグループのグループ名の変更もできます(作成したグループのみ)。**グループ名編集**を選択し、グループ名を入力して、**入力完了**を選択します。



- **アーティスト**:プレイリストのアーティスト名を変更します。**キーボード入力**を選択し、アーティスト名を入力して、**入力完了**を選択します。
- **アーティスト読み**:プレイリストのアーティストの読みを変更します。読みを入力して、**入力完了**を選択します。
- **ジャンル**:プレイリストのジャンルを変更します。(オリジナルプレイリストのみ)
- **情報取得**:Gracenoteデータベースを利用してタイトル情報を取得します。(オリジナルプレイリストのみ)

タイトル情報を取得する P.157

タイトルを編集する

アーティスト
すでに登録されているアーティスト名の場合は、リストから選択できます。

■ プレイリストを作成する

AUDIO ボタン(HDD サウンドコンテナ再生中に)▶ **オーディオメニュー**▶ **機能設定** ▶ **新規プレイリスト作成**



1. グループを選択する。
2. 新規プレイリストのタイトルを編集し、**入力完了**を選択する。



3. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **プレイリストから探す**:リスト画面から曲を指定してユーザープレイリストに追加します。追加したい曲を選択し、**決定**→**完了**の順に選択します。
- **条件を指定して探す**:さまざまな条件を設定して曲を検索し、設定条件に合った曲をユーザープレイリストに追加します。条件を設定して**検索開始**を選択し、検索結果のリストで**決定**→**完了**の順に選択します。

曲を探す P.155

プレイリストを作成する

ユーザープレイリストには、いろいろな音楽CDから録音した曲を追加できます。1つのプレイリストには、99 曲まで登録できます。

決定を選択したあと、曲の追加や削除、再生順の変更ができます。

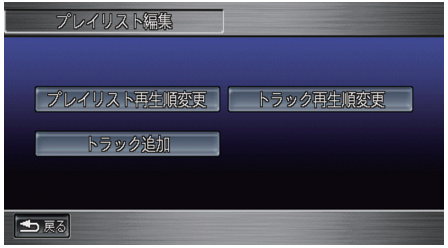
- **トラック追加**:さらに曲を追加します。
- **トラック消去**:曲の登録を解除します。
- **再生順変更**:プレイリスト内の曲の再生順を変更します。曲を選択し、ジョイスティックで移動先を指定して実行ボタンを押します。

条件を指定して探す

- 登録対象の曲は青色で表示されます。
- 検索結果のリストで曲を選択すると、登録対象から外すことができます。

■ プレイリストを編集する

AUDIO ボタン(HDD サウンドコンテナ再生中に)▶ **オーディオメニュー**▶ **機能設定** ▶ **プレイリスト編集**



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **プレイリスト再生順変更**:再生中グループにあるプレイリストの再生順を、表示順から変更します。
  - **録音の古いものから**:録音した時期の古い順に並び換えます。
  - **録音の新しいものから**:録音した時期の新しい順に並び換えます。
  - **プレイリスト名称順**:50 音順またはアルファベット順に並び換えます。選択するごとに、順序を切り換えます。
  - **移動**:プレイリストを選択し、ジョイスティックで移動先を指定して実行ボタンを押します。
- **トラック再生順変更**:再生中のプレイリストにある曲の再生順を変更します。曲を選択し、ジョイスティックで移動先を指定して実行ボタンを押します。
- **トラック追加**:再生中のプレイリストに曲を追加します。

プレイリストを作成する P.162

プレイリストを編集する

オリジナルプレイリストは編集できません。

「お気に入り／よく聴いた曲ベスト」グループ内の「よく聴いた曲ベスト」プレイリストは、曲の追加および再生順の変更はできません。

グループ再生順の変更

通常、グループは作成順に再生されます。以下の手順でその順序を変更できます。

1. **プレイリスト再生順変更**を選択する。
2. **GROUP** タブを選択する。
3. **グループ再生順変更**を選択する。
4. **移動**を選択する。
5. 順番を変更したいグループを選択する。
6. ジョイスティックで移動先を指定して、実行ボタンを押す。

元の順番に戻すときは、**手順 4** で**標準**を選択します。

音楽ディスクを聴く

1. SOURCE ボタンを押す。
2. **DISC** を選択する。
3. ⏏(イジェクト)ボタンを押す。
4. ディスク挿入口にディスクを差し込む。
▶ディスクが自動的に再生されます。
5. リストスイッチまたは ⏮**TRACK**⏭ で選択する。
▶画面に、トラック番号と再生時間が表示されます。曲名は、CD では内蔵の Gracenote® データベースからの情報が、MP3/ WMA ディスクでは、ID3 Tag/WMA タグのタイトル情報が表示されます。

音楽ディスクを聴く

「*シーディー*」

音声で操作することもできます。
音声コマンド P.302

オーディオ／ビジュアルの操作については、クイックガイドもご覧ください。
各部のなまえ P.4
オーディオ／ビジュアルの操作 P.14

粘着性のレーベルが付いたディスクは使用しないでください。ディスクが詰まるおそれがあります。

著作権が保護された(DRM)WMA ファイルは再生できません。

何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。
DVD、CD、MP3、WMA P.271

ディスクが排出されたままの状態で数秒経つと、自動的に内部に引き込まれます。

音楽 CD はディスクの判別や録音準備を行うため、再生するまでに時間がかかります。

CD-RW ディスクはディスクを挿入してから再生がはじまるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。

操作画面

AUDIO ボタン（ディスク再生中に）

ディスクモード



リストスイッチ

聴きたい曲を選択する。

▶MP3/WMA ディスクを再生している場合は、[●]、[▭]タブを選択すると、リストの表示内容を切り換えることができます。

以下の項目を選択できます。

- **HOME**:再生中の曲のリスト表示に戻ります。
- **音質調整**:音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調節する設定を行います。

  音質を調整する P.184
- **◀FOLDER▶**:前後のフォルダの最初の曲を再生します。(MP3/WMA ディスクのみ)
- **⏮TRACK⏭**:前後の曲を再生します。選択し続けると、再生中の曲を早送り／早戻しします。
- **オーディオメニュー**:オーディオメニューを表示します。

  オーディオメニュー画面 P.166

操作画面

走行中はリストスイッチの内容は表示されません。

本システムは内蔵データベースからタイトルを取得し、表示します。複数のタイトル情報を取得した場合は、最も正しいと思われる 1 件が自動的に選択されます。

内蔵データベースからタイトル情報が取得できなかった場合は、以下のように表示されます。

- CD:タイトルは「No Title」、アーティストは「No Name」と表示します。
- MP3/WMA ディスク:フォルダ名とファイル名をリスト上部に表示します。アーティストは表示されません。

録音中の場合は、HDDサウンドコンテナに録音されたデータを再生します。録音が終了すると、自動的に CD からの再生に切り換わります。

オーディオメニュー画面

AUDIO ボタン（ディスク再生中に）▶ **オーディオメニュー**

いずれかの項目を選択する。



以下の項目を選択できます。

- **REPEAT**:曲を繰り返して再生します。
  1:再生中の曲を繰り返して再生します。
  :再生中のフォルダの曲を繰り返して再生します。(MP3/WMAディスクのみ)
- **SCAN**:曲を 10 秒間ずつ再生します。聴きたい曲の再生中に実行ボタンを押すと、その曲が通常再生されます。スキャンは、スキャン開始時の曲まで戻ると自動的に解除されます。
  SCAN:再生中のディスクまたはフォルダにあるすべての曲を、約10秒間ずつ再生します。
  SCAN:全フォルダの最初の曲を、約 10 秒間ずつ再生します。(MP3/WMAディスクのみ)
- **RANDOM**:曲を順不同に再生します。
  :再生中のフォルダにあるすべての曲を順不同に再生します。(MP3/WMA ディスクのみ)
  :ディスク内のすべての曲を順不同に再生します。

オーディオメニュー画面

リピート、スキャン中に ◀FOLDER▶ または ⏮TRACK⏭ を選択すると、リピート、スキャンは解除されます。

ランダム中に ◀FOLDER▶ を選択すると、ランダムは解除されます。

- **録音設定**:HDD サウンドコンテナへの録音方法を設定できます。(音楽 CD のみ)
  - **自動録音**(初期値):CD を再生すると、自動的に全曲を録音します。
  - **手動録音**:CD 再生中に、録音したい曲だけを手動で録音します。
  - **シングル録音**:再生した CD の最初の曲を録音します。
- **録音開始**/**録音停止**:手動録音を開始または録音を停止します。(音楽 CD のみ)

➔ **手動で録音する** P.152
➔ **録音を停止する** P.152

DVD ビデオを観る

1. SOURCE ボタンを押す。
2. DISC を選択する。
3. ⏏(イジェクト)ボタンを押す。
4. ディスク挿入口にディスクを差し込む。
▶ディスクが自動的に再生されます。
▶画面にタイトル番号やチャプター番号が表示されます。

»DVD ビデオを観る

「*ディーブイディービデオ*」

音声で操作することもできます。
➔ **音声コマンド** P.302

オーディオ／ビジュアルの操作については、クイックガイドもご覧ください。
➔ **各部のなまえ** P.4
➔ **オーディオ／ビジュアルの操作** P.14

安全上の配慮から、DVD ビデオは停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、パーキングブレーキをかけずに停車しているときなどは、映像は映らずに音声だけがきこえます。

粘着性のレーベルが付いたディスクは使用しないでください。ディスクが詰まるおそれがあります。

何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。
➔ **DVD、CD、MP3、WMA** P.271

ディスクが排出されたままの状態で数秒経つと、自動的に内部に引き込まれます。

操作画面

AUDIO ボタン（DVD ディスク再生中に）

■DVD ビデオモード





以下の項目を選択できます。

- **トップメニュー**:トップメニューを表示します。
- **メニュー**:メニューを表示します。
- **音声／字幕**:音声／字幕メニューを表示します。

音声や字幕を変更する P.173

1. 画面に触れる。
   ▶DVD の操作画面が表示されます。
2. いずれかの項目を選択する。

次ページに続く

操作画面

DVD ビデオと DVD-VR

ビデオモードで記録されたディスクを DVD ビデオ、VR モードで記録されたディスクを DVD-VR と記載しています。

DVD-VR モード P.171

ディスクによっては、ディスクに記録されたメニュー画面を表示するものがあります。ディスクメニューが表示された場合は、ジョイスティックを動かして項目を選び、実行ボタンを押してください。

dts 音声は再生されませんので、それ以外の音声を選択してください。

以下のようなときは🚫マークが表示されます。

- ディスクメニューがない場合
- ディスクメニューが場面によって表示できない場合
- DVD ビデオ側の規制で早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合

以下のマークで現在の状態を表します。

- ▶:再生中
- ⏸:一時停止中
- ▶▶:早送り中
- ◀◀:早戻し中
- ▶ 1/2:スロー再生中

- **アングル**:アングルの切り換えメニューを表示します。[−] または [+] を選択してアングルを指定し、**設定完了**を選択します。
- **戻る**:ディスク側で設定した特定のポイントに戻って再生します。
- **再生**:ディスクを再生します。停止中のディスクを再生する場合、[▶]が点滅しているときは停止中の箇所から続けて再生され、[■]が表示されているときは、ディスクの最初から再生されます。
- **一時停止**:再生を一時停止します。
- **停止**:再生を停止します。停止後は、黒画面に切り換わります。
- **スロー**:選択するごとに再生速度が 1/2 → 1/8 → 1/32 → 1/2･･･と切り換わります。
- **数字入力**:数字を入力して、入力した数字に該当するチャプターの再生やメニュー項目の選択を行います。(行われる操作はディスクによって異なります。)
  数字を入力する P.172
- **音質調整**:音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調節する設定を行います。
  音質を調整する P.184
- [◀TITLE▶]:前後のタイトルを再生します。
- [⏮CHAPTER⏭]:前後のチャプターを再生します。選択し続けると、再生中のチャプターを早送り／早戻しします。
- **オーディオメニュー**:オーディオメニューを表示します。
  オーディオメニュー画面 P.174
- **初期設定**:DVDビデオ再生についての初期設定を行います。(停止中の画面でのみ表示されます。)
  DVD ビデオの設定 P.175

- **サーチ**:タイトル・チャプターを直接指定して再生します。(停止中の画面でのみ表示されます。)
  ➔ **サーチする** P.173
- **ワイド切換**:画面の表示比率を切り換えます。(停止中の画面でのみ表示されます。)
  ➔ **オーディオメニュー画面** P.174

■DVD-VR モード

再生順





いずれかの項目を選択する。

次ページに続く

以下の項目を選択できます。

- **再生順切換**:再生順を切り換えます。
  PG:プログラム順で再生します。
  PL:プレイリスト順で再生します。
- **タイトルリスト**:再生順に応じて、プログラムまたはプレイリストの一覧を表示します。再生したいメニューを選択すると、選択されたメニューの再生が始まります。
- **主副切換**:主音声／副音声メニューを表示します。− または ＋ を選択してお好みの音声を指定し、**設定完了**を選択します。
- **コマ送り**:静止画像を再生中に、静止画像を切り換えます。

その他の項目は、DVD ビデオモードの操作画面と同様です。

■数字を入力する



1. 入力したい数字を選択する。
2. **決定**を選択する。

数字を入力する

修正を選択すると、入力した数字を削除します。

テンキー移動を選択すると、テンキーの位置が左右逆側に移動します。

■音声や字幕を変更する



1. 各項目の＋、－を選択して変更する。
2. **設定完了**を選択する。

■サーチする



1. 各項目の＋、－を選択して変更する。
2. **設定完了**を選択する。

»サーチする

DVD ディスクの再生停止中は、チャプターのサーチはできません。

オーディオメニュー画面

AUDIO ボタン（DVD ディスク再生中に）▶ **オーディオメニュー**

プレイモード　　いずれかの項目を選択する。



以下の項目を選択できます。

- **REPEAT**:タイトル・チャプターを繰り返して再生します。(DVD-VR のみ)
  :再生中のチャプターを繰り返して再生します。
  :再生中のタイトルを繰り返して再生します。
- **サーチ**:タイトル・チャプターを直接指定して再生します。
  サーチする P.173
- **ワイド切換**:画面の表示比率を、**ノーマル**、**ワイド**、**フル**、**ズーム**から選択します。表示比率を選択し、**設定完了**を選択します。
  - **ノーマル**：画像が 4：3 の比率で表示されます。両端に黒い帯が付きます。
  - **ワイド**：中心部はそのままで、端部が外方向に引き延ばされて表示されます。
  - **フル**：画像が画面全体に表示されます。
  - **ズーム**：画像が上下左右方向に引き延ばされて表示されます。

オーディオメニュー画面

ノーマル

- 元の画像が 4:3 の場合は、元の比率のままで表示されます。
- 元の画像が 16:9 の場合は、水平方向に圧縮されます。

ワイド

元の画像が 16:9 の場合は、中心部は中心方向に圧縮され、端部は引き延ばされて表示されます。

フル

元の画像が 4:3 の場合は、画面全体が引き延ばされて表示されます。

ズーム

- 元の画像が 4:3 の場合は、上下の画像が切れて表示されます。
- 元の画像が 16:9 の場合は、上下左右の画像が切れて表示されます。

DVD ビデオの設定

AUDIO ボタン（DVD ディスク停止中に）▶ **初期設定**

あらかじめ字幕や音声の言語を設定することができます。ディスクを再生するたびに設定を変える必要がなくなります。



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **メニュー言語**：メニュー表示に使用される言語を選択します。（初期値：**日本語**）
- **音声言語**：音声に使用される言語を選択します。（初期値：**日本語**）
- **字幕言語**：字幕に使用される言語を選択します。（初期値：**日本語**）
- **アングルマーク表示**：マルチアングルの場面を再生しているときにアングルマークを表示します。（初期値：**する**）
- **音声圧縮**：小さい音と大きい音の幅を一定に制御して、小さな音や大きな音でも聴きやすくします。（初期値：**する**）
- **視聴制限**：視聴制限を設定します。（初期値：**レベル 8**）

視聴制限のレベルを変更する P.176

DVD ビデオの設定

初期値にする

視聴制限以外の項目を初期値に戻します。

メニュー言語、音声言語、字幕言語

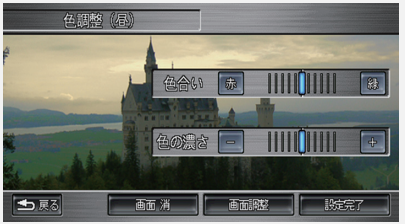
- 選択した言語がディスクに記録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。
- **その他**を選択した場合は、4 桁の言語コードを入力します。

言語コード一覧 P.317

音声圧縮

効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声のみです。

視聴中に画面ボタンを押し、**色調整**を選択すると、画面の色合いや色の濃さの調節ができます。各項目の**赤**、**緑**または −、+ を選択して調整し、**設定完了**を選択します。色の調整は、テレビ、DVD ビデオ、ビデオごとに設定できます。



■ 視聴制限のレベルを変更する

AUDIO ボタン（DVD ディスク停止中に）▶ **初期設定** ▶ **視聴制限**

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むディスクに視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)



1. 4 桁のパスワードを入力し、**入力完了**を選択する。



2. いずれかの項目を選択し、**設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **レベル 1**:子供向けディスクのみ再生します。
- **レベル 2 ～ 7**:子供向けディスク、一般向けディスクを再生します。成人向けディスクは再生できません。
- **レベル 8**:すべてのディスクを再生します。

視聴制限のレベルを変更する

初回は、4 桁のパスワードを入力して**入力完了**を選択した後、確認のために再度同じパスワードを入力して**入力完了**を選択してください。

視聴レベルはディスクに記録されていますので、パッケージなどをご確認ください。視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。

ディスクによっては、ディスク全体ではなく、シーンのみに視聴制限がかかっています。その場合は、視聴制限のあるシーンのみ飛ばして再生されます。

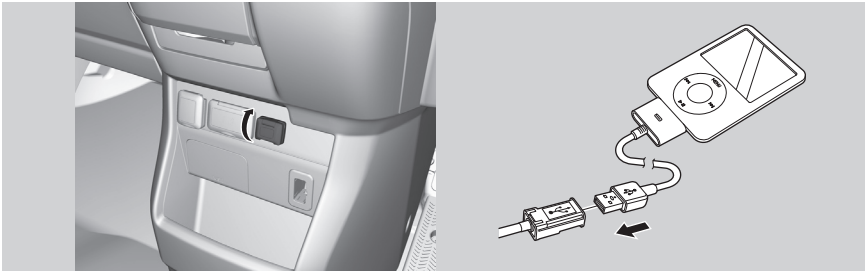
パスワード変更

パスワードの変更ができます。

1. 現在のパスワードを入力し、**入力完了**を選択する。
2. 新しいパスワードを入力し、**入力完了**を選択する。
3. 確認のために再度新しいパスワードを入力し、**設定完了**を選択する。

パスワードを忘れた場合は、パスワード入力画面で**修正**を 5 回続けて選択し、新しいパスワードを設定してください。

■ iPod を接続する



1. エンジンスイッチが「0」のときにUSBジャックのカバーを開き、USBジャックコードを「カチッ」と音がするまで差し込む。
2. iPod の USB コネクターを、USB ジャックコードに接続する。
3. SOURCE ボタンを押す。
4. iPod を選択する。
▶iPod が自動的に再生されます。

■ 対応モデル

モデル名
iPod（第 5 世代）
iPod classic 80GB/160GB（2007 年発売）
iPod classic 120GB（2008 年発売）
iPod nano
iPod touch

iPod を聴く

- USB 延長ケーブルは使用しないでください。
- USB ハブを使用して iPod を接続しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。
- データ破損の恐れがあるため、ファイルのバックアップをお勧めします。
- 操作できる機能や表示されるメッセージは、iPod のモデルやソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。

音声で操作することもできます。
➡ **音声コマンド** P.302

オーディオ／ビジュアルの操作については、クイックガイドもご覧ください。
➡ **各部のなまえ** P.4
➡ **オーディオ／ビジュアルの操作** P.14

何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。
➡ **USB デバイス／ iPod** P.272

iPodを接続しても認識されない場合は、iPodを接続し直してください。
➡ **オーディオ／ビジュアル** P.260

iPod の音楽再生以外の機能は、本システムでは対応していません。

操作画面

AUDIO ボタン（iPod 再生中に）



聴きたい曲を選択する。

▶メニュータブを選択すると、曲を検索できます。

曲を探す P.179

以下の項目を選択できます。

- **HOME**:再生中の曲のリスト表示に戻ります。
- **音質調整**:音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調節する設定を行います。

  音質を調整する P.184
- ⏮TRACK⏭:前後の曲を再生します。選択し続けると、再生中の曲を早送り／早戻しします。
- **オーディオメニュー**:オーディオメニューを表示します。

  オーディオメニュー画面 P.180

操作画面

「*iPod*」

走行中はリストスイッチの内容は表示されません。

曲を探す

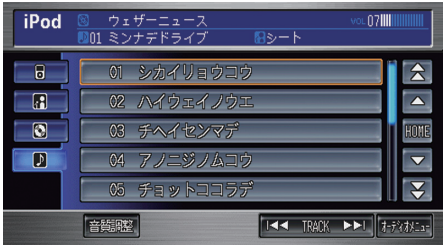
AUDIO ボタン（iPod 再生中に）



1. メニュータブを選択する。



2. カテゴリを選択する。



3. 聴きたい曲を選択する。
▶選択した曲を再生します。

曲を探す

ALL を選択して表示されるリストの順番は iPod のモデルやソフトウェアによって異なります。

タブは現在選択中の階層を表します。上の階層に戻りたい場合は、その階層のタブを選択します。

- :メニュー
- :プレイリスト
- :アーティスト
- :アルバム

オーディオメニュー画面

AUDIO ボタン（iPod 再生中に）▶ **オーディオメニュー**

プレイモード



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **REPEAT**:曲を繰り返して再生します。
  :再生中の曲を繰り返して再生します。
- **SHUFFLE**:曲を順不同に再生します。
  :再生中の階層内にあるすべての曲を順不同で再生します。
  :再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。

■ USB デバイスを接続する



1. エンジンスイッチが「0」のときにUSBジャックのカバーを開き、USBジャックコードを「カチッ」と音がするまで差し込む。
2. USB デバイスを USB ジャックコードに接続する。
3. SOURCE ボタンを押す。
4. **USB メモリー**を選択する。
▶USB デバイスが自動的に再生されます。

■ 使用できる USB デバイス

- 256MB 以上の推奨される USB デバイスを使用してください。
- 一部のデジタルオーディオプレイヤーや USB デバイス（例えば、セキュリティロック機能を持つもの）は、本システムでご利用になれない場合があります。
- 一部のソフトウェアのファイルは、オーディオの再生やテキストデータの表示ができない場合があります。
- MP3/WMA/AAC のバージョンによっては、再生できない場合があります。

USB デバイスを聴く

- USB 延長ケーブルは使用しないでください。
- USB ハブを使用して USB デバイスを接続しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。
- データ破損の恐れがあるため、ファイルのバックアップをお勧めします。

音声で操作することもできます。
➡ **音声コマンド** P.302

オーディオ／ビジュアルの操作については、クイックガイドもご覧ください。
➡ **各部のなまえ** P.4
➡ **オーディオ／ビジュアルの操作** P.14

何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。
➡ **USB デバイス／ iPod** P.272

USB デバイス内にある MP3、WMA、AAC などのデジタル音楽トラックは HDD サウンドコンテナへ録音することはできません。同様に、HDD サウンドコンテナに録音されたデジタル音楽トラックを USB デバイスへコピーすることはできません。

操作画面

AUDIO ボタン（USB デバイス再生中に）

USB デバイスモード



リストスイッチ

聴きたい曲を選択する。

▶、タブを選択すると、リストの表示内容を切り換えることができます。

以下の項目を選択できます。

- **HOME**:再生中の曲のリスト表示に戻ります。
- **音質調整**:音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調節する設定を行います。
  音質を調整する P.184
- **◀FOLDER▶**:前後のフォルダの最初の曲を再生します。
- **⏮TRACK⏭**:前後の曲を再生します。選択し続けると、再生中の曲を早送り／早戻しします。
- **オーディオメニュー**:オーディオメニューを表示します。
  オーディオメニュー画面 P.183

操作画面

「*USB メモリー*」

走行中はリストスイッチの内容は表示されません。

タイトル情報を取得できなかった場合は、フォルダ名とファイル名をリスト上部に表示します。アーティストは表示されません。

USB デバイス内の曲は、記録された順番で再生されます。再生される順番はパソコン上や USB デバイス上で見える順番と異なる場合があります。

以下のファイルが再生されると「再生できませんでした」と表示して、次のファイルへスキップします。

- DRM で保護された WMA ファイル
- サポートされていないフォーマットのファイル

USB デバイス内が複数のパーティションに分けられている場合は、先頭のパーティションのみ再生できます。

オーディオメニュー画面

AUDIO ボタン（USB デバイス再生中に）▶ **オーディオメニュー**

プレイモード



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **REPEAT**：曲を繰り返して再生します。
  - 1 リピート：再生中の曲を繰り返して再生します。
  - フォルダリピート：再生中のフォルダの曲を繰り返して再生します。
- **SCAN**：曲を 10 秒間ずつ再生します。聴きたい曲の再生中に実行ボタンを押すと、その曲が通常再生されます。スキャン再生は、スキャン開始時の曲まで戻ると自動的に解除されます。
  - SCAN：再生中のフォルダにあるすべての曲を、約 10 秒間ずつ再生します。
  - フォルダ SCAN：全フォルダの最初の曲を、約 10 秒間ずつ再生します。
- **RANDOM**：曲を順不同に再生します。
  - フォルダランダム：再生中のフォルダにあるすべての曲を順不同に再生します。
  - ランダム：全フォルダのすべての曲を順不同に再生します。

オーディオメニュー画面

リピート中に以下のタッチキーを選択すると、リピートは解除されます。

- トラックリピート（1 リピート）：◀FOLDER▶ または ⏮TRACK⏭
- フォルダリピート（フォルダリピート）：◀FOLDER▶

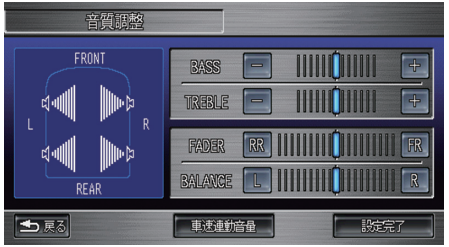
スキャン（トラックスキャン（SCAN）、フォルダスキャン（フォルダ SCAN））中に ◀FOLDER▶ または ⏮TRACK⏭ を選択すると、スキャンは解除されます。

ランダム（トラックランダム（フォルダランダム）、フォルダランダム（ランダム））中に ◀FOLDER▶ を選択すると、ランダムは解除されます。

音質を調整する

AUDIO ボタン ▶ **音質調整**

BASS、TREBLE、FADER、BALANCE を調整します。また、車速連動音量の設定も行います。



各項目のレベルを調節し、**設定完了**を選択する。

音質を調整する

「*車速連動音量*」

車速連動音量

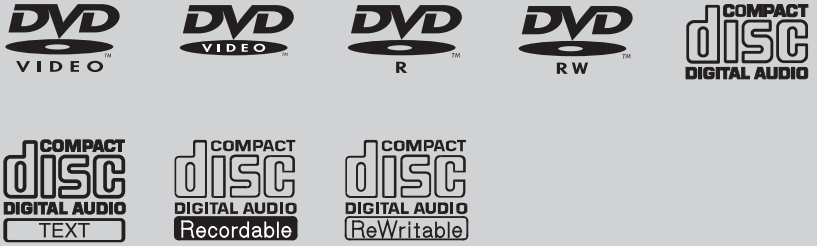
車の速度が上がると自動的に音量が上がるように設定します。以下の項目が選択できます。

- **OFF**:機能を解除します。
- **LO**:車速に応じた音量変化を小さくします。
- **MID**(初期値):**LO** と **HI** の中間です。
- **HI**:車速に応じた音量変化を大きくします。

使用できるディスク

- 高品質の音楽用 CD-R/CD-RW ディスクを使用してください。
- ファイナライズされた CD-R/CD-RW ディスクを使用してください。
- 通常の円形のディスクのみ再生可能です。
- NTSC 方式で記録された DVD ディスクを使用してください。
- 適切なリージョンコードのDVDディスク（“2”または“ALL”）を使用してください。
- 規格に準拠した DVD-R/RW ディスクを使用してください。
- DVD-R/RW に記録された MP3/WMA/AAC は再生できません。

本システムで使用できるディスクのレーベル面、パッケージ、またはジャケットには、以下のマークのどれかが付いています。



使用できるディスク

DTS CD（5.1ch Music Disc）、デュアルディスクは、再生できません。ある条件下で書き込みされたCD-R/RWも再生できないことがあります。

本システムは、CPRM に対応しています。

音楽用 CD レコーダー以外で録音した CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。音楽用 CD レコーダーで録音した CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れなどにより再生できない場合があります。

DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。また、Mixed Mode CD や CD-Extra などの音楽／データ混在ディスクの場合は、音楽 CD として再生できないことがあります。

次ページに続く

■HDD サウンドコンテナへの録音

- 音楽 CD のみが HDD サウンドコンテナへ録音可能です。
- CD-RまたはDVD-R内にあるMP3、WMA、AACなどのデジタル音楽トラックは HDD サウンドコンテナへ録音することはできません。同様に、HDD サウンドコンテナに録音されたデジタル音楽トラックを CD-R や DVD-R へコピーすることはできません。

■MP3/WMA ディスク

- 一部のソフトウェアのファイルは、オーディオの再生やテキストデータの表示ができない場合があります。
- MP3/WMAのバージョンによっては、再生できない場合があります。再生できない曲が見つかった場合は、「再生できませんでした」と表示して、次の曲へスキップします。

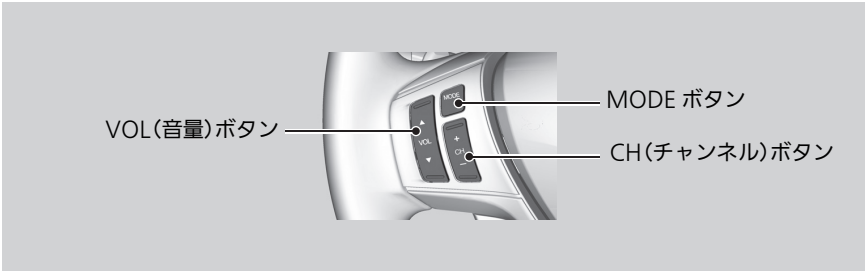
HDD サウンドコンテナへの録音

お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

著作権保護のため、法人登録車ではHDDサウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

オーディオリモートコントロールスイッチ

ステアリングホイールに付いているスイッチで、オーディオ／ビジュアルの基本的な操作を行うことができます。



■ MODE ボタン

再生ソースを切り換えます。

■ VOL(音量)ボタン

音量を調整します。

- ▲(音量)ボタンを押すと、音量が大きくなります。
- ▼(音量)ボタンを押すと、音量が小さくなります。

MODE ボタン

ボタンを押すごとに、再生可能なソースが順に切り換わります。
FM1>FM2>AM>DISC>HDD>USB/iPod>TV1>TV2> ビデオ >FM1…

■ CH(チャンネル)ボタン

- FM/AM、テレビ視聴時
  +(チャンネル)ボタンを押すと、プリセットされている次の放送局、またはチャンネルを選局します。
  −(チャンネル)ボタンを押すと、プリセットされている前の放送局、またはチャンネルを選局します。
- CD、HDD サウンドコンテナ、iPod、USB デバイス再生時
  +(チャンネル)ボタンを押すと、次の曲にスキップします。
  −(チャンネル)ボタンを押すと、曲を最初から再生します。もう一度 −(チャンネル)ボタンを押すと、前の曲に戻ります。
- DVD 再生時
  +(チャンネル)ボタンを押すと、次のチャプターにスキップします。
  −(チャンネル)ボタンを押すと、チャプターを最初から再生します。もう一度 −(チャンネル)ボタンを押すと、前のチャプターに戻ります。



ハンズフリーテレホン

この章では、お使いの携帯電話を本システムで操作する方法について記載しています。
本システムを使用すると、携帯電話を操作することなく電話の発着信ができます。

携帯電話を使う 190
Bluetooth で接続する 191
ケーブルで接続する 196
アドレス帳に読み込む 197
アドレス帳に追加する 198
ワンタッチダイヤルを登録する 199
電話の設定をする 200
電話をかける 202
困ったときの連絡先 205
電話を受ける 207
接続先を設定する 208

メニューボタン ▶ **電話**



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **ワンタッチダイヤル #(#:1 ～ 5)**:ワンタッチダイヤルに電話をかけます。
  ➡ **ワンタッチダイヤルを登録する** P.199
- **QQ コール**:QQ コールに電話をかけます。
  ➡ **QQ コール** P.205
- **ダイレクト発信**:電話番号を直接入力して電話をかけます。
  ➡ **電話番号を入れてかける** P.203
- **電話帳**:本システムに登録された電話帳から電話をかけます。
  ➡ **電話帳からかける** P.202
- **発信着信履歴**:過去の発着信履歴から電話をかけます。
  ➡ **履歴からかける** P.203
- **ロードサービス**:ロードサービスに電話をかけます。
  ➡ **ロードサービス** P.206
- **緊急連絡先**:ディーラーや保険会社、ロードサービスに電話をかけます。
  ➡ **緊急連絡先** P.206
- **通信／電話設定**:携帯電話の接続設定を行います。
  ➡ **電話の設定をする** P.200

携帯電話を使う

「*電話をかける*」

ハンドルの (オフフック)ボタンを押しても、電話画面を表示することができます。

QQ コールは有料サービスです。ご利用には、Honda 販売店での申し込みと本システムの設定が必要です。
詳しくは、Honda販売店にお問い合わせいただくか、インターナビのホームページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/internavi/

携帯電話が接続されていない場合には、画面にQQ コールの電話番号と現在地のマップコードを表示します。お近くの電話から QQ コールに電話をかけ、マップコードをお伝えください。

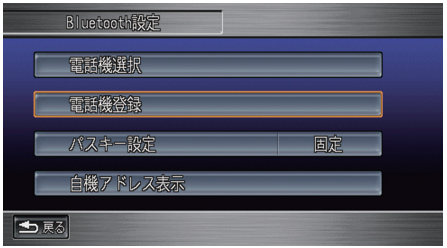
ハンズフリーについて

- ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい環境下での通話など、使用条件によっては通話しづらい場合があります。また、話しかたによっては相手先に声が伝わりにくい場合や、相手の声がきこえにくい場合があります。
- 通話時は、大きめの声ではっきりとお話しください。
- 通話中はボイスコマンドが使用できません。
- 通話中は窓を閉めてください。

Bluetooth で接続する

■携帯電話をペアリングする

メニューボタン ▶ 電話 ▶ 通信／電話設定 ▶ 電話接続設定 ▶ Bluetooth 設定



1. 電話機登録を選択する。
▶あらかじめ、携帯電話をサーチ状態にしておいてください。詳しくは、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

次ページに続く

»Bluetooth で接続する

Bluetooth でハンズフリー機能を使用するためには、対応の携帯電話が必要です。詳しくはインターナビのホームページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/internavi/

Bluetooth 接続でハンズフリーテレホンでの通話を行うためには、携帯電話を本システムにペアリングする必要があります。

Bluetooth 接続で使用する携帯電話は、5 台まで登録できます。

設定メニューからも操作できます。メニューボタンを押し、**設定→通信／電話設定→電話接続設定→ Bluetooth 設定**の順に選択します。

この操作は最初の 1 回だけです。以降は登録した Bluetooth 携帯電話を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。

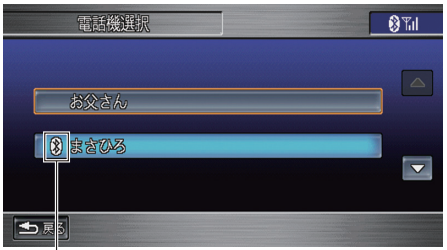


2. 画面に表示されたパスキーをお手持ちの携帯電話に設定する。
▶携帯電話の登録および Bluetooth 接続が完了します。

■ 別の電話機を選択する

メニューボタン ▶ **電話** ▶ **通信／電話設定** ▶ **電話接続設定** ▶ Bluetooth 設定 ▶ **電話機選択**

複数の携帯電話を登録している場合の操作です。



接続中の携帯電話

使用する携帯電話を選択し、**決定**を選択する。
▶接続する携帯電話の選択が完了します。Bluetooth 接続が完了するまでは時間がかかることがあります。

Bluetooth で接続する

ペアリングのポイント

- 携帯電話の収納場所、距離によっては、通信速度が低下する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所（ナビゲーション本体の周辺など）に置くことをお勧めします。
- 走行中はペアリングの操作はできません。
- 接続中は、携帯電話の電池の消耗が早まることがあります。
- 携帯電話がサーチ状態になっていない場合、または本システムに認識されずに 3 分が経過した場合は、本システムは接続待機の状態に戻ります。
- パスキーは、変更するまで初期設定の「1212」のままです。

パスキーは変更できます。
パスキーを変更する P.193

Bluetooth 接続が完了すると、マークが画面の右上（地図画面では左下）に表示されます。このマークは、本システムと Bluetooth 対応の携帯電話との接続状況を示すもので、電話回線の接続状況を示したものではありません。

登録した電話は消去できます。
登録した電話を消去する P.195

■パスキーを変更する

メニューボタン ▶ 電話 ▶ 通信／電話設定 ▶ 電話接続設定 ▶ Bluetooth 設定 ▶ パスキー設定



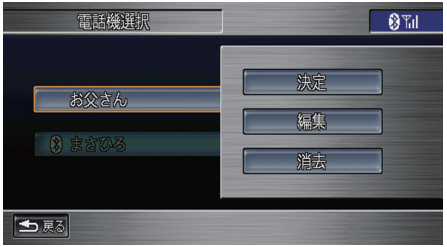
1. **固定**を選択する。
2. お好みの数字 4 桁を入力し、**完了**を選択する。

パスキーを変更する

ランダム
携帯電話を登録するたびにパスキーを自動生成します。

■ 電話機の名称を変更する

メニューボタン ▶ 電話 ▶ 通信／電話設定 ▶ 電話接続設定 ▶ Bluetooth 設定 ▶ 電話機選択



1. 携帯電話を選択し、**編集**を選択する。
2. **機器名称**を選択する。



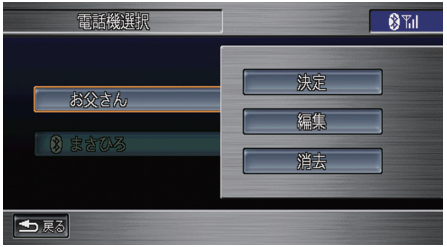
3. 携帯電話の名称を入力し、**入力完了**を選択する。
4. **設定完了**を選択する。

電話機の名称を変更する

名称は全角で 6 文字(半角 12 文字)まで入力できます。

■ 登録した電話を消去する

メニューボタン ▶ 電話 ▶ 通信／電話設定 ▶ 電話接続設定 ▶ Bluetooth 設定 ▶ 電話機選択



1. 携帯電話を選択する。
2. **消去**を選択する。

登録した電話を消去する

接続中の携帯電話を消去する場合は、**電話機の接続**を**ケーブル**にしてから消去してください。
➡ **接続の設定をする** P.201

■ インターナビシステムのアドレスを確認する

メニューボタン ▶ 電話 ▶ 通信／電話設定 ▶ 電話接続設定 ▶ Bluetooth 設定 ▶ 自機アドレス表示



機器名称および機器アドレスを確認する。

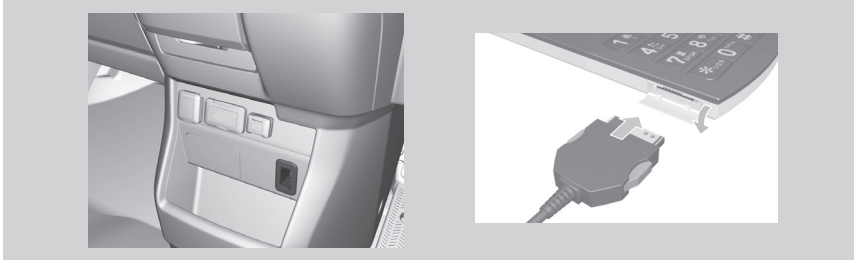
インターナビシステムのアドレスを確認する

名称は全角で 6 文字(半角 12 文字)まで入力できます。

機器名称
本システムの機器名称を変更できます。

ケーブルで接続する

別売りのインターナビ・ハンズフリーTEL コードで、携帯電話を本システムに接続します。



1. エンジンスイッチを「0」にする。
2. 携帯電話接続端子とインターナビ・ハンズフリーTEL コードを接続する。
3. 携帯電話のダイヤルロック、オートロックを解除する。
4. 携帯電話の接続端子カバーを外し、インターナビ・ハンズフリーTEL コードを「カチッ」と音がするまで押し込む 。

ケーブルで接続する

- インターナビ・ハンズフリーTEL コードを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- インターナビ・ハンズフリーTEL コードは携帯電話を使用していないときに抜き差ししてください。
- インターナビ・ハンズフリーTEL コードからは、携帯電話用の電源は供給されません。

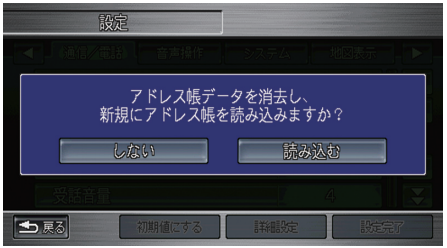
電話機の接続が **Bluetooth** に設定されているとケーブルでの接続が有効になりません。

接続の設定をする P.201

アドレス帳に読み込む

メニューボタン ▶ **電話** ▶ **通信／電話設定** ▶ **アドレス帳読み込み**

携帯電話に登録されている電話番号を、本システムのアドレス帳に最大 1000 件まで読み込むことができます。この方法では、現在のアドレス帳のデータがすべて消去され、携帯電話のデータが読み込まれます。



1. **読み込む**を選択する。
2. 画面に従って操作する。
   ▶携帯電話から本システムにデータが転送されます。

アドレス帳に読み込む

設定メニューからも操作できます。メニューボタンを押し、**設定→通信／電話設定→電話接続設定→ Bluetooth 設定**の順に選択します。

読み込み中に**中止**を選択すると、読み込みを中止します。

一度読み込みを完了したアドレス帳は、アドレス帳読み込みで新しく読み込むまで保持されます。

携帯電話の機種によっては、以下のようなことがあります。
- 電話番号を 1000 件まで読み込めない
- 読み込んだ登録名称が正しく表示できない

名前が入力されていないデータや携帯電話側でシークレット設定されているデータは、読み込まれません。

アドレス帳に追加する

メニューボタン ▶ **電話** ▶ **通信／電話設定**

携帯電話に登録されている電話番号を、本システムのアドレス帳に追加することができます。現在のアドレス帳のデータは消去されません。



1. **アドレス帳追加**を選択する。
2. 画面に従って操作する。
   ▶携帯電話から本システムにデータが転送されます。

アドレス帳に追加する

アドレスがすでに1000件登録されている場合は、追加できません。

設定メニューからも操作できます。メニューボタンを押し、**設定**→**通信／電話設定**→**電話接続設定**→ **Bluetooth 設定**の順に選択します。

追加中に**中止**を選択すると、追加を中止します。

携帯電話の機種によっては、以下のようなことがあります。
- 電話番号を 1000 件まで追加できない
- 追加した登録名称が正しく表示できない

名前が入力されていないデータや携帯電話側でシークレット設定されているデータは、追加できません。

ワンタッチダイヤルを登録する

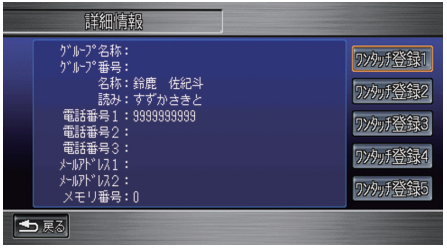
メニューボタン ▶ 電話 ▶ 電話帳



1. 相手を選択する。



2. **詳細情報**を選択する。



3. いずれかの登録番号を選択する。
▶選択した登録番号がワンタッチダイヤル番号となります。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルを登録後、携帯電話からアドレス帳を読み込むと、メモリー番号の小さい順に5件のデータでワンタッチダイヤルが上書きされます。

別の電話番号をワンタッチダイヤルに登録するか、またはアドレス帳のデータを消去するまで、ワンタッチダイヤルは消去できません。
アドレス帳を編集する P.32

読み込んだデータに情報がない詳細項目は空白になります。詳細情報の編集は、アドレス帳から行います。
アドレス帳を編集する P.32

リスト表示順
電話帳の並び順を**名前順**、**メモリ番号順**、**グループ順**から選択して変更できます。

発信
選択中の相手に電話をかけます。

電話の設定をする

メニューボタン ▶ **電話** ▶ **通信／電話設定**



1. いずれかの項目を選択し、設定値を変更する。
2. **設定完了**を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **電話接続設定**：携帯電話の接続設定を行います。
  ➡ **接続の設定をする** P.201
- **アドレス帳読み込み**：携帯電話から電話番号データを読み込んで、現在のアドレス帳のデータをすべて上書きします。
  ➡ **アドレス帳に読み込む** P.197
- **アドレス帳追加**：携帯電話から電話番号データを読み込み、現在のアドレス帳のデータに追加します。
  ➡ **アドレス帳に追加する** P.198
- **自動着信**：着信に自動応答させるかどうかを設定します。（初期値：**する**）
- **受話音量**：−または＋を選択して、電話の音量を7段階で調節します。（初期値：**4**）
- **着信音量**：−または ＋ を選択して、着信音量を 7 段階で調節します。（初期値：**4**）

電話の設定をする

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

初期値にする
通信／電話設定を初期値に戻します。

設定メニューからも操作できます。メニューボタンを押し、**設定→通信／電話設定→電話接続設定**の順に選択します。

自動着信を**する**にしていても、携帯電話のメッセージサービス、留守番サービス、転送サービスの設定を 5 秒より短くしていたり、呼出なしにしている場合は、自動着信されずに携帯電話の設定が優先されます。

■接続の設定をする

メニューボタン ▶ 電話 ▶ 通信／電話設定 ▶ 電話接続設定



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **通信設定**:通信先を設定します。
  接続先を設定する P.208
- **Bluetooth 設定**:Bluetooth 接続に関する設定を行います。
  Bluetooth で接続する P.191
- **電話機の接続**:電話機の接続方法を選択します。
  - **ケーブル**:電話機の接続方法をケーブルにします。
    ケーブルで接続する P.196
  - **Bluetooth**:電話機の接続方法を Bluetooth にします。

接続の設定をする

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

リンクアップフリーをご使用中に設定を変更した場合、データ通信料金がお客様の負担になりますので、ご注意ください。

電話をかける

直接電話番号を入力する以外に、電話帳、履歴、ワンタッチダイヤルを使って電話をかけることができます。

➔ **電話帳からかける** P.202
➔ **電話番号を入れてかける** P.203
➔ **履歴からかける** P.203
➔ **ワンタッチダイヤルからかける** P.204

■ 電話帳からかける

メニューボタン ▶ **電話** ▶ **電話帳**



1. 電話をかける相手を選択する。
2. **発信**を選択するか、ハンドルの (オフフック)ボタンを押す。

▶電話帳からかける

「*(電話帳内の名称)*」(電話画面で)

電話帳とは、アドレス帳の情報のうち、名前と電話番号のみを抜き出して表示しているものです。

➔ **アドレス帳を設定する** P.31

電話帳のデータを消去する場合は、アドレス帳から操作します。

➔ **アドレス帳を編集する** P.32

リスト表示順

電話帳の並び順を**名前順**、**メモリ番号順**、**グループ順**から選択して変更できます。

■ 電話番号を入れてかける

メニューボタン ▶ 電話 ▶ ダイレクト発信



1. 電話番号を入力する。
2. **発信**を選択するか、ハンドルの（オフフック）ボタンを押す。

電話番号を入れてかける

「*電話番号*」（電話画面で）

■ 履歴からかける

メニューボタン ▶ 電話 ▶ 発信着信履歴



1. **発信履歴**タブまたは**着信履歴**タブを選択する。
2. 電話をかける相手を選択する。

履歴からかける

発信履歴または着信履歴を一括で消去する場合は、**全消去**を選択します。

次ページに続く



3. 発信を選択するか、ハンドルの (オフフック)ボタンを押す。

■ ワンタッチダイヤルからかける

メニューボタン ▶ **電話**



電話をかける相手を選択する。

履歴からかける

新規追加
選択中の履歴をアドレス帳に追加します。各項目を入力して、**設定完了**を選択します。

上書き追加
アドレス帳からアドレスを選択して、選択中の履歴の番号を追加します。

消去
選択中の履歴を消去します。

ワンタッチダイヤルからかける

ワンタッチダイヤルは走行中も操作することができます。

ワンタッチダイヤルの詳細画面で**発信**を選択しても、電話をかけることができます。

ワンタッチダイヤルを登録する P.199

困ったときの連絡先

■QQ コール

メニューボタン ▶ **電話**

ドライブ中に不意のトラブルにあったときなど、QQ コールに電話をかけて必要な処置をきいたり手配を頼んだりできます。



QQ コールを選択する。

▶QQ コールに電話がかかります。オペレーターとお話しください。

»QQ コール

QQ コールは有料サービスです。ご利用には、Honda 販売店での申し込みと本システムの設定が必要です。
詳しくは、Honda販売店にお問い合わせいただくか、インターナビのホームページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/internavi/

通話中に**マップコード読上**を選択すると、現在のマップコードを読み上げて自車位置を QQ コールセンターに伝えます。

■ロードサービス

メニューボタン ▶ **電話** ▶ **ロードサービス**

ドライブ中に車が故障したり、トラブルなどにあったときは、最寄りのJAFやカーレスキュー70 などのロードサービスに電話をかけることができます。



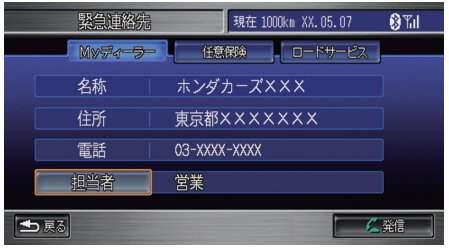
利用したいロードサービスを選択する。

▶選択したロードサービスに電話がかかります。

■緊急連絡先

メニューボタン ▶ **電話** ▶ **緊急連絡先**

緊急連絡先として登録されている Honda 販売店「My ディーラー」や保険会社、ロードサービスに電話をかけることができます。



1. **My ディーラー**、**任意保険**または**ロードサービス**タブを選択する。
2. **発信**を選択する。
3. **電話する**を選択する。

▶選択した緊急連絡先に電話がかかります。

緊急連絡先

My ディーラーの連絡先は、パーソナル・ホームページと同期を行うと本システムに送られます。パーソナル・ホームページで連絡先を変更した場合は、再度、同期を行ってください。

任意保険、ロードサービスは、あらかじめ本システムに登録しておく必要があります。

緊急連絡先を登録する P.248

電話を受ける



1. 着信画面で (オフフック)ボタンを押し、電話に出る。



2. 通話が終了したら (オンフック)ボタンを押して、電話を切る。

以下の項目を選択できます。

- **着信音量**:着信音の大きさを調節します。− または + を選択して、**決定**を選択します。
- **通話音量**:相手の声の大きさを調節します。− または + を選択して、**決定**を選択します。
- **応答保留**:応答を保留にします。保留中の電話は、(オフフック)ボタンで出ます。
- **通話録音**:通話内容を音声メモに約 30 秒録音します。録音が終了すると、通常の通話中画面に戻ります。
  音声メモ P.240
- **終了**:電話を切ります。
- **通話**:電話に出ます。

電話を受ける

電話がかかってくると着信音が鳴り、通話中画面を表示します。
ただし Bluetooth 接続でデータ通信中は、電話は受けられません。

割込通話サービスをご利用の場合、通話中に着信があると、「キャッチホンがかかっています」というメッセージが画面に表示されます。通話を切り換えるには、(オフフック)ボタンを押します。もう一度 (オフフック)ボタンを押すと、もとの通話に切り換わります。Bluetooth 対応の携帯電話の場合は、割込通話が使用できないことがあります。

自動着信を**する**に設定している場合は、着信してから約 5 秒で自動的に通話が始まります。
電話の設定をする P.200

電話帳に登録されている電話からの着信には、登録されている名称が表示されます。

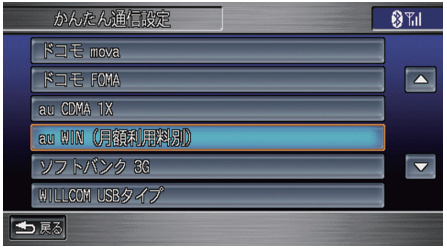
発信者番号通知サービスの利用状況によって、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されない場合があります。

応答保留
(オンフック)ボタンを押しても応答を保留にできます。

接続先を設定する

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 通信／電話設定 ▶ 電話接続設定 ▶ 通信設定 ▶ かんたん通信設定 ▶ スタート

携帯電話を接続したら、通信機能の設定を行います。



1. 接続するプロバイダを選択する。
▶新しい接続先を追加することもできます。
新しい接続先を追加する P.209

2. **接続する**を選択する。
▶初回は、続いてパーソナル・ホームページとの同期が行われます。
同期完了後、「接続設定が完了しました」と表示されます。

接続先を設定する

設定済みの場合は、**かんたん通信設定**を選択すると**手順 1** の画面が表示されます。

携帯電話側の操作が必要になる場合があります。

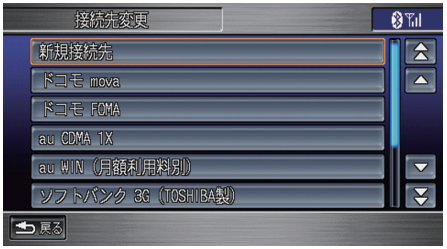
携帯電話会社によっては、別途利用料が請求されることがあります。

お客様の接続方法がリンクアップフリーの場合、接続先（かんたん通信設定）を「リンクアップフリー（ソフトバンク３G）」から、変更しないでください。
通信設定メニューでご自身の携帯電話に変更すると、インターナビ情報取得にともなうデータ通信料が、携帯電話会社から請求される場合があります。

■ 新しい接続先を追加する

メニューボタン ▶ 設定 ▶ 通信／電話設定 ▶ 電話接続設定 ▶ 通信設定 ▶ マニュアル通信設定 ▶ スタート

最大で 20 の接続先を追加することができます。



1. **新規接続先**を選択する。
   ▶登録済みの接続先を選択すると、その接続先に接続されます。
   ▶接続先を選択して**編集**または**消去**を選択すると、接続先情報を編集・消去できます。



2. 各項目を入力し、**設定完了**を選択する。

以下の項目の入力が必要です。

- **接続先名称**:プロバイダの名称
- **電話番号**:アクセスポイントの電話番号
- **ユーザーID**:プロバイダ入会時に発行されたユーザーID
- **パスワード**:プロバイダ入会時に発行されたパスワード

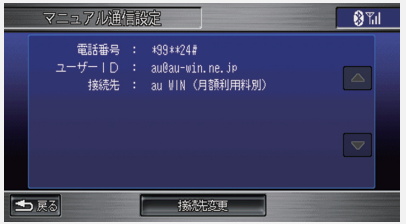
次ページに続く

新しい接続先を追加する

お車を譲渡される際などは、接続先の情報はすべて消去してください。

設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。

設定済みの場合は、以下の画面が表示されます。



接続先変更を選択し、各項目を入力してください。

- **DNS 設定**:**DNS 設定**を選択します。
  自動:自動的に設定されます。
  手動:**DNS1** または **DNS2** が入力可能状態になります。
- **DNS1**:DNS(IP アドレス)を入力します。
- **DNS2**:DNS(IP アドレス)を入力します。
- **通信手段**:通信の方法を、**携帯(回線交換)**、**携帯(パケット)**、**USB 通信機器**から選択します。

リアエンターテインメントシステム

この章では、リアエンターテインメントシステムに関する操作を
記載しています。
リアエンターテインメントシステムを使用すると、走行中でも後席でテレビや
DVD ビデオをお楽しみいただけます。

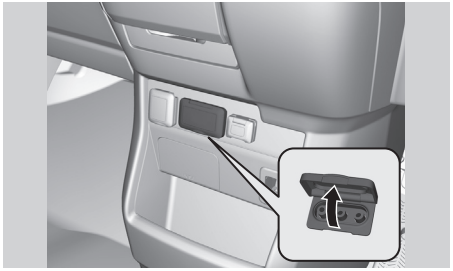
リアエンターテインメントシステム 212
AV 入力端子 212
DVD ビデオを観る 213
設定画面 214
テレビを観る 218
設定画面 219
画質を調整する 222
電池を交換する 223

リアエンターテインメントシステムの操作は、リモコンで行います。

➡ **後席で映像を楽しむ** P.16

AV 入力端子

AV 入力端子にビデオ機器やゲーム機器などを接続し、後席モニターに映すことができます。



1. AV 入力端子のカバーを開ける。
2. 使用する機器を AV 入力端子に接続する。
3. リアエンターテインメントシステムの電源を入れる。
   ➡ **後席で映像を楽しむ** P.16
4. リモコンの ビデオ ボタンを押す。
   ▶ビデオモードに切り換わります。
5. 接続した機器を操作する。

リアエンターテインメントシステム

何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。

➡ **リアエンターテインメントシステム** P.266

AV 入力端子

後席モニターには、前席で選択している AUDIO ソースが表示されます。あらかじめ前席でビデオを選択しておいてください。前席で別のソースを選択していると、メッセージが表示され、映像は表示されません。

接続端子は以下のようになっています。

- 赤:音声端子(右)
- 白:音声端子(左)
- 黄:映像端子

DVD ビデオを観る

1. リアエンターテインメントシステムの電源を入れる。
後席で映像を楽しむ P.16
2. DVD ボタンを押す。
3. ⏯ (再生／一時停止)ボタンを押す。

DVD ビデオを観る

後席モニターには、前席で選択しているAUDIO ソースが表示されます。あらかじめ前席でDVDを選択しておいてください。前席で別のソースを選択していると、メッセージが表示され、映像は表示されません。

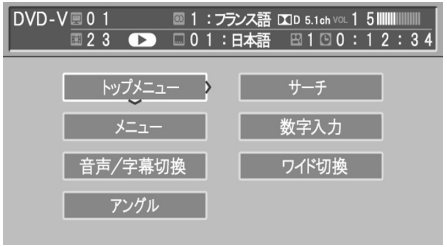
⏮ ⏭ (スキップ)ボタンを押し続けると、早戻し／早送りができます。

前回、再生中に停止した場合は、停止した位置から再生を開始します。

設定画面

メニュー ボタン（DVD ディスク再生中に）

■DVD ビデオモード



方向キーでいずれかの項目を選択し、実行 ボタンを押す。

以下の項目を選択できます。

- **トップメニュー**：トップメニューを表示します。（ディスクによっては、再生中は表示できません。）
- **メニュー**：メニューを表示します。
- **音声／字幕切換**：音声／字幕メニューを表示します。
  音声や字幕を変更する P.216
- **アングル**：アングルを変更します。◀ ▶ キーでアングルを指定し、▼ キーで**設定完了**を選択して、実行 ボタンを押します。
- **サーチ**：タイトル・チャプターを直接指定して再生します。
  サーチする P.216
- **数字入力**：数字を入力して、入力した数字に該当するチャプターの再生やメニュー項目の選択を行います。（行われる操作はディスクによって異なります。）
  数字を入力する P.217

設定画面

操作ができないボタンを押したときは、画面に⃠アイコンが表示されます。

ここで選択した設定は、再生中のディスクでのみ有効です。

音声言語、字幕言語の切り換え、チャプターの切り換えはトップメニューからも操作できます。

- **ワイド切換**:画面の表示比率を、**ノーマル**、**ワイド**、**フル**、**ズーム**から選択します。◀ ▶ キーで表示比率を指定し、▼ キーで**設定完了**を選択して、実行 ボタンを押します。

オーディオメニュー画面 P.174

■DVD-VR モード



方向キーでいずれかの項目を選択し、実行 ボタンを押す。

以下の項目を選択できます。

- **再生順切換**:再生順を切り換えます。
  PG:プログラム順で再生します。
  PL:プレイリスト順で再生します。
- **REPEAT**:タイトル・チャプターを繰り返して再生します。
  :再生中のタイトルを繰り返して再生します。
  :再生中のチャプターを繰り返して再生します。
- **音声**／**字幕切換**:音声／字幕メニューを表示します。

音声や字幕を変更する P.216

- **サーチ**:タイトル・チャプターを直接指定して再生します。

サーチする P.216

次ページに続く

- **ワイド切換**:画面の表示比率を、**ノーマル**、**ワイド**、**フル**、**ズーム**から選択します。◀▶ キーで表示比率を指定し、▼ キーで**設定完了**を選択して、実行 ボタンを押します。

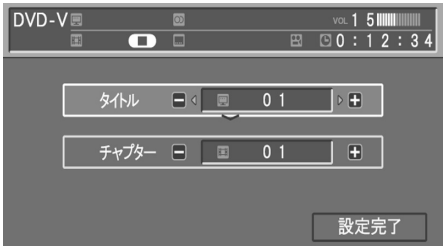
➡ **オーディオメニュー画面** P.174

■音声や字幕を変更する



1. ▲▼ キーで目的の項目を選択する。
   ▶DVD-VR の場合は、**主副**も選択できます。
2. ◀▶ キーで設定を変更する。
3. ▼キーで**設定完了**を選択し、実行 ボタンを押す。

■サーチする



1. ▲▼ キーで目的の項目を選択する。
2. ◀▶ キーで目的の番号を選択する。
3. ▼キーで**設定完了**を選択し、実行 ボタンを押す。

■数字を入力する



1. 方向キーで入力したい数字を選択し、実行 ボタンを押す。
2. 方向キーで**決定**を選択し、実行 ボタンを押す。

数字を入力する

入力した数字を修正するときは、**削除**を選択し、実行 ボタンを押します。

テンキー移動を選択し、実行 ボタンを押すと、テンキーの位置が左右逆側に移動します。

テレビを観る

1. リアエンターテインメントシステムの電源を入れる。

後席で映像を楽しむ P.16

2. TV ボタンで TV1 または TV2 を選択する。

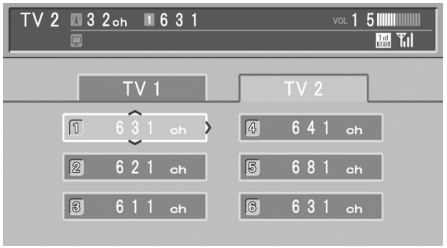
▶テレビモードに切り換わります。

3. +−(CH)ボタンでチャンネルを選択する。

▶プリセットチャンネルの放送局が受信されます。

▶⏮⏭(スキップ)ボタンでチャンネルをひとつずつ切り換えることもできます。

■ プリセットスイッチに登録する



1. プリセットスイッチに登録したい放送局を受信する。

2. 表示 ボタンを押す。

▶プリセットスイッチ一覧画面が表示されます。

3. 方向キーで登録したいプリセットスイッチを選択し、実行 ボタンを数秒間押す。

▶登録されると「〇〇〇(3桁のチャンネル番号)を登録しました」と表示されます。

テレビを観る

後席モニターには、前席で選択しているAUDIO ソースが表示されます。あらかじめ前席でテレビを選択しておいてください。前席で別のソースを選択していると、メッセージが表示され、映像は表示されません。

⏮⏭(スキップ)ボタンを押し続けると、自動選局ができます。

プリセットスイッチに登録する

TV1 と TV2 にそれぞれ6局まで登録できます。

この画面から選局ができます。目的のプリセットスイッチを選択し、実行 ボタンを押します。

設定画面

メニュー ボタン（テレビ受信中に）

テレビの音声、字幕の設定などを変更できます。

■12 セグ



方向キーでいずれかの項目を選択し、実行 ボタンを押す。

以下の項目を選択できます。

- **チャンネル表示**:プリセットスイッチ一覧画面を表示します。
- **サービス切換**:メインチャンネルとサブチャンネルを切り換えます。(マルチ編成の番組受信時)
- **各種切換**:音声、字幕、表示サイズ、マルチビューの設定を変更します。▲▼ で項目を選択し、実行 ボタンを押します。実行 ボタンを押すごとに設定が切り換わります。
- **サーチ**:オートセレクトまたはスキャンを行います。▲▼ で項目を選択し、実行 ボタンを押します。
  - **AUTO SELECT** : 現在地周辺で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示します。もう一度 **AUTO SELECT** を選択すると表示が解除されます。
  - **SCAN** : 受信可能な放送局の映像を順に 10 秒間ずつ流します。観たい放送局のところで 実行 ボタンを押して、選局します。

次ページに続く

» 12 セグ

サービス切換
マルチ編成の番組でのみ選択できます。

各種切換
以下の設定を変更できます。

- **音声切換**:音声種別を切り換えます。(マルチ音声放送、多重音声放送受信時)
- **字幕切換**:字幕種別を切り換えます。(字幕放送受信時)
- **表示サイズ切換**:画面の表示サイズを切り換えます。
- **マルチビュー／映像切換**:アングルを切り換えます。(マルチ映像放送受信時)

AUTO SELECT

- オートセレクト中でも、表示されているプリセットスイッチへの他の放送局の上書き登録ができます。
- 受信できる放送局が 6 に満たなかった場合、受信できなかったスイッチには「0ch」と表示されます。

- **番組表**:電子番組表(EPG)を表示します。方向キーで番組を選択してから 実行 ボタンを押すと、その番組の詳細情報を表示します。
- **12 セグ／ワンセグ切換**:受信モードを**自動**、**ワンセグ固定**、**12 セグ固定**の順に切り換えます。
- **d(データ放送)**:データ放送画面を表示します。 戻る ボタンを押すと通常画面に戻ります。
- **カラーボタン／数字入力**:カラーボタン／数字入力ボタンを画面に表示します。

➡ **カラーボタンや数字を入力する** P.221

■ワンセグ



方向キーでいずれかの項目を選択し、 実行 ボタンを押す。

以下の項目を選択できます。

- **チャンネル表示**:プリセットスイッチ一覧画面を表示します。
- **音声切換**:音声種別を切り換えます。(マルチ音声放送、多重音声放送受信時)
- **サービス切換**:メインチャンネルとサブチャンネルを切り換えます。(マルチ編成の番組受信時)
- **表示サイズ切換**:画面の表示サイズを切り換えます。

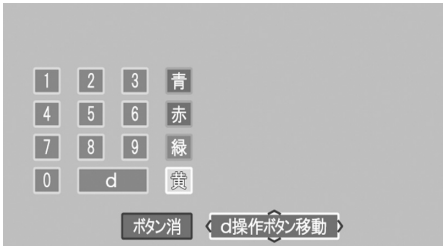
≫ワンセグ

サービス切換
マルチ編成の番組でのみ選択できます。

AUTO SELECT
- オートセレクト中でも、表示されているプリセットスイッチへの他の放送局の上書き登録ができます。
- 受信できる放送局が 6 に満たなかった場合、受信できなかったスイッチには「0ch」と表示されます。

- **番組表**:電子番組表(EPG)を表示します。方向キーで番組を選択し、実行 ボタンを押すとその番組の詳細情報が表示されます。
- **AUTO SELECT**:現在地周辺で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示します。もう一度 **AUTO SELECT** を選択すると表示が解除されます。
- **SCAN**:受信可能な放送局の映像を順に 10 秒間ずつ流します。観たい放送局のところで 実行 ボタンを押して、選局します。

■カラーボタンや数字を入力する



方向キーで入力したいカラーボタンまたは数字を選択し、実行 ボタンを押す。

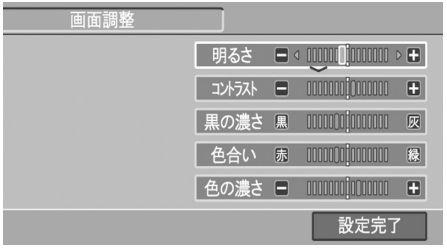
» カラーボタンや数字を入力する

d操作ボタン移動を選択し、実行 ボタンを押すと操作ボタンの位置が左右逆側に移動します。

画質を調整する

[画面] ボタン

後席モニターの明るさ、コントラスト、黒の濃さ、色合い、色の濃さを調整します。



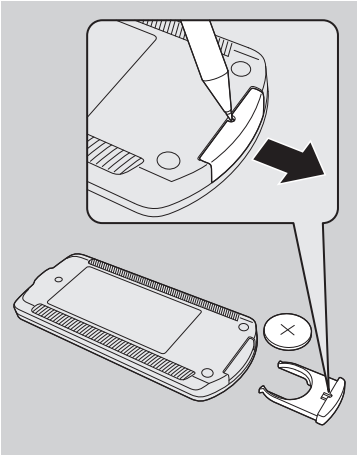
1. ▲▼ キーで目的の項目を選択する。
2. ◀▶ キーでレベルを調整する。
3. ▼キーで**設定完了**を選択し、[実行] ボタンを押す。

≫画質を調整する

明るさ

- 夜間は画面の明るさが自動的に減光します。
- 車幅灯を点灯しているとき、点灯していないときそれぞれに設定できます。

電池を交換する



1. リモコンの裏側の電池ケースにある穴にボールペンなどの先端を差し込み、矢印の方向に引いて開ける。
2. 電池を外して、新しい電池を入れる。
▶型番：CR2025、CR2025P
3. 電池ケースを元に戻す。

電池を交換する

電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

電池を入れる際は、リモコンの⊕表示にしたがって入れてください。

その他の機能

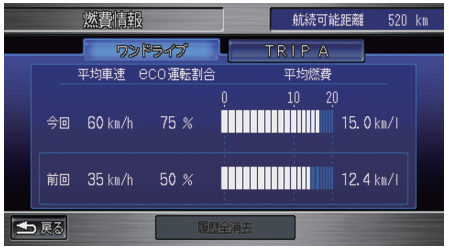
この章では、ドライブに役立つその他の機能を記載しています。



燃費情報.....226
データ管理.....228
USB メモリーを接続する.....228
本システム・USB メモリーのデータを管理する.....229
USB メモリーのデータを編集する.....230
新しい道路データを取得する.....232
スケジュール機能.....233
スケジュールを登録する.....233
音声メモ.....240
カーカルテ.....242
メンテナンス記録を見る.....243
交換情報を記録する.....246
愛車メモを使う.....247
リアカメラシステム..... 250

メニューボタン ▶ **燃費情報**

現在の燃費状況や過去の履歴を確認できます。



いずれかの項目を選択する。

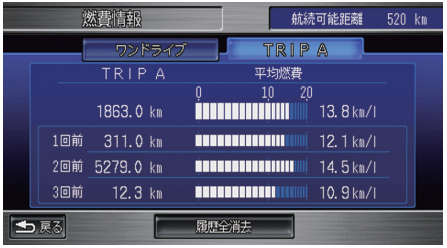
以下の項目を選択できます。

- **ワンドライブ**
  - **今回**：車のエンジンをかけてから現在までの平均車速（時速）、eco 運転の割合、平均燃費が確認できます。
  - **前回**：前回車のエンジンをかけてから切ったときまでの平均車速（時速）、eco 運転の割合、平均燃費が確認できます。

燃費情報

航続可能距離

残りの燃料で走行できる距離の目安が確認できます。



以下の項目を選択できます。

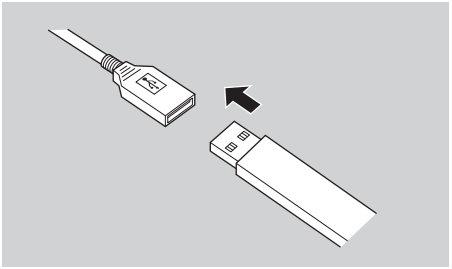
- **TRIP A**
  - 現在の TRIP A の総走行距離と総平均燃費が確認できます。
  - **1 回前、2 回前、3 回前**：TRIP A をリセットする毎の履歴を過去 3 回まで確認できます。
- **履歴全消去**：過去の燃費履歴をすべて消去します。

燃費情報

TRIP A をリセットするたびに、履歴として保存されます。リセット方法については、車両の取扱説明書をご覧ください。

お車を譲渡される際などは、燃費履歴はすべて消去してください。

USB メモリーを接続する



インターナビ USB コードに USB メモリーを差し込む。

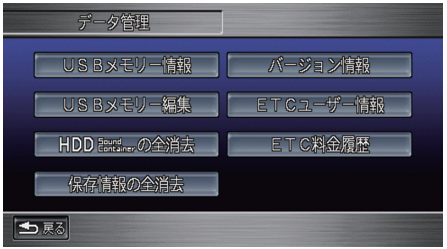
USB メモリーを接続する

USB メモリーをインターナビ USB コードに接続すると、以下のことが行えます。

- データのバックアップ
  USB メモリーのデータを編集する P.230
- 画像を確認
  画像を表示する P.60
- 新規道路の取得
  新しい道路データを取得する P.232
- 音楽ファイルの再生
  操作画面 P.147
- タイトル情報の取得
  USB メモリーから取得する P.159

本システム･USB メモリーのデータを管理する

メニューボタン ▶ ツール ▶ データ管理



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **USB メモリー情報**:USBメモリー接続時､USBメモリーの使用容量と空き容量がグラフで確認できます。
- **USB メモリー編集**:USBメモリー内の画像を保存したり､USBメモリーに保存されている情報を確認できます。
  USB メモリーのデータを編集する P.230
- **HDD SoundContainer の全消去**:HDD サウンドコンテナに録音した曲をすべて消去します。
  HDD サウンドコンテナを使う P.146
- **保存情報の全消去**:本システム内の保存情報を消去できます。
- **バージョン情報**:地図データのバージョンを確認できます｡また､新しい道路データを取得することもできます。
  新しい道路データを取得する P.232
- **ETC ユーザー情報**:ETC 車載器の管理番号を表示します。
- **ETC 料金履歴**:ETC の利用履歴の詳細を確認できます。

本システム･USB メモリーのデータを管理する

お車を譲渡される際などは､保存情報はすべて消去してください。

保存情報の全消去

- 全消去すると､元に戻せません｡また､ユーザーデータだけでなく､案内中のルートなどの情報も消去します。
- HDD サウンドコンテナの音楽データは消去されません。
  HDD サウンドコンテナの設定をする P.154

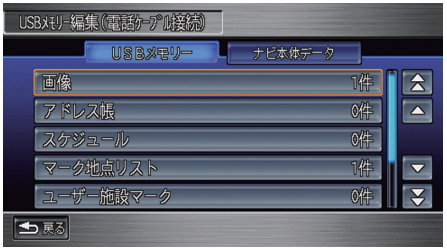
バージョン情報

地図データ更新用 DVD によるバージョンアップ中には､更新進捗状況や更新残時間などを表示します。

ETCの使いかたについては､別冊の｢ETC車載器取扱説明書｣をご確認ください。

USB メモリーのデータを編集する

メニューボタン ▶ ツール ▶ データ管理 ▶ USB メモリー編集

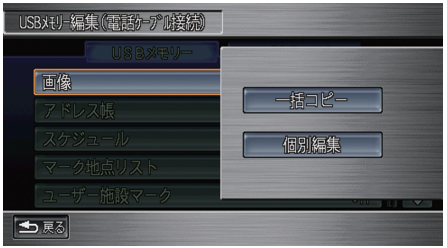


1. **USB メモリー**を選択する。
   ▶**ナビ本体データ**:本システム内のデータが管理できます。
   ▶保存されている各データの件数が表示されます。
2. 編集したい項目を選択する。

USB メモリーのデータを編集する

あらかじめインターナビ USB コードに USB メモリーを接続しておく必要があります。
USB メモリーを接続する P.228

読み込みや保存の最中に USB メモリーを抜くと保存されたデータが消えてしまう場合がありますので、USB メモリーを途中で抜かないでください。



3. 個別編集を選択する。

▶保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを「0」にしたり、USB メモリーを抜かないでください。

▶編集方法は各参照先のページをご覧ください。

➔ **画像を表示する** P.60
➔ **アドレス帳を編集する** P.32
➔ **スケジュールを登録する** P.233
➔ **マーク地点を活用する** P.75
➔ **ユーザー施設マークの編集** P.80
➔ **回避エリアを登録する** P.48

USB メモリーのデータを編集する

USB メモリー内で確認できる件数は、下記のとおりです。ただし、USB メモリーの容量によっては下記の件数を保存できないことがあります。

- 画像(JPEG、BMP のみ):200 件
- アドレス帳:1000 件
- スケジュール:すべて
- マーク地点リスト:400 件
- ユーザー施設マーク、非表示設定データ:100 件
- 回避エリア:100 件

2MB 以上のファイルは認識されません。

画像、アドレス帳では、フォルダ構造はルートディレクトリを含む 8 階層まで認識されます。

スケジュールはルートディレクトリのみ認識されます。

シークレットモードが設定されていると、アドレス帳は確認できません。
➔ **シークレットモード** P.36

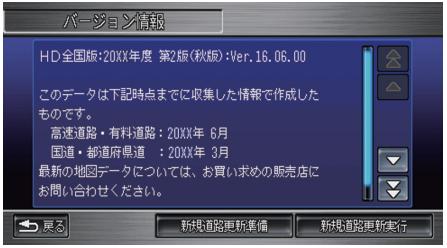
アドレス帳は、本システムからUSB メモリーにコピーできません。

選択したすべての項目を本システムに保存する場合は、**一括コピー**を選択します。

新しい道路データを取得する

メニューボタン ▶ ツール ▶ データ管理 ▶ バージョン情報

USB メモリーを使用して最新の道路データが取得できます。



1. **新規道路更新準備**を選択する。
2. **コピーする**を選択する。
   ▶USBメモリーに認証用ナビ情報がコピーされます。
3. 認証用ナビ情報をコピーしたUSBメモリーで、パーソナル・ホームページから新規道路データを取得する。
4. **新規道路更新実行**を選択する。
   ▶データ更新のための認証が行われ、新しい道路データが本システムに読み込まれます。読み込み完了後は自動的に再起動しますので、USB メモリーを抜かずにしばらくお待ちください。

新しい道路データを取得する

あらかじめインターナビUSBコードにUSB メモリーを接続しておく必要があります。

USB メモリーを接続する P.228

スケジュールを登録する

カレンダーに直接予定を登録して管理することができます。スケジュールは、100 件まで登録できます。

メニューボタン ▶ ツール ▶ スケジュール設定



1. スケジュールを設定したい日付を選択する。



2. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **時間指定**:指定した時刻にスケジュールを実行します。
  時間を指定して実行する場合 P.234
- **起動時**:指定日に初めてエンジンスイッチを「I」または「II」にしたときに、スケジュールを実行します。
  起動時に実行する場合 P.236

次ページに続く

スケジュールを登録する

この機能は、簡単操作モードでは操作できません。

本日の日付、年月は [ ] で囲まれます。

スケジュールが設定されている日付を選択すると、設定内容が表示されます。

同じ時刻に複数のスケジュールを登録すると、後に設定したスケジュールが実行されます。

スケジュールリスト
スケジュールをリスト表示します。
スケジュールリストを表示する P.239

USBメモリーのタッチキーの機能については、以下のページで説明しています。
共通で使用するタッチキー P.131

スケジュールの読み込み、保存、消去
- スケジュールを個別に読み込み、保存、消去することはできません。
- USB メモリー内にスケジュールがすでに存在する場合は、上書きするか保存しないかを選択できます。
- 日時が同じで内容の異なるスケジュールが本システムに読み込まれた場合は、最後に読み込んだスケジュールが実行されます。

■時間を指定して実行する場合



1. 開始時刻、終了時刻を入力する。
2. **完了**を選択する。



3. **当日のみ**または実行する周期を選択する。



4. 指定日に実行したいイベントを選択する。
   ▶選択したイベントによって、この後の操作は異なります。画面に従って操作してください。

以下の項目を選択できます。

- **目的地を設定する**:指定した時刻に、目的地を設定します。
  ➡ 目的地を探す P.83
- **周辺検索をする**:指定した時刻に、自車位置周辺の施設を検索します。
  ➡ 目的地を探す P.83
- **メッセージを表示する**:指定した時刻に、設定したメッセージを表示します。
- **音声メモを再生する**:指定した時刻に、設定した音声メモを再生します。
- **FM を聞く**:指定した時刻に、設定した FM の放送局を受信します。
- **AM を聞く**:指定した時刻に、設定した AM の放送局を受信します。
- **DVD/CD/MP3(WMA) を再生する**:指定した時刻にセットしたディスクを再生します。ディスクが挿入されていないときは実行しません。
- **サウンドコンテナを再生する**:指定した時刻に、設定した HDD サウンドコンテナのプレイリストを再生します。
- **スケジュールリストから選ぶ**:すでに設定されているスケジュールと同じイベントが選択できます。



5. 登録を選択する。
▶指定した日時に確認メッセージが表示され、指定した操作が行われます。

次ページに続く

時間を指定して実行する場合

メッセージを表示する

- 全角 16 文字(半角 32 文字)まで入力できます。
- 20 件まで登録できます。20 件を超えると、古いメッセージから消去する確認画面が表示されます。

指定日に実行できなかったスケジュールがある場合、当日のみマークを表示します。



指定日にエンジンスイッチが「I」または「II」になっていないなど、本システムがスケジュールを実行できない状態になっていた場合は、スケジュールは実行されません。

■起動時に実行する場合



1. 当日のみまたは実行する周期を選択する。



2. 指定日に実行したいイベントを選択する。
▶選択したイベントによって、この後の操作は異なります。画面に従って操作してください。

以下の項目を選択できます。

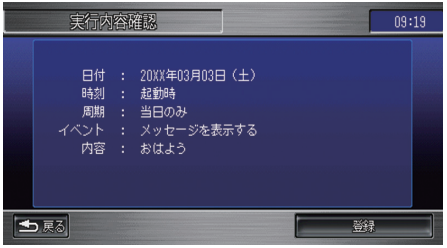
- **目的地を設定する**:起動時に、目的地を設定します。
  ➡ **目的地を探す** P.83
- **周辺検索をする**:起動時に、自車位置周辺の施設を検索します。
  ➡ **目的地を探す** P.83
- **メッセージを表示する**:起動時に、設定したメッセージを表示します。
- **音声メモを再生する**:起動時に、設定した音声メモを再生します。
- **FM を聞く**:起動時に、設定した FM の放送局を受信します。
- **AM を聞く**:起動時に、設定した AM の放送局を受信します。

≫起動時に実行する場合

メッセージを表示する

- 全角 16 文字(半角 32 文字)まで入力できます。
- 20 件まで登録できます。20 件を超えると、古いメッセージから消去する確認画面が表示されます。

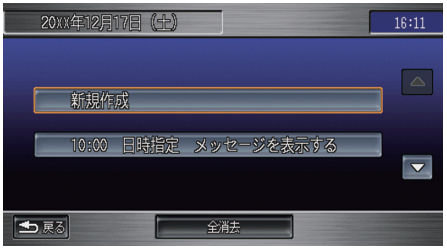
- **DVD/CD/MP3(WMA) を再生する**:起動時にセットしたディスクを再生します。ディスクが挿入されていないときは実行しません。
- **サウンドコンテナを再生する**:起動時に、設定した HDD サウンドコンテナのプレイリストを再生します。
- **スケジュールリストから選ぶ**:すでに設定されているスケジュールと同じイベントが選択できます。



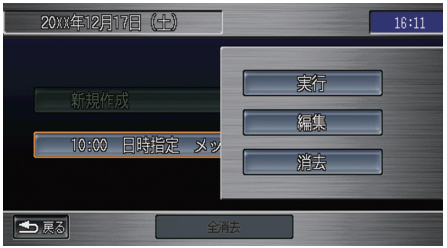
3. 登録を選択する。
▶指定日の起動時に確認メッセージが表示され、指定した操作が行われます。

■ スケジュールを編集する

メニューボタン ▶ ツール ▶ スケジュール設定



1. 日付を選択する。
2. 編集したいスケジュールを選択する。



3. **編集**を選択する。



4. いずれかの項目を選択し、編集する。
5. **設定完了**を選択する。

スケジュールを編集する

新規作成
スケジュールを追加します。

全消去
選択中の日付に登録されているすべてのスケジュールを削除します。

実行
選択中のスケジュールを実行します。

消去
選択中のスケジュールを消去します。

■ スケジュールリストを表示する

メニューボタン ▶ ツール ▶ スケジュール設定 ▶ スケジュールリスト



操作したいスケジュールを選択する。

▶スケジュールの実行、編集、消去が行えます。

➔ **スケジュールを編集する** P.238

スケジュールリストを表示する

スケジュールの実行状況により、リストのアイコンの色が変わります。
グレー:実行済み
黄:実行できず
アイコンなし:未実行

繰り返し指定タブを選択すると、周期設定されているスケジュールのリストを表示します。

全消去
すべてのスケジュールを削除します。

■ 音声メモを録音する

メニューボタン ▶ ツール ▶ 音声メモ

約 30 秒間の音声や通話を 10 件まで録音できます。



新規録音を選択する。

音声メモを録音する

「*音声メモ*」、「*音声メモ録音*」

「音声メモ準備中です」と表示された場合は、メッセージが消えるまでお待ちください。

録音中に**停止**を選択すると、録音は中止されます。

通話中の音声録音もできます。
電話を受ける P.207

すでに 10 件録音されているときは録音できません。不要なメッセージを消去してから録音してください。

録音したメモには、録音日時がタイトルとしてつけられます。

■ 音声メモを再生する

メニューボタン ▶ ツール ▶ 音声メモ



:「音声メモ」から録音
:通話中の録音

1. 操作したい音声メモを選択する。



2. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **再生**:選択中の音声メモを再生します。
- **名称編集**:選択中の音声メモの名称または読みを編集します。編集したい項目を選択し、名称を入力して、**入力完了**→**設定完了**の順に選択します。
- **消去**:選択中の音声メモを消去します。

音声メモを再生する

「*音声メモ読み上げ*」

全消去
すべての音声メモを消去します。

全件再生
リスト順にすべての音声メモを再生します。

メモの再生中に − または ＋ を選択すると音量を調節できます。また、**停止**を選択すると再生を中止できます。

音声メモの読みは、音声操作で使用します。録音したままの状態では、読みは入力されていません。

カーカルテ

メニューボタン ▶ internavi 情報 ▶ カーカルテ

パーツ交換時期や車検・保険の期限など、お車に関する重要な情報を登録する機能です。更新時期が近づくと画面にお知らせ表示が出るので、重要な更新を見逃しません。



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **メンテナンス記録**:お車のメンテナンス情報を登録します。
  ➡ **メンテナンス記録を見る** P.243
- **愛車メモ**:お車の利用状態を設定します。
  ➡ **愛車メモを使う** P.247
- **パーソナル HP と同期**:本システムとパーソナル・ホームページを同期させます。

カーカルテ 通信

ご利用には、通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。

➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7

「案内設定」の**カーカルテ起動時通知**を**する**に設定すると、予定日の30日前に本システムを起動したタイミングでお知らせメッセージを表示します。

➡ **詳細設定** P.44

同期が必要なときは、最終同期日の年が「XX」と表示されます。

パーソナル HP と同期

本システムで登録情報を編集したときは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。

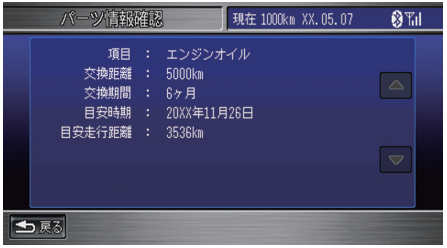
メンテナンス記録を見る

メニューボタン ▶ internavi 情報 ▶ カーカルテ ▶ メンテナンス記録

各パーツは、パーソナル・ホームページとの同期を行った後に表示されます。



1. パーツを選択する。



2. パーツ情報確認を選択する。

メンテナンス記録を見る

パーツの種類は、以下の 4 種類のアイコンで分類されています。

- (青):Honda 指定パーツ
- (橙):メンテナンス期限切れの Honda 指定パーツ
- (緑):お客様が登録したパーツ
- (橙):メンテナンス期限切れのお客様が登録したパーツ

交換項目追加

Honda指定パーツ以外にも、お好みのパーツを追加できます。

パーツを追加する P.244

■ パーツを追加する

メニューボタン ▶ internavi情報 ▶ カーカルテ ▶ メンテナンス記録 ▶ 交換項目追加 ▶ 名称

パーツを最大で 20 個まで追加することができます。



1. 追加したいパーツを選択する。
2. **交換距離**を選択し、交換タイミングの距離を選択する。
3. **交換期間**を選択し、交換したい期間を選択する。
4. **完了**を選択する。

■ 追加したパーツを編集する

メニューボタン ▶ internavi 情報 ▶ カーカルテ ▶ メンテナンス記録

交換サイクルの変更、パーツの消去を行うことができます。



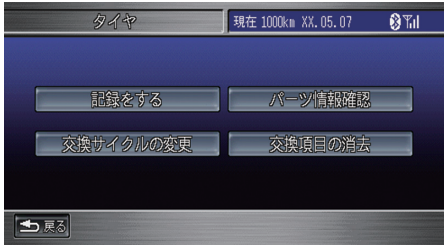
1. パーツを選択する。

パーツを追加する

名称入力
新しく項目を作成し、リストにないパーツを追加できます。

交換距離、**交換期間**の両方で**指定なし**を選択することはできません。必ずどちらかを指定してください。

追加したパーツについては、交換サイクルを変更したり、消去したりできます。
追加したパーツを編集する P.244



2. いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- **記録をする**:交換情報を記録します。
  交換情報を記録する P.246
- **パーツ情報確認**:交換日と走行距離を確認します。
- **交換サイクルの変更**:交換距離、交換期間を変更します。
- **交換項目の消去**:選択したパーツを消去します。

交換情報を記録する

メニューボタン ▶ internavi 情報 ▶ カーカルテ ▶ メンテナンス記録

パーツを交換したら、その日付や走行距離を記録しましょう。



1. パーツを選択する。

2. かんたん交換記録を選択する。

▶追加パーツの場合は、**記録をする**を選択します。

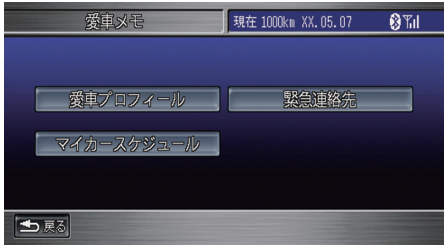
▶Honda 指定パーツの場合、**マニュアル交換記録**を選択すると、走行距離と日付を指定することができます。距離および日付の選択後、**完了**を選択してください。

3. 記録するを選択する。

愛車メモを使う

メニューボタン ▶ internavi 情報 ▶ カーカルテ ▶ 愛車メモ

普段のお車の利用状態を登録すると、適切なメンテナンス時期をお知らせすることができます。



いずれかの項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

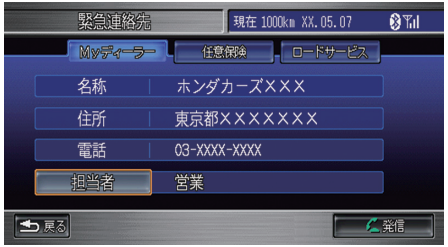
- **愛車プロフィール**:現在の登録内容が表示されます。編集するには、**車の利用**を選択して該当する項目を設定し、**設定完了**を選択します。
- **緊急連絡先**:緊急連絡先を登録します。
  緊急連絡先を登録する P.248
- **マイカースケジュール**:車検や免許更新時期を登録します。
  マイカースケジュールを設定する P.249

愛車メモを使う

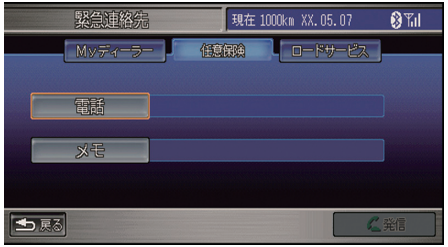
本システムで編集できない項目のうち、一部はパーソナル・ホームページで編集することができます。

■ 緊急連絡先を登録する

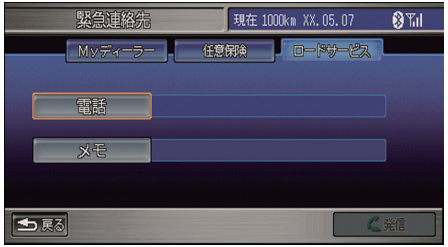
メニューボタン ▶ internavi 情報 ▶ カーカルテ ▶ 愛車メモ ▶ 緊急連絡先



1. **Myディーラー**タブを選択し、**担当者**を選択する。
2. 担当者名を入力し、**入力完了**を選択する。



3. **任意保険**タブを選択する。
4. 設定項目を選択して文字や数字を入力し、**入力完了**または**完了**を選択する。



5. **ロードサービス**タブを選択する。
6. 設定項目を選択して文字や数字を入力し、**入力完了**または**完了**を選択する。

■ マイカースケジュールを設定する

メニューボタン ▶ internavi情報 ▶ カーカルテ ▶ 愛車メモ ▶ マイカースケジュール



1. いずれかの項目を選択する。

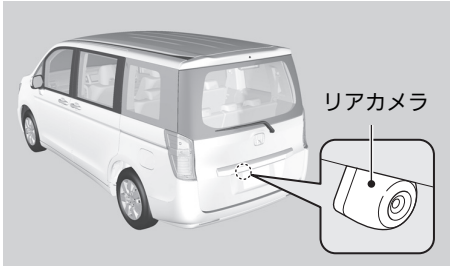


2. 予定を選択する。

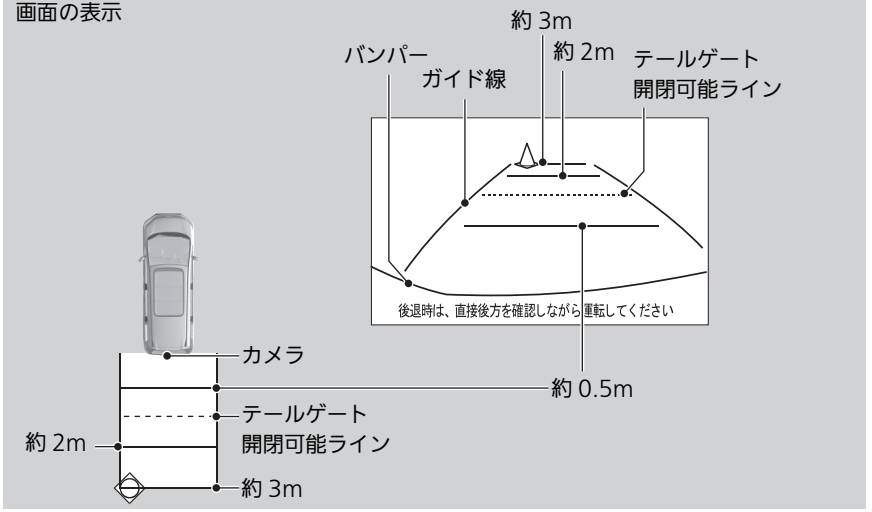
マイカースケジュールを設定する

カレンダー
カレンダー画面から日付を選択できます。

お客様のお車にはリアカメラが搭載されています。セレクトレバーを[R]に入れるとナビゲーションの画面に後方の映像が表示されます。また、バンパーの終端とガイド線も表示されます。



画面の表示



リアカメラシステム

マルチビューカメラシステム装備車は、別冊「マルチビューカメラシステム」をご覧ください。

カメラのレンズは常にきれいにし、ふさがれることがないようにしてください。リアカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。

セレクトレバーを[R]に入れているときは、ナビゲーションの操作はできません。

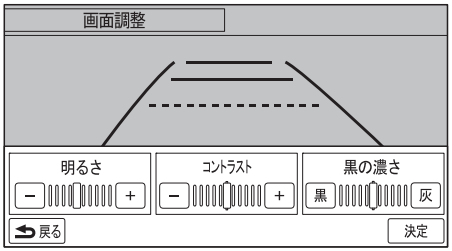
色調整や画面調整は、リアカメラの画像のみに適用されます。

ガイド表示を非表示にすると、再び表示に設定するまで非表示のままとなります。

画面ボタンを押すと以下の項目を選択できます。

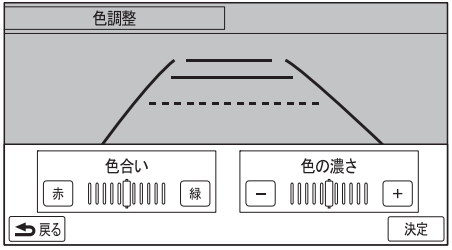
- **表示 OFF**:リアカメラの表示を消します。
- **画面調整**:明るさ、コントラスト、黒の濃さを調整します。
  ➡ **明るさやコントラストを調整する** P.251
- **色調整**:色合い、色の濃さを調整します。
  ➡ **色合いや色の濃さを調整する** P.251
- **ガイド表示**:ガイドの表示／非表示を切り換えます。

■明るさやコントラストを調整する



1. 各項目の −、+ または**黒**、**灰**を選択し、調整する。
2. **決定**を選択する。

■色合いや色の濃さを調整する



1. 各項目の**赤**、**緑**または −、+ を選択し、調整する。
2. **決定**を選択する。



困ったときは

困ったときは.....254
ナビゲーション 254
交通情報 255
ルート案内.....256
地図 257
携帯電話 258
オーディオ／ビジュアル.....260
リアエンターテインメントシステム ...266
リアカメラシステム 266
エラーメッセージ 267
ナビゲーション 267
通信 268
テレビ.....269
DVD、CD、MP3、WMA.....271
USB デバイス／ iPod..... 272
HDD サウンドコンテナ..... 274
マルチビューカメラシステム 275
リアエンターテインメントシステム .. 275

ナビゲーション

症状	対処法
バッテリーを交換後、現在地が東京になり、時刻もずれた。	GPS が現在位置を測位するまで、しばらくお待ちください。 バッテリーからの電源がしばらく供給されない場合、現在地や日時が工場出荷時の状態に戻ります。しかし、GPS 衛星からの電波を受信して測位が完了すると、正しい現在地、日時を示します。 しばらく待っても改善されない場合は、お近くの Honda 販売店にご相談ください。
現在地がよくずれる。	GPS アンテナ（インストルメントパネルの内部にあります）周辺に金属製の物が置かれている可能性があります。 金属製のトレー、小銭、携帯電話などが置かれていないか確認してください。 **現在地や軌跡の誤差について** P.286
地図にマークがたくさん表示されているので、減らしたい。	不要な施設マークを表示しないように設定して、見たいマークだけ表示させることができます。 メニューボタンを押し、**マーク / 地図変更** ▶ **施設マーク表示**の順に選択して表示しないマークの分類を選択し、**表示しない**を選択します。 **施設マークを選んで表示する** P.76
画面が表示されない。	• 画面表示が消えています。現在地ボタン、メニューボタン、目的地ボタン、画面ボタンのいずれかを押してください。 • 車内の温度が上がり、液晶画面が高温になっています。車内の温度が下がれば自動的に復帰します。
車の車幅灯をONにしても夜画面に切り換わらない。	車幅灯点灯時の減光が解除されています。イルミネーションコントロールの操作で車幅灯点灯時に減光するようにしてください。 イルミネーションコントロールの操作については車両本体の取扱説明書をご覧ください。
映像が暗い。	日没時刻が過ぎています。夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。（**地図色時刻連動**で**する**を選択している場合） **詳細設定** P.40
自車位置の誤差が大きくなった。	TV の 56ch を受信しています。TV のチャンネルを変えるか、TV を OFF にしてください。

交通情報

症状	対処法
地図上に VICS 情報が表示されない。	• VICSサービスのエリア外または対象外の道路を走行しています。VICSのサービスエリア外、およびVICS 情報対象外の道路では、VICS 情報は受信・表示されません。 • 未提供の情報があります。受信状況により提供される情報がすべてそろわない場合や、設置されているすべてのビーコンが稼動していない場合があります。 • 地図データベースが古い可能性があります。新設道路の情報は、地図データが古いと表示されません。 • 携帯電話が接続状態ではありません。インターナビの VICS 情報は、携帯電話を接続して受信してください。 **携帯電話を使う** P.190 • 「地図表示設定」の**渋滞表示**、**混雑表示**、**順調表示**などで**しない**が選択されています。メニューボタンを押し、**設定** ▶ **地図表示設定**の順に選択して、**渋滞表示**、**混雑表示**、**順調表示**などの設定を**する**にしてください。 **地図表示の設定** P.38 • 地図表示が 1km スケール表示より広域になっています。VICS 情報は、1km スケール以下でないと表示されません。地図表示を 10m ～ 1km スケール表示にしてください。
FM 多重情報が表示されない。	電波が届かない場所にいるか、地下や建物脇など受信状態の悪い場所にいます。受信状態によっては情報を表示できない場合があります。
ビーコン情報が表示されない。	ビーコン送受信機の上部およびその周辺に物を置くなどして、電波をさえぎっています。電波をさえぎらないようにしてください。 また、ビーコン送受信機の取付角度がずれていると受信しにくくなります。
VICS 情報の受信時刻が表示されない。 VICS 情報の受信履歴が更新されない。 急に VICS が受信できなくなった。	FM 多重放送が受信できていません。Honda 販売店にご連絡ください。
ときどき VICS が受信できない。	一時的なアンテナなどの断線、あるいは一時的に FM 多重放送が受信しにくい地域に入った可能性があります。再現性を確認し、問題を特定する必要があります。 発生した詳細な場所、状況、発生頻度などできるだけ詳しい状況を Honda 販売店にご連絡ください。

症状	対処法
渋滞情報が点滅になる。	「地図表示設定」の**渋滞表示**で**点滅表示**が選択されています。メニューボタンを押し、**設定** ▶ **地図表示設定**の順に選択して、**渋滞表示**の設定を確認してください。 ➡ **地図表示の設定** P.38
VICS を受信すると、目的地までのルートが変更される。	システムの仕様によるものであり、問題はありません。 メニューボタンを押し、**設定** ▶ **案内設定** ▶ **詳細設定**の順に選択して、**渋滞考慮オートリルート**で**しない**を選択してください。 ➡ **詳細設定** P.44

ルート案内

症状	対処法
地図の縮尺が、25m から 50m に自動で切り換わってしまった。	安全上の配慮から、市街地図表示時は地図の縮尺を広域にする仕様になっています。 走行速度が時速約 85km になると、地図は 50m スケールの市街地図になり、時速約 75km 以下になると元の縮尺に戻ります。
ルート案内中に音声案内が出ない。	案内音量が消音になっています。メニューボタンを押して**音声音量設定**を選択し、音量を調節してください。 ➡ **案内音量の調節** P.29
走行軌跡が表示されない。	走行軌跡を表示しない設定になっています。メニューボタンを押し、**設定** ▶ **地図表示設定**の順に選択して、**走行軌跡表示**で**する**を選択してください。 ➡ **地図表示の設定** P.38

地図

症状	対処法
最新の地図データに更新したい。	地図データ更新用 DVD で更新できます。(スマート全地図更新) インターナビ・リンク プレミアムクラブの会員サービスとして、初回車検時期に 1 度のみ、全地図データ更新用DVDを無償でご提供します。DVDは、ご指定のHonda販売店(Myディーラー)経由でお渡しします。初回車検時期以外は、有償にて更新を承ります。 地図更新の時期についてはインターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナル・ホームページや電子メールなどでお知らせしますので、必ずインターナビ・リンク プレミアムクラブへ会員登録してください。インターナビ・リンク プレミアムクラブへの会員登録の方法は、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。 ➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7
新しい道路ができているが、地図データに反映されていない。 ルートの周辺以外の新しい道路のデータを取得したい。	「internavi 情報」「新規道路・施設データ」から確認、ダウンロードができます。 メニューボタンを押し、**internavi 情報** ▶ **新規道路・施設データ**の順に選択すると、提供データの一覧を確認することができます。必要なデータを選択してダウンロードしてください。ご利用には通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。 ➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7
地図を更新したが、前の地図バージョンに戻したい。	地図データを更新すると、前のバージョンに戻すことはできません。
DVD での地図データ更新(スマート全地図更新)中に DVD を取り出してしまった。	地図データ更新中に DVD を取り出すと、更新が中断され、ナビゲーション機能が使用できなくなります。再度地図データ更新用 DVD を挿入してください。
新しい道路データのダウンロードは有償ですか?	HDD 収録の地図データ発行日から最大 1 年間は、無償でダウンロードできます。 提供期間終了後は、スマート全地図更新でのみ、新規道路データの更新が可能です。 車両付属の通信機器(インターナビ・データ通信 USB)でダウンロードした場合の通信費は無料です。 その他の通信機器でダウンロードした場合、通信費はお客様のご負担となります。 詳しくはインターナビ情報センター サポートデスクにご確認ください。 電話番号:0120-738147(会員専用) メールアドレス:*member@premium-club.jp* 営業時間:月〜土曜 9:30 〜 12:00、13:00 〜 18:00(祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

携帯電話

症状	対処法
対応している携帯電話が知りたい。	インターナビ ホームページの「対応通信機器について」をご覧ください。 ホームページ URL：*http://www.honda.co.jp/internavi/*
Bluetooth で接続できない。	設定方法が間違っている可能性があります。以下の 2 つの手順をお試しください。 **＜再接続する＞** **1.** 携帯電話の電源を入れ直す。 **2.** 携帯電話の取扱説明書を参考に、Bluetooth で接続する操作を行う。 **➡ Bluetooth で接続する** P.191 **＜登録内容を消去する＞** **1.** 携帯電話側の登録内容、および本システムに登録されている携帯電話を消去する。 **2.** Bluetooth で接続する操作を行う。 **➡ 登録した電話を消去する** P.195 **➡ Bluetooth で接続する** P.191
Bluetooth の設定方法がわからない。	インターナビ ホームページの「対応通信機器について」で、機種ごとの設定手順を PDF データで提供しております。 ホームページ URL：*http://www.honda.co.jp/internavi/*
インターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナル・ホームページログイン用暗証番号を忘れてしまった。	インターナビ情報センター サポートデスクにご連絡の上、再発行の手続きをお取りください。 電話番号：0120-738147（会員専用） メールアドレス：*member@premium-club.jp* 営業時間：月～土曜 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00（祝日・夏季休暇・年末年始を除く）
通信費はどのくらいかかる？	インターナビ交通情報の受信には、1 回あたり 150 ～ 200 パケット程度の通信費がかかります。 車両付属の通信機器（インターナビ・データ通信 USB）を利用した場合の通信費は無料となりますが、その他の通信機器を利用した場合の通信費はお客様のご負担となります。 お客様と携帯電話会社との契約プランにより異なります。

症状	対処法
回線接続できない。	• 携帯電話が接続状態になっていません。Bluetooth 接続対象に選択されている携帯電話を確認してください。 **➡ 別の電話機を選択する** P.192 • 接続しようとしている携帯電話と、Bluetooth 接続対象に選択されている携帯電話が異なっています。正しい携帯電話を選択してください。 **➡ 別の電話機を選択する** P.192 • インターネットプロバイダのユーザーID またはパスワードが正しいことを確認してください。 • 携帯電話に対応した接続先が正しく設定されていることを確認してください。 **➡ 携帯電話を使う** P.190 • 携帯電話の電波状態が良くない場所、または圏外にいます。再度操作しても接続できない場合は、電波状態が良い場所に移動してください。 • 回線が混み合っています。しばらくしてから、再度操作してください。 • キャッシュにデータが残っていると、回線接続不要と判断して接続されません。キャッシュに残っているデータを削除してください。
通信中に回線が切れてしまった。	• 携帯電話の電波状態が良くない場所、または圏外にいます。再度操作しても接続できない場合は、電波状態が良い場所に移動してください。 • インターネット上の回線やサーバーの負荷が高くなっているため、データを受信できません。しばらくしてから、再度操作してください。 • 何も操作をしていない場合には、回線交換方式では 3 分、パケット方式では 10 分で自動切断する仕組みになっています。

オーディオ／ビジュアル

症状	対処法
地上デジタル放送を見たい。	地上デジタル放送の 12 セグ放送およびワンセグ放送に対応しています。 アナログ放送には対応しておりません。
地上デジタル放送が受信できない。	• 電波が届かない、あるいは電波が弱い場所にいます。受信状況のよい場所へ移動してください。また、**12 セグ／ワンセグ切換**を **12 セグ固定**にしている場合は、設定を変えることで受信できる場合もあります。 ➡ **オーディオメニュー画面** P.142 • 放送局が休止しています。放送局が開始されるまで待つか、他のチャンネルを選局してください。
ワンセグ放送で映像表示サイズが小さい。	表示サイズが**中**になっています。表示サイズを**拡大**にしてください。 ➡ **オーディオメニュー画面** P.142
受信中のチャンネルの番組表を表示しない。	• 番組表の受信中です。番組表が受信されるまで、しばらくお待ちください。 • 電波が届かない、あるいは電波が弱い場所にいます。受信状況のよい場所へ移動してください。
番組表で受信中以外のチャンネルが選局できない。	• 放送局がプリセットされていません。番組表では受信中のチャンネルおよびプリセットされているチャンネルの番組を表示します。見たい放送局を受信するか、プリセットしてから番組表を表示してください。 • 番組表の受信が完了していません。見たいチャンネルに切り換えて、しばらくお待ちください。
d(データ放送)を選択しても、データ放送を表示しない。	• データ放送の受信が完了していません。しばらく待ってから再度 **d(データ放送)**を選択してください。 • ワンセグ放送を受信しています。ワンセグ放送受信中は、データ放送は表示できません。12 セグ放送を受信中に **d(データ放送)**を選択してください。
字幕や文字スーパーを表示しない。	• **字幕**で**表示なし**に設定しています。**言語 1** または**言語 2** に設定してください。 ➡ **機能メニュー画面** P.144 • 字幕や文字スーパーの無い番組です。字幕や文字スーパーのある番組に変えてください。字幕のある番組では、画面に「字幕有」を示すアイコンが表示されます。 • ワンセグ放送を受信しています。ワンセグ放送受信中は、字幕および文字スーパーの表示はできません。

症状	対処法
番組内容が変更される。	ワンセグと 12 セグで番組内容が異なる放送を受信しています。**12 セグ／ワンセグ切換**を**ワンセグ固定**または **12 セグ固定**に設定してください。 ➡ **オーディオメニュー画面** P.142
音楽 CD のタイトル情報が取得できない。	すべての CD のタイトル情報をサポートしているわけではありません。 また、工場出荷時期以降に発売された CD については、ハードディスク内のタイトル情報は対応しておりません。 通信機能を利用すれば、インターネットでタイトル情報を取得できますので、工場出荷時期以降に発売された CD のタイトル情報でも取得できる場合があります。 ➡ **タイトル情報を取得する** P.157
CD が録音されない。	CD の録音が中止されました。CD の録音制限を確認してください。
音や映像がとびとびになる。	走行中は振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあり、また画面の表示切り換えが遅くなることがあります。
ディスクを再生できない。	• ディスクが汚れています。汚れを拭き取ってください。 • 本システムで再生できない種類のディスクが入っています。ディスクを確認してください。 ➡ **使用できるディスク** P.185 • PAL 方式のディスクを挿入しています。NTSC 方式のディスクに交換してください。 • 本システムのリージョン番号と異なるディスクを挿入しています。リージョン番号が 2 または ALL のディスクに交換してください。 • ディスクの裏表が逆です。ディスクのレーベル面を上にして挿入してください。 • 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本システム内部のレンズやディスクが結露して正常な再生ができないことがあります。1 時間ほど放置して、自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。 • 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。温度が下がるまでお待ちください。
CD 再生中に、大きな雑音が出る。	• ディスクにキズやそりがあります。他のディスクと交換してください。
CD の再生が途中で止まる。	• ディスクが汚れています。ディスクの汚れを拭き取ってください。 • ディスクに曇りや水滴が付いています。ディスクの曇りや水滴を拭き取ってください。

症状	対処法
CD-R や CD-RW を再生できない。	ディスクがファイナライズされていません。ディスクをファイナライズしてください。 **使用できるディスク** P.185
MP3 ファイル／WMA ファイルを再生できない。	• 拡張子が付いていません。MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」を付けたデータの入った CD-R/RW に交換してください。
聴きたい MP3 ファイル／ WMA ファイルが見つからない。	• 320kbps を超えるビットレートで記録されています。ビットレートが 320kbps 以下で記録されたファイルを再生してください。
MP3 ファイル／WMA ファイル再生中に大きな雑音が出る。	MP3 形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けているか、WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けています。ディスクを交換してください。
MP3 ファイル／WMA ファイル再生中に音が出なくなる。	
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Joliet、Romeo に準拠して記録されていません。ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Joliet、Romeo に準拠して記録したディスクに交換してください。
MP3 ファイル／WMA ファイルの再生順が、記録した順と異なる。	MP3 ファイル／ WMA ファイルは、記録したときの順番で再生されない場合があります。 ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字（01、02 など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。
映像が見えない。	• 走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。 • ナビゲーションの画面になっています。AUDIO ボタンを押して、画面を切り換えてください。
DVD ビデオの音声が出ない。	• 静止画再生中です。静止画再生中は、音声を聴くことはできません。 • ディスク側の音声モードが dts 5.1ch になっています。本システムでは、dts 5.1ch の音声は再生できません。dts 5.1ch 以外の音声に切り換えてください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	ディスクに視聴制限がかかっています。視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 **視聴制限のレベルを変更する** P.176

症状	対処法
視聴制限を解除できない。	• パスワードが間違っています。正しいパスワードを入力してください。 **➡ 視聴制限のレベルを変更する** P.176 • パスワードを忘れてしまった場合は、パスワード未入力の状態で**修正**を 5 回続けて選択してパスワードを解除した後、新しいパスワードを設定します。 **➡ 視聴制限のレベルを変更する** P.176
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	• 複数の言語が記録されていない DVD ビデオでは、言語を切り換えられません。 • ディスク側のメニューでしか切り換えできないように制限されています。ディスク側のメニューで切り換えてください。
初期設定で選択した音声言語、字幕言語にならない。	再生中の DVD ビデオには、初期設定で選択した言語が記録されていないため、その言語には切り換わりません。
アングルを切り換えられない。	• 再生中の DVD ビデオには複数のアングルが記録されていないため、切り換えられません。 • 再生中の場面には、複数のアングルが記録されていません。複数のアングルが記録されている場面で、再度操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる、または暗くなる。	再生中のディスクには、コピー禁止信号がかかっています。 本システムはアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの現象が出る場合があります。故障ではありません。
⃠が画面に出て操作できない。	• ディスクが禁止している操作です。この操作はできません。 • ディスクの構造上、対応できない操作をしています。この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	• ディスク再生中にデータを読み取れなくなりました。**停止**を選択して、もう一度再生してください。 • ディスクが汚れています。他のディスクと交換してください。

症状	対処法
iPod が再生できない。	• 古い世代の iPod を接続しています。iPod の世代を確認してください。 ➡ **対応モデル** P.177 • iPod に曲が収録されていません。iPod に曲を収録してください。 • iPod のソフトウェアバージョンが正しくありません。最新のファームウェアをお使いください。 • iPod本体が操作できない状態になっています。iPodの取扱説明書を確認して、iPod本体をリセットしてください。
USB デバイスが再生できない。	• 認識できない未対応フォーマットのUSBデバイスが接続されています。USBデバイスの対応フォーマットを確認してください。 • USB デバイスに再生可能な音楽ファイルが記録されていません。USB デバイスに再生可能な音楽ファイルを記録してください。
MP3 ファイル／WMA ファイルが再生できない。	• 拡張子が付いていません。MP3ファイルには拡張子「.mp3」、WMAファイルには拡張子「.wma」を付けてください。 • 未対応のビットレートで記録されています。対応ビットレートを確認してください。
AAC ファイルが再生できない。	• 本システムで再生できるのは、iPod、USB デバイス内の AAC ファイルのみです。 • 拡張子が付いていません。AAC ファイルに拡張子「.m4a」を付けてください。 • 未対応のビットレートで記録されています。対応ビットレートを確認してください。 • iTunes でエンコードされたファイルではありません。iTunes でエンコードされたファイルをご使用ください。 • iTunes以外でタイトル情報が編集されています。タイトル情報の編集はiTunesで行ってください。
MP3 ファイル／ WMA ファイル／ AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る。 MP3 ファイル／ WMA ファイル／ AAC ファイル再生中に音が出なくなる。	拡張子が間違っています。正しい拡張子を付けてください。
聴きたい MP3 ファイル／ WMA ファイルが見つからない。	拡張子が付いていません。MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」を付けてください。

症状	対処法
聴きたい AAC ファイルが見つからない。	• 拡張子が付いていません。AAC ファイルに拡張子「.m4a」を付けてください。 • iTunesMusicStore で購入した音楽ファイルがあります。iTunesMusicStore で購入した音楽ファイルは、USB デバイスに記録しても表示・再生できませんので使用しないでください。
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ファイル名・フォルダ名に第1水準、第2水準範囲内の文字が使用されていることを確認してください。
iPod 接続時、iPod の操作ができない。	iPod 本体を USB ジャックに接続すると、iPod 側からの操作はできなくなります。Honda インターナビシステムの操作パネルで操作してください。
ランダム／アルバムランダム再生中に Podcast が表示されなくなる。	iTunes 側で、Podcast に「シャッフル時にスキップ」が設定されています。（通常 Podcast は、自動的に iTunes 側で「シャッフル時にスキップ」に設定されています。） Podcast 再生時は、ランダム／アルバムランダムを解除してください。または、iTunes で「シャッフル時にスキップ」のチェックを外してください。
iPod 本体を USB ジャックから外すと、iPod の「設定」→「リピート」が「すべて」になってしまう。	iPod 本体を USB ジャックに接続すると、iPod の設定が変更されます。iPod 本体を USB ジャックから取り外した後、必要に応じて設定を元に戻してください。
「Playlists」内に何も表示されない。	iPod 本体のプレイリストに何も収録されていないか、空のプレイリストがあります。必要に応じて、iPod 本体にプレイリストを収録してください。
iPodを接続してもSOURCE画面で「USB」が「iPod」に変わらない。	再度、接続を行ってください。何度か接続しなおしても認識しないときは、iPod がフリーズしている可能性があります。その場合は、iPod を取り外し、iPod の取扱説明書にしたがってリセットしてください。

リアエンターテインメントシステム

症状	対処法
電源が入らない。	エンジンスイッチを「I」または「II」にしてください。
画像が出ない。	リモコンで画面を ON にしてください。
画面が暗い、または白っぽい。	画質調整が正しくされていません。明るさ、コントラスト、黒の濃さを調整してください。 **➡ 画質を調整する** P.222
色が薄い、色合いが悪い。	色合い、色の濃さが正しく調整されていません。色合い、色の濃さを調整してください。 **➡ 画質を調整する** P.222
リモコンがきかない。	• 電池が消耗しています。電池を交換してください。 • 電池の極性を間違えて入れています。電池を入れ直してください。 • リモコンを信号受信部に向けて操作してください。 • リモコンと後席モニターの間に障害物があります。障害物を避けて、後席モニターの信号受信部にあたるよう操作してください。
画面に色の付いた縞模様が出たり、色が消える。	• ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行しているときには、画面が乱れることがあります。 • 車内で携帯電話や無線機を使用しているときには、画面が乱れることがあります。
テレビの画面が乱れたり、音が途切れる。	電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサイン、ラジオ放送局、アマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔などの近くを走行しているときには、画面が乱れたり、音が途切れたりすることがあります。
テレビの受信状態が急に悪くなった。	山かげ、ビルのかげ、トンネルなどに入ったとき、放送局から遠いところを走行しているとき、放送局が放送を停止しているときは、受信状態が急に悪くなることがあります。

リアカメラシステム

症状	対処法
カメラの画像が見えにくい。	• 夜間や雨の日、暗い場所やカメラが高温になっている場合、太陽光などの強い光がカメラに直接差し込んでいる場合などはカメラの画像が見えにくくなることがあります。目視やミラーで直接確認してください。 • カメラのレンズが汚れている、またはレンズに水滴や虫などが付いています。水や中性洗剤、ガラスクリーナーなどで汚れを拭き取ってください(レンズ損傷の原因となるので、ベンジンやシンナー、クレンザーなどの磨き粉類は絶対に使わないでください)。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
ハードディスクが読めません 詳細は取扱説明書をご覧ください	ハードディスクにデータが読み書きできない。ハードディスクの高温／低温または振動異常が発生した。	しばらく経っても通常の状態に復帰しない場合は、エンジンをかけ直してください。 それでも復帰しない場合は Honda 販売店にご相談ください。
液晶パネルの熱保護の為ディスプレイの電源を OFF します 車内の温度が下がれば画面は自動的に復帰します	ディスプレイが高温になったため、保護機能が働いた。	温度が下がるまでお待ちください。
ルート計算できませんでした	自車の近くに計算対象道路がない。	道路の近くに移動してから再計算してください。
	目的地または経由地の近くに計算対象道路がない。	目的地または経由地の位置を変えてください。
	目的地が遠すぎる。	途中に経由地を追加してください。
	到達可能なルートがない。(フェリー航路のない島への探索など)	目的地の位置を変えてください。

通信

メッセージ	原因	処置
1 分以上通信が行われなかったので回線を切断します	サーバーとの接続認証が 1 分以内に終わらなかった。	しばらく経ってから再接続してください。
携帯電話を確認してください	携帯電話が接続されていない。	携帯電話の接続を確認してください。
回線が混雑していますのでしばらく待ってから接続してください	接続先が話中などで接続できない。	しばらく経ってから再接続してください。
接続できません 通信設定をご確認ください	通信設定の接続先に誤りがある。	接続先の設定を確認してください。 ➲ **接続先を設定する** P.208 ➲ **新しい接続先を追加する** P.209
○分以上通信が行われなかったので回線を切断します	一定時間通信が行われなかった。	必要に応じて再接続してください。
情報を取得できません	サーバーからデータを受信できなかった。	しばらく経ってから再接続してください。

テレビ

メッセージ	原因	処置
信号が受信できません	電波が届かない。	受信状況のよい場所へ移動してください。
受信中です	電波が弱い、または届かない場合は長期間表示されます。	
系列局サーチ中 戻る:キャンセル	選局したチャンネルが長期間受信できない。	そのままお待ちいただくか、元のチャンネルをもう一度選局してください。
信号が受信できません またはこのチャンネルは現在休止中です	電波が届かない。	受信状況のよい場所へ移動してください。
このチャンネルは現在休止中です	放送局が放送を休止している。	放送が開始されるまでお待ちいただくか、他のチャンネルを選局してください。
この受信機は、ペイ・パー・ビュー番組に対応していません	ペイ・パー・ビュー番組を受信している。	本受信機ではペイ・パー・ビュー番組は視聴できません。
信号が受信できません 放送局(送信所)が変更されている可能性があるため設定よりチャンネルスキャンを行うことをおすすめします	周波数再配置(リパッキング)が実施された可能性がある。	再スキャンしてください。 ➔ **テレビの設定** P.145
地上デジタル放送をご覧になるためには B-CAS カード使用条件に同意する必要があります (地域設定から『B-CAS 同意』を実施してください)	「B-CAS カード使用許諾契約約款」への同意が完了していない。	B-CAS カードの同意操作を完了してください。 ➔ **B-CAS カード使用許諾契約約款** P.299
IC カードにアクセスできません 取扱説明書をご確認の上、問題が解決しない場合にはご購入の販売店にお問い合わせください	B-CAS カードが抜けた。	Honda 販売店へお問い合わせください。

メッセージ	原因	処置
この番組の視聴には契約が必要です 取扱説明書をご確認の上、問題が解決しない場合にはご購入の販売店にお問い合わせください コード(＊＊＊＊)	有料放送を視聴しようとしている。	Honda 販売店へお問い合わせください。コード番号は Honda 販売店へお問い合わせ頂く際に必要となりますので、控えておいてください。
IC カードにアクセスできません 取扱説明書をご確認の上、問題が解決しない場合にはご購入の販売店にお問い合わせください コード(EC01)	B-CAS カードが故障している。	Honda 販売店へお問い合わせください。 コード番号は Honda 販売店へお問い合わせ頂く際に必要となりますので、控えておいてください。
この IC カードは使用できません 取扱説明書をご確認の上、問題が解決しない場合にはご購入の販売店にお問い合わせください コード(＊＊＊＊)	カードに何らかの問題がある。	Honda 販売店へお問い合わせください。コード番号は Honda 販売店へお問い合わせ頂く際に必要となりますので、控えておいてください。
この IC カードには必要な情報がありません 取扱説明書をご確認の上、問題が解決しない場合にはご購入の販売店にお問い合わせください コード(＊＊＊＊)		
B-CAS カード温度異常のため動作できません	地上デジタルテレビチューナー本体の内部温度が高い。	内部温度が正常に戻るまでお待ちください。

DVD、CD、MP3、WMA

メッセージ	原因	処置
ディスクが読み取れません 取扱説明書をご覧ください	ほこりなどでディスクの表面が汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再生してください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのあるディスクは使用しないでください。
	ディスクの表裏を逆にしてセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
	本システムで再生できないディスクを使用している。	本システムで再生できるディスクに交換してください。 **使用できるディスク** P.185
ディスクを取り出し内部温度が正常に戻るまでお待ちください	ナビゲーション本体の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
高温のため録音できません		
低温のため録音できません	Honda インターナビシステム本体の内部温度が低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
ハードディスクに空き容量が不足しています 録音を停止します	ハードディスクの容量が足りないため録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 **HDD サウンドコンテナの設定をする** P.154
ハードディスクに空き容量が不足しています この曲は録音できません		
このトラックはすでに録音されています	録音済みのトラックを手動録音しようとしている。	録音済みのトラックは同じ CD から重複して録音できません。
録音できませんでした	CD が正常に読み込みできなかった。	ディスクを確認してください。
再生できない地域のディスクです	PAL 方式で記録された DVD ビデオディスクを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ビデオディスクを使用してください。

メッセージ	原因	処置
リージョンコードが違います ディスクを取り出してください	本システムのリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョンコード「2」を含むディスクに交換してください。
メカエラーのため再生できません 取扱説明書をご覧ください	ディスクドライブが正常動作できなかった。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。正常なディスクを使用しても改善されない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
このディスクは対応していません 取扱説明書をご覧ください	本システムで再生できないディスクを挿入した。	正しいディスクを挿入してください。 ➡ **使用できるディスク** P.185

USB デバイス／ iPod

メッセージ	原因	処置
エラーが発生しました 取扱説明書をご覧ください	USB ジャックに問題が発生した。	• iPod 本体または USB デバイスを USB ジャックから取り外し、再度接続する。 • ⏻AUDIO ボタン（マルチビューカメラシステム搭載車の場合はボリュームノブ）を押してオーディオの電源を OFF にしてから ON にする。 • エンジンスイッチを「0」にした後に、「I」または「II」にする。 いずれの操作でも復帰しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
再生できませんでした	対応していない音楽ファイルを再生しようとした。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	音楽ファイルの形式にあった拡張子が付けられていない。	MP3 ファイルには「.mp3」、WMA ファイルには「.wma」、AAC ファイルには「.m4a」を付けてください。
	著作権保護のエラーが発生した。	著作権保護付きの WMA ファイルは再生できません。WMA ファイルを記録するときは、著作権保護が付いていないものにしてください。

メッセージ	原因	処置
再生可能な音楽が録音されていません 取扱説明書をご覧ください	iPod に曲が収録されていない。	iPod に曲を収録してください。
	USB デバイスに再生可能な音楽ファイルが記録されていない。	USB デバイスに再生可能な音楽ファイルを記録してください。
この機器は再生できません 取扱説明書をご覧ください	認識できない未対応フォーマットの USB デバイスが接続されている。	USB デバイスの対応フォーマットを確認してください。
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	最新のファームウェアをお使いください。
	USB ジャックに対応していない機器が接続されている。	USB ジャックに対応している機器を接続してください。 **使用できる USB デバイス** P.181
	iPod の認証に失敗した。	• iPod 本体を USB ジャックから取り外し、再度接続する。 • ⏻AUDIO ボタン（マルチビューカメラシステム搭載車の場合はボリュームノブ）を押してオーディオの電源を OFF にしてから ON にする。 • エンジンスイッチを「0」にした後に、「I」または「II」にする。 いずれの操作でも復帰しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

HDD サウンドコンテナ

メッセージ	原因	処置
この CD は録音できません	コピー禁止のディスクから録音しようとしている。	別のディスクに交換してください。
高温のため録音データが読めません	Honda インターナビシステム本体の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、温度が正常に戻るまでお待ちください。
サウンドコンテナの再生・録音機能は利用できません	著作権保護のための録音抑止状態です。	著作権保護のため、法人登録車ではHDDサウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。
ハードディスクが読み取れません	振動などによりハードディスクのデータが読めない。	安全な場所に停車し、しばらくお待ちください。
低温のため録音データが読めません	本システムの内部温度が低い。	温度が正常に戻るまでお待ちください。
ハードディスクに異常があります 販売店にご相談ください	ハードディスクに異常がある。	Honda 販売店にご相談ください。
再生できませんでした	HDD サウンドコンテナの音楽データに異常がある。	
CD の録音に問題が発生しました 録音を停止します	録音動作に異常がある。	
サウンドコンテナの管理情報を再構築します エンジン KEY は OFF せずにお待ちください	HDD サウンドコンテナのデータ保存が中断された。	メッセージが消えるまでしばらくお待ちください。

マルチビューカメラシステム

メッセージ	原因	処置
カメラの操作はエンジン始動後行ってください	エンジン始動後でも表示される場合は、マルチビューカメラシステムの電源ヒューズが切れている。または、マルチビューカメラシステムが通信故障している。	Honda 販売店にご相談ください。

リアエンターテインメントシステム

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません 取扱説明書をご覧ください	DVD 再生機能に機械的な不具合が発生した。	しばらくしてもエラーメッセージが消えない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。
リージョンコードが違います ディスクを取り出してください	本システムのリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号「2」を含むディスクに交換してください。
ディスクを交換して視聴レベルを変更してください	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除するか、レベルを変更してください。
再生できない地域のディスクです	PAL 形式のディスクを挿入した。	本システムで再生できるディスクに交換してください。 **使用できるディスク** P.185
ディスクを取り出し内部温度が正常に戻るまでお待ちください	DVD 再生機能部が高温になっている。	温度が下がるまでお待ちください。
ディスクが読み取れません 取扱説明書をご覧ください	ディスクの表面が汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクの表面にキズやそりがある。	キズやそりのあるディスクは使用しないでください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再生してください。
	ディスクの裏表を逆に挿入した。	ディスクのレーベル面を上にしてください。

メッセージ	原因	処置
このディスクは対応していません 取扱説明書をご覧ください	本システムで再生できないディスクを挿入した。	本システムで再生できるディスクに交換してください。 ➡ **使用できるディスク** P.185
前席が操作中です	前席のみ操作できる項目を表示している。	前席の操作が終わるまでお待ちください。
前席が映像系以外のソースです 映像系のソースに変更してください	AUDIO ソースが DVD、ビデオ、テレビ以外になっている。	AUDIO ソースを DVD、ビデオ、テレビに切り換えてください。
前席がリアカメラ映像を表示中のため映像を表示することができません	前席でリアカメラ映像を表示している。	リアカメラ映像表示が終了するまでお待ちください。
前席の AUDIO 電源を入れてください	前席の AUDIO 電源が OFF になっている。	前席の AUDIO 電源を ON にしてください。



情報

ナビについてもっと知る.....278
ナビゲーションシステムのしくみ.....278
ルートについて 278
VICS について.....279
GPS について 285
現在地や軌跡の誤差について.....286
用語集.....287
ハードディスクナビに関する注意点.....291
地図データを更新する 292
通信で認証する場合 292
販売店で認証する場合.....292
地図データ更新について 292
地図データを更新したら 293
商標、使用許諾について..... 294
商標..... 294
地図データ 294
Gracenote サービスについて 295
VICS 情報有料放送サービス契約
約款..... 297
地上デジタルテレビチューナーに
ついて 299

ナビゲーションシステムのしくみ

ナビゲーションシステムとは、自車のセンサーや人工衛星から集めた情報を基に、自車位置や方向を地図上に表示するシステムです。
ナビゲーションシステムは、以下の 3 つで成り立っています。

- 3D ハイブリッドセンサー
  車の方向を調べ、走行距離や高度差を測定します。現在地を見つけるセンサーです。
- コンピューターハードディスクドライブ
  走行軌跡と地図を照合して、現在地のずれを補正します。
- GPS(グローバル・ポジショニング・システム)
  人工衛星を使って、現在地を見つけます。

ルートについて

■ ルート計算の仕様

交通規制情報は、ルート計算時のものを反映します。

ルート計算(学習ルートを含む)は、100m スケールの地図に表示されている道路が対象です。市街地図にだけ表示される道路は対象外です。なお市街地図に表示されない道路でも、100m スケールの地図に表示されていれば市街地図ルートを表示します。

すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。

■ ルート計算のしかた

最初の案内地点は、道路前方にあって自車から最も近い交差点です。

最終案内地点は、目的地から最も近い道路にある直近の 2 つの交差点のうち、どちらか一方です。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い道路との交差点が最終案内地点です。

VICS 情報を考慮したルート、フェリーを使用するルートなどでは、他に適切なルートがないと回避エリアが適用されないことがあります。

通常のルート計算では条件の違う 5 本のルートを計算しますが、推奨できるルートが 5 本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。

経由地の設定、入口／出口 IC の指定、自宅ルート計算のいずれかを行った場合、ルートは 1 本のみ計算されます。

出発地～ルート表示開始点、ルート表示終了点～目的地までの距離が遠い場合があります。また、場所によってはルート計算ができないことがあります。

■ ルート表示

出発地、目的地、経由地の前後ではルートが途切れて表示される場合があります。この場合でも、音声案内は継続します。

■ 音声案内

オートリルートされると、元のルートに復帰する地点は案内されません。

高速道路の IC 出口を目的地に設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

■ 交差点拡大図

最初の案内地点では、交差点拡大図が表示されないことがあります。

交差点によっては、施設マークは音声案内されない場合があります。

■ 5 ルート表示画面での高速料金

特殊な料金体系の高速道路では、正しい料金が表示されない場合があります。

一般有料道路は、一部路線のみ料金表示に対応しています。

高速道路上およびランプ上からルートを計算したとき、および高速道路上に目的地を設定したときは、高速道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく表示されない場合があります。

■ オートリルート

目的地や経由地付近に時間規制がある場合、ルート設定時は通行できても、走行中に通行不可となることがあります。このような場合、オートリルートは失敗し誘導は中止されますので、目的地や経由地の場所を変更してください。

VICS について

■ VICS 情報の集めかた

道路・交通に関するさまざまな情報（渋滞、駐車場、規制情報など）は VICS センターに集められ、以下の方法で最新の道路交通情報（VICS 情報）として提供されます。

- 電波ビーコン
  主に高速道路をカバーしており、電波を使ったビーコンで情報を提供します。
- 光ビーコン
  主に一般道路をカバーしており、赤外線を使ったビーコンで情報を提供します。
- FM-VICS
  広域をカバーしており、VICS 情報を受信する FM 局のある都道府県内とその周辺の交通情報を提供します。ただし、渋滞回避ルート誘導用のデータは含みません。
- インターナビ交通情報
  全国をカバーしています。VICS センターからの情報をインターナビ情報センターに集積し、そこでさまざまな Honda 独自の情報（フローティングカー、気象、駐車場、渋滞予測情報）を加え、携帯電話経由で提供します。出発地にいながら、目的地までの情報を取得できます。

■ VICS 情報の表示

VICS 情報のご利用には、月々の情報料は不要です。情報料はお買い上げいただいたシステムの価格に含まれており、その一部が FM 多重放送の有料放送視聴料となっています。ただし、インターナビ情報センターから情報を受信する場合は、通信料が発生します。

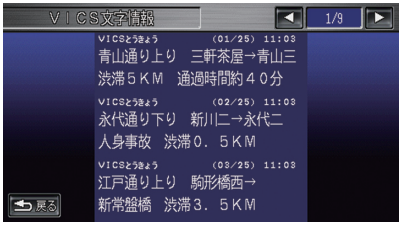
➡ **VICS情報有料放送サービス契約約款** P.297

■ VICS 情報の画面表示

運転者は、VICS センターから提供される次のような道路交通情報を、レベル１～３の３種類の表示形態で活用できます。

渋滞情報（順調情報も含む）／旅行時間情報／交通障害情報／交通規制情報／駐車場情報

- レベル１　文字情報



文字で交通情報を案内します。
ただし、走行中は安全のため「インターナビ/VICS 設定」の**文字情報割込み**が**する**の場合、緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報のみ割り込み表示されます。

- レベル２　図形情報



簡易地図イラストなどで交通情報を案内します。

- レベル３　地図、高速／行程ガイド





走行中画面に交通情報を表示して案内します。

■ ビーコン情報の自動表示

別売のビーコンアンテナキット装着時は、ビーコンから図形情報または文字情報(緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報)を受信すると、自動的にその内容を表示(割り込み表示)します。表示された情報は、しばらくすると自動的に消えます。

- 交差点案内表示中は、ビーコン情報は表示されません。
- ビーコン情報を自動表示させないようにすることもできます。
  ➡ **インターナビ／ VICS の設定** P.51

■ 緊急／注意警戒情報の自動表示

地震、津波、通行止などの緊急情報や走行中注意警戒が必要となる情報を受信すると、自動的にその内容を表示します。
確認を選択すると、地図画面に戻ります。

■ 文字情報について

以下の情報を受信できます。

FM 多重放送
緊急情報、ことわり情報、渋滞、規制・事故、旅行時間、お知らせなどの文字情報

電波ビーコン
緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報、障害情報

光ビーコン
緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報、メッセージ情報

■ VICSセンターからのおことわり

VICS センターは、何らかの理由により情報が送信できなくなった場合、メッセージを送信します。

- 「インターナビ／ VICS 設定」の**文字情報割込み**が**する**に設定されている必要があります。
  ➡ **インターナビ／ VICS の設定** P.51
- 自動割り込みされたメッセージは、**割込情報**から再度表示することができます。
  ➡ **VICS 情報を確認する** P.111

■ VICS を使ったルート計算

VICS 情報を考慮したルート計算や再計算では、受信済みの情報が考慮されます。

一般道路で渋滞情報を考慮してVICSルート計算を行うには、光ビーコンまたはインターナビ交通情報からの VICS 情報が必要です。高速道路では、電波ビーコン、FM 多重、インターナビ交通情報からの VICS 情報が必要です。

VICS ルート計算は、リンク旅行時間情報、規制情報(通行止め、ランプ閉鎖など)を使用して行います。リンク旅行時間情報は、高速道路では電波ビーコン、FM 多重、インターナビ交通情報から、一般道路では光ビーコン、インターナビ交通情報から提供されます。また規制情報は、電波ビーコン、光ビーコン、FM 多重、インターナビ交通情報から提供されます。

■5 ルート表示

標準または**一般道優先**では、VICS 情報のリンク旅行時間情報と規制情報を考慮したルートを案内します。**距離優先**、**道幅優先**、**別ルート**では、VICS 情報の規制情報を考慮したルートを案内します。

次ページに続く

■渋滞考慮オートリルート

渋滞考慮オートリルートは、渋滞や規制が著しく進行を妨げると判断された場合や、他に適切なルートがあると判断された場合に行われます。また、再計算されたルートにも渋滞が発生している場合があります。

- 「案内設定」の**渋滞考慮オートリルート**が**する**に設定されている必要があります。
  ➡ **詳細設定** P.44

■VICS 音声案内

ルート案内中は、通常の音声案内に加え、VICS による交通規制、災害、事故、渋滞の発生や故障車の存在などの情報も音声案内されます。

VICS 音声案内では、VICS 情報の更新ごとに、ルート上の VICS 情報を案内します。

■ インターナビ交通情報によるルート計算

通常のルート計算後に、インターナビ交通情報を自動的に受信してルートを再計算します。また、ルート案内中にインターナビ情報センターに接続して VICS 情報を取得したときは、渋滞情報などを考慮してルートを再計算します。新しいルートが見つかると、自動的にルートが更新されます。

- 「案内設定」の **VICS ルート計算**が**する**に設定されている必要があります。
  ➡ **詳細設定** P.44

■5 ルートのとき

標準または**一般道優先**では、VICS 情報のリンク旅行時間情報と規制情報を考慮したルートを案内します。**距離優先**、**道幅優先**、**別ルート**では、VICS 情報の規制情報を考慮したルートを案内します。

■インターナビ情報センターへの接続

受信中でも、**回線切断**を選択すると接続は中止されます。

■渋滞予測情報

インターナビ交通情報では、過去の VICS 情報に統計・予測処理を行って作成した渋滞予測情報（予測リンク旅行時間情報）を提供します。この情報は、VICS ルート計算や到着予想時刻に反映されます。

予測リンク旅行時間情報が提供されている箇所でも、地図上に表示される渋滞、混雑、順調を示す矢印は予測情報ではありません。よって、地図で順調と示されていても、予測リンク旅行時間情報が長いとその箇所を避けるルートを案内する場合や、渋滞でも予測リンク旅行時間情報が短いとその箇所を通るルートを案内する場合があります。

■ インターナビ・フローティングカーシステム

インターナビ・リンク プレミアムクラブ会員様の走行路線および走行時間の情報です。この情報を統計処理して共有することで、通常の VICS 情報よりも正確なルート計算が可能です。この仕組みを応用して、都市高速のジャンクションの手前などでは、方面車線別の走行所要時間を考慮したルートを提供します。

- この情報から、個人は特定されません。
- 提供いただいたフローティングカー情報は、交通情報作成のための処理を行う以外の目的では一切使用しません。
- フローティングカー情報のインターナビ情報センターへの提供およびインターナビ・フローティングカー情報の受信は、「インターナビ /VICS 設定」の**フローティングカー情報**が**する**に設定されている場合に行われます。
  ➡ **詳細設定** P.54

■ VICS 使用時のメッセージ

規制

状況	音声案内
通行止めの規制がある	この先通行止めです
速度規制がある(例:時速50km規制)	この先 50 キロ規制です この先徐行区間です
車線規制がある	この先車線規制があります
片側規制がある	この先対面通行です この先片側交互通行です
チェーン規制がある	この先チェーン規制があります
オンランプ・オフランプ規制がある	この先ランプ閉鎖です

事象

状況	音声案内
事故発生	この先事故発生地点です
火災発生	この先火災発生地点です
故障車がある	この先故障車があります
路上障害物がある	この先障害物があります
工事箇所がある	この先工事中です
作業箇所がある	この先作業中です
気象の案内	この先雨です この先凍結があります
災害発生	この先災害があります この先土砂崩れがあります

渋滞

状況	音声案内
渋滞	この先渋滞です
混雑	この先混雑しています

■ VICS 情報が受信しにくい状況

以下のような状況では、VICS 情報が良好に受信できないことがあります。受信が完了するまでの所要時間は、電波状況により変化します。

■電波ビーコン／光ビーコン

- 大型車の近くを走行中
- 太陽光やネオンサインの影響がある
- 高架下を走行中
- 受信機の周辺に物を置く
- 積雪などのしゃへい物がある
- VICS センターのメンテナンス中

■FM 多重放送

- 近くに高圧線／信号機／ネオンサインがある
- トンネル内を走行中
- 高架下を走行中
- 障害物となる建物や山がある
- 放送局から遠く離れている
- VICS センターのメンテナンス中

■インターナビ交通情報

- 携帯電話の電波状況が悪い
- トンネル内を走行中
- インターナビ情報センターのメンテナンス中

■ 注意事項

- エンジン始動直後や放送局が切り換わった直後は、受信済み情報から表示されるため、受信完了していないページがとばされることがあります。
- 電波ビーコン、光ビーコン、FM 文字多重の各形態から提供される情報の密度や対象道路は、それぞれ異なっている場合があります。また情報はおよそ5分間隔で更新されるため、地図上の VICS 情報表示が増減する場合があります。
- 約30分間新しいVICS情報が受信されない場合、データが自動的に消去され、表示が消えることがあります。
- 渋滞情報は VICS センターでの収集、編集、送信に 5 ～ 10 分程度の時間がかかるため、実際の状況が変化している場合があります。
- VICS リンクの番号が更新されると、今まで VICS 情報が表示されていた道路で表示されなくなる場合があります。
  地図データを更新して本システムの VICS リンク番号が更新されれば、再度正しく表示するようになります。
- VICS リンクの更新は年 1 回行われます。新しくできた道路、なくなった道路、新たに VICS リンクとして定義された道路がある場合は、それらに接続する道路の VICS リンク番号が変更されることがあります。VICS リンク番号の変更については、VICS センターにお問い合わせください。
- VICS センターで情報収集している駐車場のみ、VICS 情報を表示します。
- 遠くの通行止め、ランプ閉鎖は迂回しない場合があります。
  走行中に通行止めやランプ閉鎖のある場所に近づくと、渋滞考慮オートリルート機能によってルート計算します。

■ VICS センターの運用時間

FM 多重放送
24 時間（ただし月曜日の午前 1 ～ 5 時は運用休止）

ビーコン、インターナビ
24 時間

■ お問い合わせ先

巻末の本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡ください。

- VICS 車載器の調子や使用方法
- VICS 車載器の受信可否
- 地図表示（レベル 3）の内容
- VICS 情報の受信エリア
- VICS 情報の内容の概略
- インターナビ交通情報の簡易図形表示の内容

下記の VICS 関連については VICS 情報問い合わせ先までご連絡ください。

- 文字表示（レベル 1）の内容
- 簡易図形表示（レベル 2）の内容
- VICS の概念
- サービス提供エリア

VICS 情報問い合わせ先
受付番号：0570-00-8831

- 全国から市内通話料金でご利用になれます。
- PHS、IP 電話などからはご利用できません。

電話受付時間：9:30 ～ 17:45（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
受付 FAX 番号：03-3562-1719（全国）
FAX 受付時間：24 時間

ホームページアドレス:
http://www.vics.or.jp/
VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。
なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、巻末の本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡いただくことをお勧めします。

GPS について

Honda インターナビシステムでは、GPS と自立航法の 2 つの方法で位置を決めます。

■GPS による測位

GPS(Global Positioning System: グローバル・ポジショニング・システム)とは、GPS 衛星から位置測定用の電波を受信して現在地を測位するシステムです。
GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000km に打ち上げられており、3 つ以上の衛星から電波を受信すると、測位が可能になります。GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

3 次元測位
緯度／経度／高度で測位します。4 個以上の GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときの測位方法です。

2 次元測位
GPS 衛星電波の受信状態があまり良くないときは、緯度／経度の 2 次元で測位します。高度は測位できないため、3 次元測位よりも測位の誤差がやや大きくなります。

■自立航法による測位

走行距離を車速パルスから、また曲がった方向を振動ジャイロセンサーから検出して現在地を割り出す方法です。

■ GPS と自立航法を組み合わせた測位の特徴

- GPS 衛星の電波が受信できなくても、自立航法で測位できます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPS と自立航法を組み合わせると、GPS 測位で自立航法のずれが修正されるため、測位精度が高くなります。

■ 測位の精度を高めるためのしくみ

■3D ハイブリッドセンサー

3D ハイブリッドセンサーを内蔵しています。車速パルスとジャイロセンサーによる自立航法に加え、傾斜センサーで検出した高度差を考慮する高精度3Dハイブリッドシステムで高精度な測位が可能です。

誤差の学習や補正
3D ハイブリッドセンサーは、自身で計算した現在地と GPS 測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。
その学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。
走行を重ねるにつれて学習が蓄積されるため、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

■マップマッチング

GPS や自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が河川など道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。
本システムでは、GPS と自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能です。

現在地や軌跡の誤差について

■ GPS 測位不可による誤差

- 2 つ以下の GPS 衛星の電波しか受信できないときは、測位できないことがあります。
- 次のような場所では、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、測位できないことがあります。
  - トンネルの中やビルの駐車場
  - 高層ビルの群集地帯
  - 2 層構造の高速道路の下
  - 密集した樹木の間
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  - 車載テレビで 56 チャンネル（UHF）を受信している。
  - GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
  - GPS アンテナの上部やまわりに金属製の物を置いている。
  - ウインドーに金属を含有するウインドーフィルムなどを貼り付けている。このようなフィルムは、感度が低下したり、電波を受信できなくなったりすることがあります。

■ GPS 衛星自体による誤差

- GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）は、十分な精度が得られないことがあります。
- GPS 測位の高さ方向に関する精度は、水平方向よりもやや低くなります。これは、自車よりも上にある衛星の電波は受信できても、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないので、高さに関して十分な比較ができないためです。

■ その他の誤差

以下のような場合は、現在地がずれやすくなります。

- 角度の小さな Y 字路を走行
- 高低差のある道を走行
- 高速道路と側道が近接している
- 緩やかなカーブを走行した後
- チェーンを装着／タイヤを交換した
- 旋回や切り返しが続いた
- タイヤがスリップしやすい状況
- ターンテーブルでの旋回
- GPS が受信できなくなっていた
- 蛇行運転をした
- ヘアピンカーブが続いた
- ループ橋などを通った
- 地図にない道を通った
- 渋滞などで、低速で発進、停止を繰り返した
- 車輌運搬車などで移動した
- 碁盤の目状の道路を走った
- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた

■ その他

- 本システムが作動したあとすぐに走行すると、測位までの時間が長くなります。
- 一度電源が切れた場合（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたとき）は、測位までの時間が長くなります。

用語集

インターナビ・リンク プレミアムクラブ
本システムオーナーの方にご加入いただく会員制度です。Honda 独自のテレマティクスサービス、無償・有償の地図更新サービス（スマート地図更新サービス）、パソコンおよび携帯電話のパーソナル・ホームページなど、さまざまなドライブサポートをご提供します。インターナビ・リンクプレミアムクラブについては、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。
➔ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7

オートリルート
ルート案内中に推奨ルートを外れてしまったとき、自動的に他のルートを探して元のルートに戻す機能です。
➔ **ルートから外れたら** P.110

カスタマイズメニュー
よく使う機能をすぐに呼び出せるメニューです。標準操作モードのみの機能です。
➔ **カスタマイズメニューを使う** P.61

傾斜センサー
自車の上り下りを調べる部品です。
➔ **測位の精度を高めるためのしくみ** P.285

施設マーク
お店や施設を地図上で見やすくするために、イラストで表現したマークです。
➔ **施設マークの表示／非表示** P.76

車速センサー
車の走行速度を測定する部品です。
➔ **測位の精度を高めるためのしくみ** P.285

振動ジャイロセンサー
車の方向を調べる部品です。
➔ **測位の精度を高めるためのしくみ** P.285

スマート IC
ETC 専用のインターチェンジのことです。
➔ **ルート案内の設定** P.43

走行軌跡
自車が走ってきた軌跡を点線で表示します。
➔ **ルート案内中の地図画面** P.12

ダイナミックレンジコントロール
DVD ビデオ再生時に小さい音と大きい音の幅を一定に制御し、小さな音や大きな音でもききやすくする機能です。
➔ **DVD ビデオの設定** P.175

駐車場オートガイド
推奨する駐車場へ自動的に案内する機能です。「駐車場セレクト」で条件を設定していないときは、現在地から駐車場までの距離、駐車場から目的地までの距離などを考慮した駐車場を推奨します。
➔ **最寄りの駐車場に行く** P.128
➔ **駐車場セレクトの設定** P.53

駐車場セレクト
インターナビ交通情報の駐車場情報を、あらかじめ設定した条件で表示させる機能です。表示順位を決めたり、表示する駐車場を絞り込んだりすることができます。
➔ **駐車場セレクトの設定** P.53

パーソナル・ホームページ
インターナビ・リンク プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けのサービスで、自宅のパソコンからルート計算したり、車のメンテナンス状況を管理したりすることができます。
➔ **マーク地点を活用する** P.75

非表示設定データ
お客様自身で非表示設定することで、個別に表示させないようにした施設マークです。実際に

次ページに続く

はなくなった施設が地図データに残っているとき、この操作を行うと便利です。
「ユーザー施設マーク」と合わせて最大 100 件まで登録できます。
➡ **非表示設定データに登録する** P.77

ビーコン
VICS 情報を送信する装置で、道路脇に設置されています。設置場所周辺の交通情報は、ここから送信されます。
電波ビーコンおよび光ビーコンの情報は、ビーコンアンテナキット（別売）を装着して受信できます。ビーコンアンテナキットについては、Honda 販売店にご相談ください。
➡ **VICS 情報の集めかた** P.279

マップコード
任意の地点の位置をコード化し、1 ～ 12 桁の番号と「＊」（アスタリスク）で表したものです。住所では表わせないところも特定することができます。
マップコードについては、デンソーコミュニケーションズのホームページをご覧ください。
➡ **マップコードから探す** P.102

マップマッチング
走行している道路から外れた位置に自車位置マークを表示するなどの誤差に対し、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正することで、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。
➡ **測位の精度を高めるためのしくみ** P.285

ユーザー施設マーク
お客様自身で登録した施設マークです。地図データにはない施設を追加するときに便利です。
「非表示設定データ」と合わせて最大 100 件まで登録できます。
➡ **ユーザー施設マークの編集** P.80

リンク旅行時間
交差点～交差点など、区切られた区間（リンク）の通過所要時間です。Honda インターナビシステムは、主にこの情報を積算することでルート計算を行います。（FM-VICS 情報には一般道のリンク旅行時間は含まれていません。）

ワンプッシュメニュー
地図の向きを変えたり、前回検索した地点を表示する操作をすぐに行えるメニューです。簡単操作モードのみの機能です。
➡ **カスタマイズメニューを使う** P.61

AAC（エー・エー・シー）
Advanced Audio Coding の略で、映像の圧縮規格である MPEG-2 や MPEG-4 で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍の圧縮効率で、音質はほとんど変わりません。
AAC ファイル内には曲名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名などの情報が「ID3 Tag」や「MPEG-4 header」と呼ばれるデータで記録されており、パソコンなどでその情報を表示することができます。

Bluetooth（ブルートゥース）
パソコン、ミュージックプレーヤー、デジタルカメラなどの電子機器同士をワイヤレスで通信できる最先端のテクノロジー規格です。
本システムでは、Bluetooth 対応の携帯電話を無線接続して通信機能を使用することができます。
➡ **携帯電話を使う** P.190

CD-TEXT
CDのタイトルやアーティストなどの文字情報が収録されている CD です。
➔ **使用できるディスク** P.185

d(データ放送)
番組とは別に、放送局の情報や天気予報、放送中の番組の詳細な情報などを確認できるサービスです。
➔ **オーディオメニュー画面** P.142

dts(ディー・ティー・エス)
Digital Theater Systems(デジタル・シアター・システム)の略称です。世界の約 27,000 スクリーン以上の映画館で採用されている劇場用デジタル・サウンド・システムの新方式です。

EPG
Electronic Program Guide の略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。
表示されるチャンネルは、物理チャンネル番号と 3 桁チャンネル番号の 2 種類です。本システムでは、13〜62chの物理チャンネルを受信できます。
➔ **オーディオメニュー画面** P.142

ETC
Electronic Toll Collection System の略で、自動料金収受システムのことです。

GPS(ジー・ピー・エス)
Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム)の略称です。3 つ以上の GPS 衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。
➔ **GPS について** P.285

internavi ルート
インターナビ情報センターが、蓄積したノウハウとさまざまな情報からお客様のニーズに応じたルートを計算します。
本システムでは、インターナビ情報センターが計算したルートを受信し、利用することができます。
➔ **internavi ルートに変更する** P.119

MP3(エム・ピー・スリー)
MPEG-1 Audio Layer3 の略称で、MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の一つです。
MPEG とは Motion Pictures Experts Group の略で、ビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。

vCard 形式
vCard 形式とは名刺データの共通フォーマットです。本システムは Ver.2.1 および 3.0 に対応しています。
- vCard 対応のメールソフトや住所録のソフトがあれば、その中のデータを vCard 形式に書き出し(エクスポート)、そのファイルをUSBメモリーに保存して本システムのアドレス帳に読み込むことができます。
- vCard 形式に書き出すときは、文字コードをSJIS(シフトJIS)にする必要がありますので、お使いのパソコンによっては文字コードの変換が必要な場合があります。

➔ **機能メニューを使う** P.33

VICS(ビックス)
Vehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略で、1996 年春に首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報を地図上に表示できます。また、情報を簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

VICS リンク
VICS 情報が提供(予定を含む)されているまたは提供予定の道路区間を、交差点やインター

次ページに続く

チェンジなどで分割し、番号を付けた区間のことです。
インターナビ交通情報も同じ番号体系を利用し、フローティングカーシステムによってVICS データの未提供リンクを補っています。
➡ **注意事項** P.284

WMA（ダブリュー・エム・エー）
Windows Media Audioの略称で、Microsoft社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。WMA は、著作権保護機能（DRM）をサポートしており、著作権で保護されたWMAファイルを再生するには、ライセンスキーが発行されたプレイヤーに限定されています。本システムでは、著作権で保護されたWMAファイルは再生することができません。

3D ハイブリッドセンサー
車の方向（振動ジャイロセンサー）、車の高度差（傾斜センサー）、車の走行速度（車速センサー）を測定して、自車位置を決める部品です。
➡ **測位の精度を高めるためのしくみ** P.285

■ 低温時のハードディスクへの記録について

低温時は、ハードディスクへの記録動作を伴う地点の登録（マーク地点やよく行く地点など）、HDD サウンドコンテナへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

■ 著作権について

本システムに収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

■ バージョンアップについて

Honda インターナビシステムはハードディスクを利用したシステムですが、本システムのバージョンアップでは内蔵ハードディスクの全データを DVD-ROM で書き換えます。バージョンアップを行うときは、Honda 販売店にご連絡ください。

■ お客様の登録されたデータについて

- 本システムの修理において、お客様の登録されたデータおよび HDD サウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- 本システムが故障した場合、お客様の登録されたデータおよび HDD サウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- お客様が録音された HDD サウンドコンテナ内の曲を別のハードディスクなどに複製することは、著作権法上できません。

■ その他

- 本システムの周辺に磁気を近づけないでください。故障の原因になります。
- 本システムのハードディスクを取り外さないでください。故障の原因になります。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本システムではステレオ 2ch で出力されます。

■画像表示について

- 表示できる画像のファイル形式は、BMP(.bmp)、JPEG(.jpg)（プログレッシブ方式を除く）です。
- 表示できる画像データは、もとの大きさが JPEG で 2048×1536 ドット、BMP で 488×240 ドットまでです。
- 1つあたり2MB以上のファイルは認識されません。
- 大きな画像を画面表示する際には、縮小して表示します。
- USB メモリー内のフォルダ（ディレクトリ）は 8 階層（ルートディレクトリ含む）まで認識できます。

■ 困ったときは

本システムの動作に問題がある場合は、以下の参照先をご覧になるか、お問い合わせ窓口にご連絡ください。

- ナビゲーションに関する問題
  ➔ **ナビゲーション** P.254
  インターナビ ホームページにも、お問い合わせの多い質問が掲載されています。
  http://www.honda.co.jp/internavi/
- 携帯電話の接続や、通信に関する問題
  ➔ **携帯電話** P.258
- 交通情報に関する問題
  ➔ **ルート案内** P.256
- お客様相談センターに電話する
  ➔ お客様相談センター（巻末をご覧ください）

地図更新は、インターナビ・リンク プレミアムクラブの会員サービスとしてご提供します。
更新時期は、インターナビ情報センターからパーソナル・ホームページなどを通じてご案内します。詳しくは、更新用 DVD に添付する説明書をご覧ください。
地図データを更新すると、内蔵の Gracenote データベースも同時に更新されます。

通信で認証する場合 通信

1. エンジン駆動中に、地図データ更新用 DVD を本システムに挿入する。
2. **実行する**を選択する。
3. **通信で認証を行う**を選択する。
   ▶ご利用には、通信機能が必要です。詳しくは、インターナビのホームページの「使い方ブック」をご覧ください。
   ➡ **インターナビ・リンク プレミアムクラブを使う** P.7
   ▶認証が完了すると、「認証できました　確認を押下すると再起動し地図更新の準備を行います」と表示されます。
4. **確認**を選択する。
   ▶本システムが自動的に再起動し、約30分間更新の準備が行われます。
   ▶この間は、オーディオを含むすべての機能は使用できません。
   ▶更新準備が完了すると、「地図更新に関する注意事項」が表示されます。
5. 注意事項の内容を読み、**確認**を選択する。
   ▶地図データおよび他の情報が更新されます。
   ▶更新には、時間がかかります。
   ▶更新が完了したら、画面にしたがって DVD を取り出してください。

販売店で認証する場合

Honda 販売店での認証は、本システムの識別 ID、フレーム No.（車体番号）などから認証用パスワードを取得して行います。詳しくは、Honda 販売店にお問い合わせください。

1. エンジン駆動中に、地図データ更新用 DVD を本システムに挿入する。
2. **実行する**を選択する。
3. **販売店で認証を行う**を選択する。
4. **パスワード入力**を選択する。
5. Honda 販売店から入手した認証用パスワードを入力する。
6. **入力完了**を選択する。
   ▶以降の操作は、「通信で認証する場合」の**手順 4** 以降と同じです。

地図データ更新について

- エンジン停止中に更新の操作を行うと、バッテリーの充電状態によってはエンジンが始動できなくなることがあります。
- 地図更新が完了するまでの時間は、バージョン情報画面で確認できます。
  ➡ **本システム・USB メモリーのデータを管理する** P.229
- 地図更新中は、システムの動作に時間がかかることがありますが故障ではありません。
- 更新済みの地図を古いバージョンに戻すことはできません。
- 地図更新中は、画面左上にアイコンが表示され、更新の進捗状況が確認できます。
- 地図更新中に DVD ディスクを取り出すと、更新は中断され、ナビゲーション機能が使えなくなります。再度 DVD を挿入してください。
- 地図更新中にエンジンスイッチを「0」にすると、次回エンジン始動時に続きから更新を始めます。

地図データを更新したら

地図データ更新後に施設マーク編集を行おうとすると、以下の施設マークの更新画面に移行します。施設マークを更新するまでユーザー施設マークの登録や施設マークの非表示設定はできません。



1. メニューボタンを選択する。
2. **ツール**を選択する。
3. **施設マーク編集**を選択する。
4. 更新したい施設マークを選択する。
5. いずれかの項目を選択する。

以下の項目が選択できます。

- **保持**:地図データ更新後も、その施設を非表示にします。ユーザー施設マーク選択時のみ表示されます。
- **登録**:更新後の地図に施設マークを表示します。非表示設定データ選択時のみ表示されます。
- **消去**:ユーザー施設マークを削除します。非表示設定中の施設の場合は、非表示の設定は解除されます。
- **全画面地図**:選択中の施設周辺の地図を確認します。

6. **設定終了**を選択する。

以下のような変更があった施設は、**消去**のみ選択できます。

- 施設がなくなった
- 施設の位置が変わった
- 別の施設に変わった

商標

- マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media は、米国MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「FOMA」は NTT ドコモの登録商標です。
- ETC® は財団法人道路システム高度化推進機構 (ORSE) の登録商標です。
- VICS は、(財) 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- dtsは米国Digital Theater Systems,Inc.の登録商標です。
- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc. の所有であり、本田技研工業株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。
- 「iTunes」「iPod touch」「iPod nano」「iPod classic」「iPod」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 「カーレスキュー70」は株式会社レスキューネットワークが運営するロードサービスです。

地図データ

このHondaインターナビシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」と「交通規制データベース」をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報(高速道路・有料道路は 2013 年 12 月までに、国道・都道府県道は 2013 年 10 月までに)を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

- このナビゲーションに搭載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©2010 財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 50 万分の 1 地方図及び 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しました。
  (承認番号 平 23 情使、第 192-B157 号)
- この地図の使用に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50m メッシュ(標高)を使用しています。
  (承認番号 平 25 情使、第 798-004 号)
- この地図作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 10-019T)
- 本品に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本品に使用している交通規制データが現場の交通規制と異なるときは、実際の交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
- 本品に使用している交通規制データを、無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

©2014 ZENRIN CO.,LTD.
©2013 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
©2013 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所

本製品は、山崎 敏氏が開発し著作権を有するオープンソフトウェア「yz2」が含まれております。なお、「yz2」の不具合に起因するすべての損害につき、同氏はいかなる保証を行うものではありません。

Gracenote サービスについて

以下の内容を読んでいただき、同意の上ご使用ください。

■ 著作権について

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright© 2000-present Gracenote. Gracenote Software: Copyright© 2000-present Gracenote.
グレースノート保有の 1 つまたは複数の特許がこの製品およびサービスに適応されます。適応されるグレースノートの特許の限定的なリストについては、グレースノートのウェブサイトをご覧ください。
Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは米国及びその他の国におけるグレースノートの商標あるいは登録商標です。

■ 会社概要

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote® 社のホームページ *www.gracenote.com* をご覧ください。

gracenote

■ 使用許諾契約書

バージョン 20061005
本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

次ページに続く

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

Copyright © 2000 - present Gracenote.

VICS 情報有料放送サービス契約約款

■ 第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条

財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条

当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条

この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

■ 第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条

VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条

当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上の VICS サービスを提供します。

■ 第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条

当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条

VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK－FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条

VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

次ページに続く

第９条
加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条
加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第 11 条
当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
(1)加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2)加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第 12 条
1 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

■第４章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条
加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

■第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条
当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第 15 条
1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

■第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条
加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第 17 条
1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■ 別表

視聴料金 300 円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地上デジタルテレビチューナーについて

■B-CAS カードについて

本システムの地上デジタル TV チューナーには、B-CAS カードが内蔵されています。デジタル放送を視聴していただくには「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意する必要があります。内容については、下記をご覧ください。

■B-CAS カード使用許諾契約約款

(KB0007C)

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するための IC カード(B-CAS(ビーキャス)カード)(以下「カード」といいます)が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(以下「当社」といいます)が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器(社団法人電波産業会(ARIB)の技術的基準に適合した受信機器)に内蔵されます。
当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。
この約款は「特別内蔵用 B-CAS カード」と「特別内蔵用 miniB-CAS カード」に適用されます。

第 1 条(カードの使用目的)
このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第 2 条(カードの所有権と使用許諾)
このカードの所有権は、当社に帰属します。
2. この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第 3 条(カードの故障交換等)
カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店(以下「メーカー等」といいます)に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。
2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第 1 条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

次ページに続く

第４条(カードの交換依頼)
カードの不具合やシステム変更(バージョンアップ)等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。
第５条(契約の終了)
当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。
第６条(禁止事項)
第１条のカードの使用目的に反する機器(例えば著作権保護に対応していない機器)に、このカードを使用することはできません。
2. このカードを使用して、BS デジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
3.カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。
第7条(損害賠償)
お客様が第 6 条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。
第８条(約款の変更)
この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ(*http://www.b-cas.co.jp*)に掲載します。

株式会社 ビーエス・コンディショナル アクセスシステムズ

■ ご留意していただくこと

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporation およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporation の許可が必要で、また、Rovi Corporation の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。

©2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™
NetFront® Browser

■ 製造メーカーについて

この地上デジタルテレビジョン放送に対応する受信機は三菱電機(株)の製造です。



音声コマンド

音声コマンド 302
ナビゲーションコマンド 302
エアコンコマンド 308
オーディオコマンド 309
ハンズフリーコマンド 311
設定コマンド 311
数字コマンド 312
マーク一覧 313
ジャンル一覧 314
言語コード一覧 317

音声コマンドには、基本モードで使えるものと拡張モードで使えるものがあります。
基本モードでは、使えるコマンドはすべて画面に表示されており、初めて本システムをお使いになる方でも簡単に音声操作を行うことができます。
➲ **音声で操作する** P.22
ここでは、拡張モードで使えるコマンドを紹介します。

ナビゲーションコマンド

ナビゲーションに関するコマンドをご紹介します。

■ 基本操作コマンド

本システムの基本的な操作を行うコマンドです。

音声案内
交差点拡大図
音声音量設定
音声音量オフ
音声音量＃（＃：1 ～ 7）
音声音量アップ
音声音量ダウン
簡単操作モード（または*標準操作モード*）
次（複数の施設・候補表示中）
前（複数の施設・候補表示中）
＃件目（＃：1 ～ 20）
現在地
今日は何日
今何時
コマンドリスト
よく使う機能

■ 画面表示コマンド

地図画面に表示するマークなどを操作するコマンドです。

施設マーク表示※1
ガソリンスタンド表示※1
コンビニ表示※1
ファミリーレストラン表示※1
ファーストフード表示※1
銀行表示※1
スーパーマーケット表示※1
カー用品店表示※1
駐車場表示※1
路上駐車場表示※1
郵便局表示※1
マークセット※2
＜マーク地点名＞（名称の読みを発話）
よく行く地点＃（＃：1 ～ 5）
＜過去の目的地＞（名称の読みを発話）※3
マーク地点リスト
よく行く地点
目的地履歴
時計表示
画面消し

※1 発話するごとに、表示と非表示が切り替わります。
※2 標準操作モードでのみ使用できます。
※3「*施設名で探す*」の後に発話すると、その場所を目的地として設定します。

■ 地図表示コマンド

地図の表示についての操作を行うコマンドです。

方位・地図モード切り換え※1
広域
詳細
＃メートル（＃：10, 25, 50, 100, 200, 500）
＃キロメートル（＃：1, 2, 5, 10, 20, 50, 300）
右画面広域※2
右画面詳細※2
地図方位切り換え
北を上に表示
進行方向を上に表示
右画面地図方位切り換え※2
右画面北を上に表示※2

右画面進行方向を上に表示※2
地図モード切り換え※2
1画面地図※2
2画面地図※2
3D（スリーディー）マップ※2
3D/2D（スリーディーツーディー）マップ※2
ドライビングマップ※2
行程ガイド※2
高速ガイド※2
都市高速マップ※2、※3

※1 簡単操作モードでは、方位の切り替えのみを行います。
※2 標準操作モードでのみ使用できます。
※3 マップを非表示にする場合は、メニューから操作してください。

■ 目的地を探すコマンド

各都道府県や、周辺にある施設を検索します。

住所
施設ジャンル
電話番号（続けて電話番号を発話する）
郵便番号（続けて郵便番号を発話する）※1
ルート周辺
近くの／目的地周辺の
　マーク地点
　よく行く地点
　目的地履歴
近くの／目的地周辺の／この先の
　ファーストフード※2
　ファミリーレストラン※2
　肉料理
　ステーキ・ハンバーグ※2
　焼肉・ホルモン※2
　すきやき
　しゃぶしゃぶ
　ジンギスカン
　とんかつ
　牛丼※2
　牛たん
　鳥料理
　海鮮料理
　かに料理
　かき料理
　ふぐ料理
　うなぎ
　魚料理
　鍋料理
　ちゃんこ
　もつ鍋
　和食
　和食ファミレス※2
　京料理
　小料理
　日本料理
　懐石料理
　割ぽう・料亭
　てんぷら
　おでん
　串揚げ・串かつ
　郷土料理
　沖縄料理
　沖縄そば
　仕出し料理
　お茶漬・おにぎり
　屋形船
　寿司
　寿司屋
　回転寿司※2
　持ち帰り寿司
　うどん・そば※2
　鉄板焼
　お好み焼
　たこ焼
　もんじゃ焼
　洋食
　洋食ファミレス※2
　フランス料理
　イタリア料理
　スパゲティ専門店
　ピザ
　カレー
　中華

次ページに続く

中華ファミレス
中華料理
餃子・しゅうまい
広東料理
四川料理
上海料理
北京料理
ラーメン※2
各国料理
韓国料理
朝鮮料理
台湾料理
インド料理
その他各国料理
弁当
持ち帰り弁当
持ち帰りうなぎ料理
折詰弁当
仕出し弁当
喫茶
コーヒーショップ※2
コーヒー専門店
喫茶店
甘味処
インターネットカフェ
マンガ喫茶
カラオケ喫茶
居酒屋・バー・スナック
その他飲食店
コンビニ※2
デパート※3
ショッピングセンター・モール※3
地下街
スーパーマーケット※2
ドラッグストア※2
ディスカウントストア※2
100円ショップ
日用雑貨
ホームセンター※2
スポーツ用品※2
衣料品※2
家電※2
携帯電話ショップ※2
CD・ビデオレンタル
CD・ビデオ
書店
おもちゃ
文房具
家具・インテリア
ベビー用品
薬局・薬店
化粧品
めがね・コンタクト
くつ
かばん
時計
宝石・貴金属
パン
ケーキ・菓子
酒
肉
青果
魚
米
その他食料品
特産物
朝市
地酒
伝統工芸品
民芸品
みやげ品
贈答品店
園芸店
花屋
手芸品
リサイクルショップ
パソコンショップ
釣り具・釣り餌
自転車
オートバイ
楽器店
レンタルショップ
市場
チケット販売

その他買い物
ガソリンスタンド※2
水素ステーション
駐車場
ホンダ店※3
ホンダオートテラス※3
カー用品店※2
中古車販売・買取
自動車整備工場
交通教育センター
ロードサービス
運転免許センター
運転代行サービス
洗車業
レンタカー
その他車
駅※3
JR 駅※3
私鉄駅※3
地下鉄駅※3
空港※3
港※3
フェリーターミナル※3
道の駅※3
IC※3
SA・PA※3
ホテル※3
ビジネスホテル※3
旅館※3
民宿※3
ペンション※3
公共の宿※3
ブティックホテル
祭事※3
名所・旧跡※3
城・城跡※3
生物観察スポット※3
花の名所※3
音の名所※3
ビューポイント※2※3
展望ポイント※3
タワー・展望施設※3
夜景の名所・ライトアップ※3
夕日・夕焼けのビューポイント※3
初日の出ビューポイント※3
名山・山岳のビューポイント※3
星の観察※3
天文台※3
観光スポット※3
百選※2※3
名水百選※3
名木百選※3
都市公園百選※3
渚百選※3
白砂青松百選※3
名滝百選※3
桜の名所百選※3
かおり風景百選※3
森林浴の森百選※3
観光船※3
遊覧飛行機※3
リフト・ロープウエイ※3
果実狩り※3
牧場・農場・農園※3
工場見学※3
巡礼めぐり※2※3
北海道三十三観音※3
津軽三十三観音※3
奥州三十三観音※3
最上三十三観音※3
会津三十三観音※3
関東八十八カ所※3
坂東三十三観音※3
秩父三十四観音※3
武蔵野三十三観音※3
安房三十四観音※3
鎌倉三十三観音※3
信濃三十三観音※3
伊豆横道三十三観音※3
尾張三十三観音※3
西国三十三観音※3
洛西三十三カ所※3
中国三十三観音※3
出雲三十三観音※3

次ページに続く

四国巡礼八十八ヶ所※3
九州西国観音巡礼※3
観光案内
スキー場※3
スケート場※3
ゴルフ場※3
ゴルフ練習場※3
プール※3
テニスコート※3
陸上競技場※3
野球場※3
体育館※3
武道館・道場※3
サーキット場※3
オフロード場※3
マウンテンバイクコース※3
サイクリングコース※3
スノーモービル※3
フィールドアーチェリー※3
マリンスポーツ※3
マリーナ・ヨットハーバー※3
スポーツクラブ
スポーツ教室
その他スポーツ
遊園地※3
水族館※3
動物園※3
サファリパーク※3
植物園※3
温泉※3
サウナ・健康センター※3
キャンプ場※3
海水浴場・海岸※3
海洋・海浜公園※3
レジャー公園※3
公園・緑地※3
ボウリング場※3
映画館※3
ゲームセンター※3
カラオケ
釣り※2※3
磯釣り※3
海釣り公園※3
堤防釣り※3
船釣り・渡釣り※3
渓流釣り※3
築場※3
釣り堀・管理釣り場※3
湖沼釣り・穴釣り※3
パチンコ・スロット
競馬場・WINS※3
競艇・競輪・オートレース場※3
その他レジャー※3
美術館※3
博物館※3
資料館※3
図書館※3
ホール・劇場※3
プラネタリウム※3
神社
寺
教会
その他文化施設※3
役所
裁判所
法務局
税務署
保健所
年金事務所
大使館・領事館
警察署
交番・駐在所
トイレ
マスコミ
郵便局
その他公共施設
病院一般
総合病院
内科
外科
胃腸科・消化器科
眼科
皮膚科
小児科

耳鼻咽喉科
歯科
産婦人科
動物病院
その他病院・医療機関
銀行
都市銀行※2
地方銀行
信用金庫
証券会社
その他金融機関※2
大学・短大
高校・高専
中学校
小学校
幼稚園
保育園
学童保育所・児童館
予備校
コンピューター学校
自動車学校
その他学校・教育施設
塾・進学教室
そろばん教室
幼児教室
英会話・外国語スクール
パソコン教室
カルチャーセンター
音楽・ピアノ教室
ダンス教室
着付教室
書道教室
華道教室
その他教養施設
Honda Dog おでかけ情報
美容院
理容店
ペット※2
ペットショップ
ペットホテル
ペット美容室
その他ペット関連
クリーニング
写真・カメラ
結婚式場
葬祭
霊園・墓地
住宅展示場
エステティック
不動産
高齢者福祉施設

※1 標準操作モードでのみ使用できます。
※2 ブランド名でも検索することができます。
※3 都道府県名の後に施設名を発話して検索できます。

■ ルート案内コマンド

ルート案内中に使用できるコマンドです。

ルート全体表示
到着予想時刻
残りの距離
目的地表示
目的地消去
経由地表示※1
この先の IC（アイシー）※1
この先の SA・PA（エスエーピーエー）※1
ルート条件変更
標準
一般道優先
距離優先
道幅優先
ルート再計算
迂回距離指定※1
入口 IC（インターチェンジ）*指定解除*※1
出口 IC（インターチェンジ）*指定解除*※1
迂回距離 # キロメートル（#：2、5、10）（一般道走行中）※1
高速を一時回避（高速道走行中）※1
高速を利用しない（高速道走行中）※1

次ページに続く

迂回距離 # キロメートル（#：10、20、30）（高速道走行中）※1
誘導中止
誘導開始
音声音量 #（#：1 ～ 7）
誘導一時中断
誘導再開

※1 標準操作モードでのみ使用できます。

■ 目的地セットコマンド

目的地を探した後に使用できるコマンドです。
自宅へ誘導
ここに行く
よく行く地点#に行く（#：1 ～ 5）
<マーク地点名、または過去の目的地>に行く（名称の読みを発話する）
ここに立ち寄る※1
ここに寄って帰る※1
<マーク名、または過去の目的地>に寄る（名称の読みを発話する）※1
<マーク名、または過去の目的地>に寄って帰る（名称の読みを発話する）※1
よく行く地点#に寄る（#：1 ～ 5）※1
よく行く地点#に寄って帰る（#：1 ～ 5）※1

※1 標準操作モードでのみ使用できます。

■ VICS コマンド

VICS 情報表示についてのコマンドです。
近くのあいてる駐車場
近くの交通情報
この先のあいてる駐車場
この先の交通情報
目的地周辺のあいてる駐車場
目的地周辺の交通情報
リスト表示
混雑状態
収用台数
高さ制限
車種制限
利用料金
営業時間
満車率
待ち時間

■ インターナビコマンド

Honda からのお知らせ
インターナビ交通情報
インターナビウェザー※1
交通情報
駐車場セレクト
インターナビルート
読み上げ再開
次の情報※2
前の情報※2
停止※2
再生※2

※1 ルート設定時は目的地、未設定時は現在地の天気を確認できます。
※2 読み上げ中に有効なコマンドです。

エアコンコマンド

エアコンを操作するコマンドです。
エアコンオン
エアコンオフ
クーラーオン
クーラーオフ
内気
外気
急速冷房
急速暖房
おまかせ※1
あつい
さむい
#度（#：18 ～ 32）
ファンスピード上げる
ファンスピード下げる

ファンスピード小
ファンスピード中
ファンスピード大
ファンスピード#（#：1 ～ 7）
吹き出し口上
吹き出し口上と足下
吹き出し口足下
吹き出し口足下と窓
リアデフオン
リアデフオフ

※1 エアコンをオートにして設定温度を 25 度にします。

オーディオコマンド

■ 全般

オーディオ全体に共通して使えるコマンドです。

オーディオ
オーディオ オフ
車速連動音量

■ ラジオコマンド

ラジオ操作についてのコマンドです。

ラジオ
交通情報ラジオ
エーエム
エフエム
＜AM 放送局名称＞※1
＜FM 放送局名称＞※2
#局目（#：1 ～ 6）
オートセレクト
オートセレクトオフ
次の局
前の局
スキャン

※1 AM ラジオ受信中に、画面に表示される放送局名を発話してください。
※2 FM ラジオ受信中に、画面に表示される放送局名を発話してください。

■ テレビコマンド

テレビ操作についてのコマンドです。

*ワンセグ*または *フルセグ*
＜TV 放送局名称＞※1
#局目（#：1 ～ 6）
オートセレクト
オートセレクトオフ
番組表
番組表解除
次の局
前の局
スキャン

※1 テレビを受信中に、画面に表示される放送局名を発話してください。

■ ディスクコマンド

音楽ディスク、DVD ディスクについてのコマンドです。

シーディー
#曲目（#：1 ～ 6）
次の曲
前の曲
次のフォルダ※1
前のフォルダ※1
リピート※2
リピート停止※2
トラックリピート※2
フォルダリピート※1
スキャン
トラックスキャン
フォルダスキャン※1
ランダム
ランダム停止
トラックランダム
フォルダランダム※1
録音設定※3

次ページに続く

ディーブイディービデオ

※1 MP3/WMA ディスクをきいているときに発話してください。
※2 DVD-VR 再生時にも発話可能です。
※3 音楽 CD をきいているときに発話してください。

■ HDD コマンド

サウンドコンテナ
名称で探す
<アーティスト名称>（歌手名）※1
<プレイリスト名称>（アルバム名）※1
<トラック名称>（曲名）※1
ジャンル
<ジャンル名>
お気に入り
お気に入りに追加
よく聴いた曲
「過去#ヶ月」によくきいた曲（#：1, 3, 6）
#曲目（#：1 ～ 20）
次の曲
前の曲
次のプレイリスト
前のプレイリスト
リピート
リピート停止
プレイリストリピート
スキャン
トラックスキャン
プレイリストスキャン
ランダム
ランダム停止
トラックランダム
プレイリストランダム
録音した時期
「1 週間以内」に録音 ※2
再生した時期
「6ヶ月以内」に再生 ※3
再生回数
再生回数#回（#：0 ～ 5）
再生回数 6 回以上
タイトル情報取得

※1 HDD サウンドコンテナが検索モードのときに発話してください。
※2 録音した時期「1 週間以内」、「1ヶ月以内」、「6ヶ月以内」、「6ヶ月以上前」、「1 年以内」、「1 年以上前」、「3 年以内」、「3 年以上前」のいずれかを発話してください。
※3 再生した時期「6ヶ月以内」、「6ヶ月以上前」、「1 年以内」、「1 年以上前」、「3 年以内」、「3 年以上前」のいずれかを発話してください。

■ iPod コマンド

iPod 接続中のコマンドです。
アイポッド
#曲目（#：1 ～ 20）
次の曲
前の曲
リピート
リピート停止
シャッフル
シャッフル停止
トラックシャッフル
アルバムシャッフル

■ USB メモリーコマンド

USB メモリー接続中のコマンドです。
ユーエスビーメモリー
#曲目（#：1 ～ 20）
次の曲
前の曲
次のフォルダ
前のフォルダ
リピート
リピート停止
フォルダリピート
スキャン
トラックスキャン

フォルダスキャン
ランダム
ランダム停止
トラックランダム
フォルダランダム

■ 外部機器コマンド

ビデオ機器接続中のコマンドです。
ビデオ

ハンズフリーコマンド

携帯電話のハンズフリー操作に関するコマンドをご紹介します。
電話をかける
電話番号
<アドレス帳内の名称の読み>
自宅
よく行く地点#（#：1 ～ 5）
目的地
<マーク地点名>（名称の読みを発話）
経由地
<過去の目的地>（名称の読みを発話）
電話する
緊急連絡先 ※1
JAF（ジャフ）
ロードサービス ※1
マイディーラー ※1
任意保険 ※1
QQ（キュウキュウ）コール ※2

※1 緊急連絡先に登録されているときに操作できます。
※2 QQ コールに登録されているときに操作できます。
詳しくは Honda 販売店にご相談ください。

設定コマンド

設定に関するコマンドをご紹介します。

■ 機能設定コマンド

本システムの設定を行うコマンドです。すべて、標準操作モードでのみ使用できます。
都市高速マップ表示
一般道情報表示
高速道情報表示
VICS（ビックス）駐車場マーク表示
渋滞表示
混雑表示
順調表示
走行軌跡表示
地図色 昼
地図色 夜
気象警戒エリア表示 ※1
インターナビ地点マーク表示 ※1
現在地情報の表示
路線番号表示
方面看板表示
レーン情報表示
到着予想時刻表示
リアル拡大図表示
規制表示
ビル立体表示
24 時間表示
直線誘導線表示
高速ガイド自動表示
施設文字
有名施設リアル表示
行程ガイド IC（インターチェンジ）省略
走行軌跡自動消去
地図色時刻連動
サマータイム表示
3D（スリーディー）アイコン表示
道路ふち取り表示
合流案内
事故多発地点案内
踏み切り案内
県境（けんきょう）案内
右左折専用レーン案内
交通状況変化時案内

次ページに続く

スマート IC（インターチェンジ）案内
時間曜日規制考慮
天気音声案内※1
ETC（イーティーシー）案内
フェリー使用
回避エリア考慮
ルート学習
渋滞考慮オートリルート
カーカルテ起動時通知※1
センシングリルート
冬期閉鎖考慮
繁華街駐車場通知
横付けルート計算
VICS（ビックス）ルート計算
音声案内設定
VICS（ビックス）案内
到着予想時刻案内
交差点目印案内
料金案内
交差点名称案内
JCT（ジャンクション）名称案内
一般道方面名称案内
高速道方面名称案内
図形情報割込み
文字情報割込み
天気情報割込み※1
ルート案内時連動取得※1
情報取得周期※1
フローティングカー情報※1
マーク地点リスト画像同期※1
ふらつき検知警報
カーブ警告
シートベルト警告
パーキングブレーキ警告
自動着信
基本モード※2
メニュー音声読み上げ
操作パネル色
操作音量
操作音量オフ
操作音量#（#：1 ～ 3）

※1 通信中のみ設定できます。
※2 音声操作モードの切り替えを行います。

■ 便利な機能の設定コマンド

燃費情報
音声メモ
音声メモ録音
音声メモ読み上げ
停止（音声メモ再生中）
再生（音声メモ再生中）
次（音声メモ再生中）
前（音声メモ再生中）
<音声メモタイトル>（音声メモ再生中）
※1
音声操作ガイド
発話例
ETC（イーティーシー）カード確認

※1 登録されている音声メモタイトルの読みを発話してください。

数字コマンド

住所や電話番号を発話するときに使用します。
ゼロ（0）
イチ（1）
ニ、ニー（2）
サン（3）
ヨン（4）
ゴ、ゴー（5）
ロク（6）
ナナ（7）
ハチ（8）
キュー（9）
ジュウ（十の桁）
ヒャク、ビャク、ピャク（百の桁）
セン、ゼン（千の桁）

マーク一覧

地図マーク

下記以外の地図マークは、クイックガイドで紹介しています。➡ 地図の見かた P.6

- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ・ランプ
- ジャンクション
- 料金所
- 出口ランプ
- 駐車場
- 路上パーキング
- 冬期閉鎖
- 空港
- 港・フェリー埠頭
- 都道府県庁
- 市役所・区役所 (東京都のみ)
- 町、村役場、区役所 (東京都以外)
- 官公庁
- 自衛隊
- 警察署・派出所・駐在所
- 消防署
- 病院
- 学校
- 大学・短期大学
- 図書館
- 郵便局
- 銀行
- ホテル
- ショッピング
- 工場・工場敷地
- 美術館
- 博物館
- 競技場・スタジアム
- 指示点
- 史跡
- 山
- タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 海水浴場
- 遊園地
- キャンプ場
- 公園
- マリーナ・ヨットハーバー
- JRA 競技場 (WINS)
- 神社
- 寺
- 教会
- 墓地
- 城・城跡
- ガソリンスタンド
- カー用品

SA/PA マーク

➡ 高速ガイド P.69

- ガソリンスタンド(例:出光興産)
- FAX
- お風呂
- コインシャワー
- コインランドリー
- コイン洗車
- コーヒー／軽食
- ドラッグ
- インフォメーション／ハイウェイ情報ターミナル
- ベッド
- ポスト
- レストラン
- 休憩所
- 身障者施設
- ベビーベッド
- 宝くじ
- 名産
- キャッシュコーナー
- トイレ
- 自動販売機
- 公衆電話

ジャンル一覧

食事

ファーストフード	和食:てんぷら
ファミリーレストラン	和食:おでん
肉料理:ステーキ・ハンバーグ	和食:うなぎ
肉料理:焼肉・ホルモン	和食:とんかつ
肉料理:すきやき	和食:串揚げ・串かつ
肉料理:しゃぶしゃぶ	和食:郷土料理
肉料理:ジンギスカン	和食:沖縄料理
肉料理:とんかつ	和食:沖縄そば
肉料理:牛丼	和食:仕出し料理
肉料理:牛たん	和食:お茶漬・おにぎり
肉料理:鳥料理	和食:屋形船
海鮮料理:かに料理	寿司:寿司屋
海鮮料理:かき料理	寿司:回転寿司
海鮮料理:ふぐ料理	寿司:持ち帰り寿司
海鮮料理:うなぎ	うどん・そば
海鮮料理:魚料理	鉄板焼:お好み焼
鍋料理:ちゃんこ	鉄板焼:たこ焼
鍋料理:もつ鍋	鉄板焼:もんじゃ焼
鍋料理:すきやき	洋食:洋食ファミレス
鍋料理:しゃぶしゃぶ	洋食:ステーキ・ハンバーグ
和食:和食ファミレス	洋食:フランス料理
和食:京料理	洋食:イタリア料理
和食:小料理	洋食:スパゲティ専門店
和食:日本料理	洋食:ピザ
和食:懐石料理	洋食:カレー
和食:割ぽう・料亭	中華:中華ファミレス
中華:中華料理	弁当:持ち帰り寿司
中華:餃子・しゅうまい	弁当:持ち帰りうなぎ料理
中華:広東料理	弁当:折詰弁当
中華:四川料理	弁当:仕出し弁当
中華:上海料理	喫茶:コーヒーショップ
中華:北京料理	喫茶:コーヒー専門店
ラーメン	喫茶:喫茶店
各国料理:韓国料理	喫茶:甘味処
各国料理:朝鮮料理	喫茶:インターネットカフェ
各国料理:台湾料理	喫茶:マンガ喫茶
各国料理:インド料理	喫茶:カラオケ喫茶
各国料理:その他各国料理	居酒屋・バー・スナック
弁当:持ち帰り弁当	その他飲食店

車

ガソリンスタンド	JAF
水素ステーション	ロードサービス
駐車場	交通情報センター
ホンダ店	運転免許センター
ホンダオートテラス	運転代行サービス
カー用品店	洗車業
中古車販売・買取	レンタカー
自動車整備工場	その他車
交通教育センター	

交通

JR 駅	フェリーターミナル
私鉄駅	道の駅
地下鉄駅	IC
空港	SA・PA
港	

宿泊

ホテル	ペンション
ビジネスホテル	公共の宿
旅館	ブティックホテル
民宿	

観光

祭事	観光船
名所・旧跡	遊覧飛行機
城・城跡	リフト・ロープウェイ
生物観察スポット	果実狩り
花の名所	牧場・農場・農園
音の名所	工場見学
ビューポイント	巡礼めぐり
観光スポット	観光案内
百選	

買物	
コンビニ	時計
デパート	宝石・貴金属
ショッピングセンター・モール	パン
地下街	ケーキ・菓子
スーパーマーケット	酒
ドラッグストア	肉
ディスカウントストア	青果
100円ショップ	魚
日用雑貨	米
ホームセンター	その他食料品
スポーツ用品	特産物
衣料品	朝市
家電	地酒
携帯電話ショップ	伝統工芸品
CD・ビデオレンタル	民芸品
CD・ビデオ	みやげ品
書店	贈答品店
おもちゃ	園芸店
文房具	花屋
家具・インテリア	手芸品
ベビー用品	リサイクルショップ
薬局・薬店	パソコンショップ
化粧品	釣り具・釣り餌
めがね・コンタクト	自転車
くつ	オートバイ
かばん	楽器店
レンタルショップ	チケット販売
市場	その他買い物

スポーツ	
スキー場	オフロード場
スケート場	マウンテンバイクコース
ゴルフ場	サイクリングコース
ゴルフ練習場	スノーモービル
プール	フィールドアーチェリー
テニスコート	マリンスポーツ
陸上競技場	マリーナ・ヨットハーバー
野球場	スポーツクラブ
体育館	スポーツ教室
武道館・道場	その他スポーツ
サーキット場	

レジャー	
遊園地	公園・緑地
水族館	ボウリング場
動物園	映画館
サファリパーク	ゲームセンター
植物園	カラオケ
温泉	釣り
サウナ・健康センター	パチンコ・スロット
キャンプ場	競馬場・WINS
海水浴場・海岸	競艇・競輪・オートレース場
海洋・海浜公園	その他レジャー
レジャー公園	

文化施設	
美術館	プラネタリウム
博物館	神社
資料館	寺
図書館	教会
ホール・劇場	その他文化施設

公共施設	
役所	警察署
裁判所	交番・駐在所
法務局	トイレ
税務署	マスコミ
保健所	郵便局
年金事務所	その他公共施設
大使館・領事館	

病院	
病院一般	病院(小児科)
病院(総合病院)	病院(耳鼻咽喉科)
病院(内科)	病院(歯科)
病院(外科)	病院(産婦人科)
病院(胃腸科・消化器科)	動物病院
病院(眼科)	その他病院・医療機関
病院(皮膚科)	

金融機関	
都市銀行	信用金庫
地方銀行	証券会社
郵便局	その他金融機関

学校・教養	
大学・短大	そろばん教室
高校・高専	幼児教室
中学校	英会話・外国語スクール
小学校	パソコン教室
幼稚園	カルチャーセンター
保育園	音楽・ピアノ教室
学童保育所・児童館	ダンス教室
予備校	着付教室
コンピューター学校	書道教室
自動車学校	華道教室
その他学校・教育施設	その他教養施設
塾・進学教室	

その他施設	
HondaDog おでかけ情報	葬祭
美容院	霊園・墓地
理容店	住宅展示場
ペット	エステティック
クリーニング	不動産
写真・カメラ	高齢者福祉施設
結婚式場	

路線別検索	
鉄道全線	地下鉄
JR	高速道路
私鉄	

言語コード一覧

言語名	コード
アファル語	6565
アブバジア語	6566
アフリカーンス語	6570
アムハラ語	6577
アラビア語	6582
アッサム語	6583
アイマラ語	6589
アゼルバイジャン語	6590
バキシール語	6665
白ロシア語	6669
ブルガリア語	6671
ビハーリー語	6672
ビスラマ語	6673
ベンガル語	6678
チベット語	6679
ブルトン語	6682
カタロニア語	6765
コルシカ語	6779
チェコ語	6783
ウェルシュ語	6789
デンマーク語	6865
ドイツ語	6869
ブータン語	6890
ギリシア語	6976
英語	6978

言語名	コード
エスペラント語	6979
スペイン語	6983
エストニア語	6984
バスク語	6985
ペルシャ語	7065
フィンランド語	7073
フィジー語	7074
フェロー語	7079
フランス語	7082
フリジア語	7089
アイルランド語	7165
スコットランドゲール語	7168
ガルシア語	7176
グアラニー語	7178
グジャラード語	7185
ハウサ語	7265
ヘブライ語	7269
ヒンディー語	7273
クロアティア語	7282
ハンガリー語	7285
アルメニア語	7289
国際語	7365
インドネシア語	7368
インターリング	7369
イヌピア語	7375

言語名	コード
アイスランド語	7383
イタリア語	7384
日本語	7465
ジャワ語	7487
グルジア語	7565
カザフ語	7575
グリーンランド語	7576
カンボジア語	7577
カンナダ語	7578
韓国語	7579
カシミール語	7583
クルド語	7585
キルギス語	7589
ラテン語	7665
リンガラ語	7678
ラオス語	7679
リトアニア語	7684
ラトビア語	7686
マダガスカル語	7771
マオリ語	7773
マケドニア語	7775
マラヤーラム語	7776
モンゴル語	7778
モルダビア語	7779
マラータ語	7782

言語名	コード
マレー語	7783
マルタ語	7784
ビルマ語	7789
ナウル語	7865
ネパール語	7869
オランダ語	7876
ノルウェー語	7879
オキタン語	7967
オロモ語	7977
オリヤー語	7982
パンジャブ語	8065
ポーランド語	8076
パシュトー語	8083
ポルトガル語	8084
ケチュア語	8185
レトロアンス語	8277
キルンディ語	8278
ルーマニア語	8279
ロシア語	8285
キヤーワンダ語	8287
サンスクリット語	8365
シンド語	8368
サンゴ語	8371
セルボクロアティア語	8372
シンハリー語	8373

言語名	コード
スロバキア語	8375
スロベニア語	8376
サモア語	8377
ショナ語	8378
ソマリア語	8379
アルバニア語	8381
セルビア語	8382
シスワティ語	8383
セストゥ語	8384
スンダ語	8385
スウェーデン語	8386
スワヒリ語	8387
タミル語	8465
テルグ語	8469
タジク語	8471
タイ語	8472
ティグリニャ語	8473
トゥルクメン語	8475
タガログ語	8476
セツワナ語	8478
トンガ語	8479
トルコ語	8482
ツォンガ語	8483
タタール語	8484
トウィ語	8487

言語名	コード
ウクライナ語	8575
ウルドゥー語	8582
ウズベク語	8590
ベトナム語	8673
ヴォラピュック語	8679
ウォロフ語	8779
コーサ語	8872
イディッシュ語	8973
ヨルバ語	8979
中国語	9072
ズールー語	9085

記号

AUDIOボタン 15
(イジェクト)ボタン 15
(オフフック)ボタン 5, 207
(オンフック)ボタン 5, 207
(取り消し)ボタン 5, 22
(発話)ボタン 5, 22
TRACK
HDDサウンドコンテナ 147
iPod 178
USBデバイス 182
ディスク 165
TUNE/SEEK
TV 141
ラジオ 136
情報 103

数字

1画面地図 67
24時間表示 41
2画面地図 67
3Dアイコン表示 42
3D角度調整 39
5ルート 122
5ルート表示 122

A

AUDIOボタン 15
AUTO SELECT
TV 142
ラジオ 137
AV入力端子 135

B

Bluetooth設定 191

C

CD録音 151
CH(チャンネル)ボタン 188

D

DVDビデオ 168
VRモード 171
音声コマンド 309
言語コード 317
初期設定 175
ビデオモード 169

E

ETC案内 45
ETCユーザー情報 229
ETC料金履歴 229

H

HDDサウンドコンテナ 146
音声コマンド 310
検索する 155
HDDサウンドコンテナに録音する 151
HDDサウンドコンテナの全消去 229
HOME
HDDサウンドコンテナ 147
iPod 178
USBデバイス 182
ディスク 165

I

IC指定 121
internavi交通情報 113
internavi情報 7
internaviダイレクト 63
internavi地点マーク表示 39
internaviドライブ情報 99
internaviルート 119
internaviルート取得 119
iPod 177
接続 177
取り外し 177

J

JCT名称案内 47

M

MODEボタン 187

Q

QQコール 205

R

RANDOM
HDDサウンドコンテナ 149
USBデバイス 183
ディスク 166
REPEAT
DVDビデオ 174
HDDサウンドコンテナ 149
iPod 180
USBデバイス 183
ディスク 166

S

SA/PAマーク
一覧 313
SCAN
HDDサウンドコンテナ 149
TV 142
USBデバイス 183
ディスク 166
ラジオ 137
SHUFFLE
iPod 180
SOURCEボタン 15

U

USBデバイス 181
接続 181
取り外し 181
USBメモリー情報 229
USBメモリー編集 230

V

VICS案内 47
VICS情報 111
VICS駐車場マーク表示 38
VICSルート計算 46
VOL(音量)ボタン 15, 187

ア

明るさ 30
アドレス帳 31
検索する 35
編集する 32
アドレス帳追加 198
アドレス帳読み込み 197
案内開始 104
案内設定 43
詳細設定 44

イ

一般道情報表示 38
一般道方面名称案内 47
一般道路の車速 45
色調整 135
インターナビ／VICS 51
詳細設定 54
インターナビ・リンク プレミアムクラブ
接続先設定 208

ウ

右左折専用レーン案内 44

エ

エラーメッセージ 267
CD 271
DVD 271
HDDサウンドコンテナ 274
iPod 272
MP3 271
USBデバイス 272
WMA 271
通信 268
テレビ 269
ナビゲーション 267
マルチビューカメラシステム 275
リアエンターテインメントシステム 275

オ

オーディオ／ビジュアル 133
音質調整 184
音声コマンド 309
基本操作 15
リモートコントロール 187
オーディオメニュー
DVDビデオ 174
HDDサウンドコンテナ 149
iPod 180
TV 142
USBデバイス 183
ディスク 166
ラジオ 137
オーディオリモートコントロールスイッチ 187
オートガイド 128
おすすめドライブナビゲーター 100
音質調整 184
音声案内 110
音量 29
音声案内設定 47
音声音量設定 29
音声コマンド 302
音声操作 22
基本操作 5
音声操作(設定) 56
詳細設定 57
音声操作ガイド 27
音声操作テロップ表示 57
音声操作補助案内 57
音声操作モード 56
音声操作ユーザー選択 56
音声メモ 240

カ

カーカルテ 242
愛車メモ 247
メンテナンス記録 243
カーカルテ起動時通知 45
カーブ警告 55
回避エリア 48
回避エリア考慮 45
買物(ジャンル) 91
カスタマイズメニュー 61
画像表示 60
学校・教養(ジャンル) 91
カメラボタン 4
画面調整／消 58
画面ボタン 4, 30
観光(ジャンル) 91
簡単操作モード 13

キ

気象警戒エリア表示 39
規制表示 41
緊急連絡先 206
金融機関(ジャンル) 91

ク

車(ジャンル) 91
黒の濃さ 30

ケ

携帯電話
Bluetooth接続 191
有線接続 196
経由地 123
追加する(地図から) 124
追加する(メニューから) 123
編集する 125
経由地設定 123
経由地セット 103
経由地リスト 123
県境案内 43
現在地修正 59
現在地情報の表示 40
現在地ボタン 4
検索して探す 84

コ

公共施設(ジャンル) 91
交差点名称案内 47
交差点目印案内 47
後席モニター 16
高速ガイド 69
高速ガイド自動表示 41
高速道情報表示 38

高速道方面名称案内 47
高速道路の車速 45
交通(ジャンル) 91
交通状況変化時案内 44
交通情報 115
行程ガイド 69
行程ガイドIC省略 41
合流案内 43
声を覚えさせる 25
コマンドリスト 28
混雑表示 38
コントラスト 30

サ

再計算 110
サマータイム表示 41

シ

シークレットモード 36
シートベルト警告 55
時間曜日規制考慮 44
事故多発地点案内 43
システム設定 58
施設ジャンル 91
　一覧 314
施設マーク 76
　消去する 77
　非表示設定データ 82
　編集する 78
施設文字 41
自宅登録 8
自宅へ誘導 8
実行ボタン／ジョイスティック 4
自動着信 200
車両
　現在地修正 59
車両警告 55
ジャンル
　目的地を設定する 91
住所 97
渋滞考慮オートリルート 45
渋滞表示 38
周辺検索 93
宿泊(ジャンル) 91
受話音量 200
順調表示 38
詳細／広域ボタン 4
情報取得周期 52
食事(ジャンル) 91
新規道取得 105
新規道路更新準備 232

ス

図形情報割込み 51
スケジュール 233
　編集する 238
スポーツ(ジャンル) 91
スマートIC案内 44

セ

設定(マーク地点) 75
選局
　テレビ 142
　ラジオ 137
センシングリルート 45

ソ

走行軌跡自動消去 41
走行軌跡消去 39
走行軌跡表示 39
操作音量 58
操作パネル色 58
操作モード 13
　簡単操作モード 13
　標準操作モード 13
その他施設(ジャンル) 91

タ

タイトル情報取得 157
ダイレクト発信 203

チ

地図画面 107
　1画面 67
　2画面 67
　VICS情報アイコン 6
　高速ガイド 69

行程ガイド 69
施設マーク 76
スケール 6
地図の向き 70
ドライビングマップ 68
地図から 102
地図色時刻連動 42
地図色　昼 39
地図色　夜 39
地図の見かた 6
地図表示 38
詳細設定 40
地図マーク
一覧 313
着信音量 200
駐車場セレクト設定 53
直線誘導線表示 41

ツ

通信／電話設定 200
通信設定 201

テ

ディスク 164
音声コマンド 309
テレビ 138
音声コマンド 309
天気音声案内 44
天気情報割込み 51
電話機の接続 201
電話接続設定 201
電話帳
電話をかける 202
電話メニュー 190

ト

冬期閉鎖考慮 45
冬期閉鎖情報 104
到着予想時刻案内 47
到着予想時刻表示 40
登録／履歴 83
道路ふち取り表示 42
時計表示 41
都市高速マップ表示 38
ドライビングマップ 68

ネ

燃費情報 226

ハ

パーキングブレーキ警告 55
バージョンアップ 291
バージョン情報 232
パスキー 191
発信着信履歴 203
繁華街駐車場通知 45
ハンズフリーテレホン 189
アドレス帳に追加する 198
アドレス帳に読み込む 197
音声コマンド 311
電話を受ける 207
電話をかける 202
電話を消去する 195
名称を変更する 194
ワンタッチダイヤル登録 199

ヒ

ビデオ 135
音声コマンド 311
非表示設定データ 82
病院(ジャンル) 91
標準操作モード 13
ビル立体表示 41

フ

フェリー使用 45
踏み切り案内 43
ふらつき検知警報 55
フローティングカー情報 54
文化施設(ジャンル) 91

ヘ

ペアリング 191

ホ

方位／地図モード切換 66
方面看板表示 40
保存情報の全消去 229
ボリュームノブ 15

マ

マーク情報 72
マークセット 103
マーク／地図変更 71
マーク地点 71
　活用する 75
　登録する 72
　編集する 72
マーク地点登録 72
マーク地点リスト 89
マーク地点リスト画像同期 54
マップコード 102

ミ

右画面縮尺 71

メ

名称／番号入力
　施設名 94
　地名 96
　電話番号 95
　マップコード 102
　郵便番号 97
メニュー音声読上げ 58
メニュー(検索して探す) 84
メニュー(登録／履歴) 83
メニューボタン 4
メニュー(ルート) 116

モ

目的地周辺の駐車場 128
目的地消去 130
目的地セット 103
目的地ボタン 4
　目的地を設定する 83
　ルートを変更する 116
目的地履歴 90
文字情報割込み 51

ユ

ユーザー施設マーク 79
　地図更新 293
誘導一時中断 11
誘導再開 11
有名施設リアル表示 41
有料道路の車速 45

ヨ

よく行く地点 85
横付けルート計算 46

ラ

ラジオ 136
　音声コマンド 309
ランダム(パスキー) 193

リ

リアエンターテインメントシステム 16, 211
リアカメラシステム 250
リアル拡大図表示 40
料金案内 47

ル

ルート案内時連動取得 51
ルート学習 45
ルート計算条件 43
ルート再計算 116
ルート条件変更 118
ルート情報 104
ルート全体表示 117
ルート(メニュー) 116

レ

レーン情報表示 40
レジャー(ジャンル) 91

ロ

ロードサービス 206

路線番号表示..... 40

ワ

ワンタッチダイヤル
電話をかける 204
登録する 199
ワンプッシュ音声操作..... 57

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まずHonda販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新のHonda販売店を検索することが可能です。
Hondaホームページ　http://www.honda.co.jp/
（Hondaホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください）

携帯電話からは、携帯電話用Hondaホームページをご覧ください。
http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/
※：QRコード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右のQRコードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町8ー1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
② 車種名、タイプ名、走行距離　③ ご購入年月日　④ 販売店名